日野病院組合　日野病院

事　業　年　報

（平成２７年度）

平成27年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

病院長　櫃田　豊

安全保障関連法の成立や安倍首相の戦後70年談話など政治上重要な出来事が多かった平成27年度ですが、その中でも私共医療関係者が最も注目したのは、10月5日の環太平洋パートナーシップ協定（TPP）大筋合意ではなかったでしょうか。ご承知の通り、TPPでは混合診療が全面的に解禁される可能性が指摘されています。それが現実になると医療格差が拡大し、ひいては国民皆保険制度が破綻するという意見もあります。TPPが実際に発効するためには2年以内に各国の議会での批准手続きを終えることが条件のようです。今後もTPPの行方からは目が離せません。

さて、平成27年度は日野病院あるいは日野病院組合にとって喜ばしい出来事と憂わしい出来事が交錯した年でした。喜ばしい出来事とは、生田哲二副病院長兼事務局長が平成27年度全国自治体病院協議会事務長表彰を受賞したことです。受賞理由は、①平成16年10月の総務課長就任から、現職の副病院長兼事務局長に至るまでの間、一貫して病院経営改革に尽力し、平成19年度以降8年連続して黒字を計上するという偉業を達成したこと、②外来インフォメーションシステムの導入や、外来進行状況を病院ホームページ上に表示するなどのユニークな発想を実現化し、日野病院の医療の質の向上に寄与したこと、③日野町職員であったキャリアを生かし、行政と病院との連携を進めることにより日野病院を中心とする地域包括ケア構築に多大な貢献をしたこと、などです。生田哲二副病院長兼事務局長には、将来にわたって日野病院を支えて欲しいと願って止みません。

一方、憂わしい出来事とは、介護老人保健事業からの撤退です。日野病院組合の介護老人保健事業は平成18年のあやめ開設とともに始まりました。開設者である江府町から指定を受け、日野病院組合が管理・運営を行う形態でした。開設後、あやめは徐々に地域の福祉を支える重要な施設になりました。しかし、その間、あやめの看護師確保は困難を極め、日野病院から常時5～6人の看護師を派遣せざるを得ない状況が続きました。

ところが、退職者の増加などから、近い将来日野病院自体に看護師不足に陥る可能性が高くなりました。このような状況から、日野病院組合が安定してあやめの管理・運営を続けることはいずれ困難になるとの判断に至り、日野病院組合は3月31日をもってあやめの指定管理を終了することになったのです。今後は、管理する側、される側といった関係ではなく、お互いに対等な立場でさらに良い医療介護連携を目指したいと考えています。

日野病院の基本理念　平成８年３月策定

１　地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す

２　自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

目　　次

巻 頭 言　-1-

１、概要　-5-

主な出来事　-6-

組織図　日野病院組合組織図　-9-
日野病院組織図　-10-

施設の状況　施設規模等・主な医療機器　-12-
施設基準　-13-

日野病院組合議会開催状況　-15-

職員の状況　部署別職員数　-19-
年度別職員数推移　-20-
職員表彰

経営状況　（平成２７年度日野病院組合事業会計決算）
事業別内訳　-22-
決算概況　-23-

施設・設備等整備状況　-40-

委員会活動状況　日野病院委員会（ワーキング）構成表　-43-
各委員会開催状況　-44-
院内研修会開催状況　-76-

２、統計　-78-

患者統計　患者数統計（外来・入院）　-80-

入院患者疾病統計　疾病別（大分類）・診療科別統計 -83-
疾病別・診療科・男女別統計 -84-
疾病別・年令階層別・男女別統計 -94-
疾病別・在院期間別・男女別統計 -102-
上位疾病別統計 -110-

部門別統計　手術件数・内視鏡検査・超音波診断検査 -112-
薬局状況・人工透析状況・放射線室状況
検診実施状況
栄養管理室状況・検査室状況・理学療法状況 -113-
作業療法状況・言語聴覚療法状況
訪問看護状況・訪問リハビリ状況
居宅支援(介護･予防)状況
メディカルソーシャルワーカー活動状況 -114-

３、業績 -115-

誌上発表 -116-
学会等発表（出席） -120-
ご近所のお医者さん（櫃田 豊 病院長） -123-
ご近所のお医者さん（玉井 嗣彦 名誉病院長） -133-
全国自治体病院協議会雑誌 2016.3 関連記事 -142-

４、広報誌 せせらぎ -149-

日野病院組合だよりせせらぎ 第 53 号（平成 27 年 5 月発行） -150-
日野病院組合だよりせせらぎ 第 54 号（平成 28 年 9 月発行） -160-
日野病院組合だよりせせらぎ 第 55 号（平成 28 年 1 月発行） -172
日野病院組合だよりせせらぎ 臨時号（平成 28 年 3 月発行） -182-

編集後記 -184-

1、概　要

主な出来事

平成 27 年

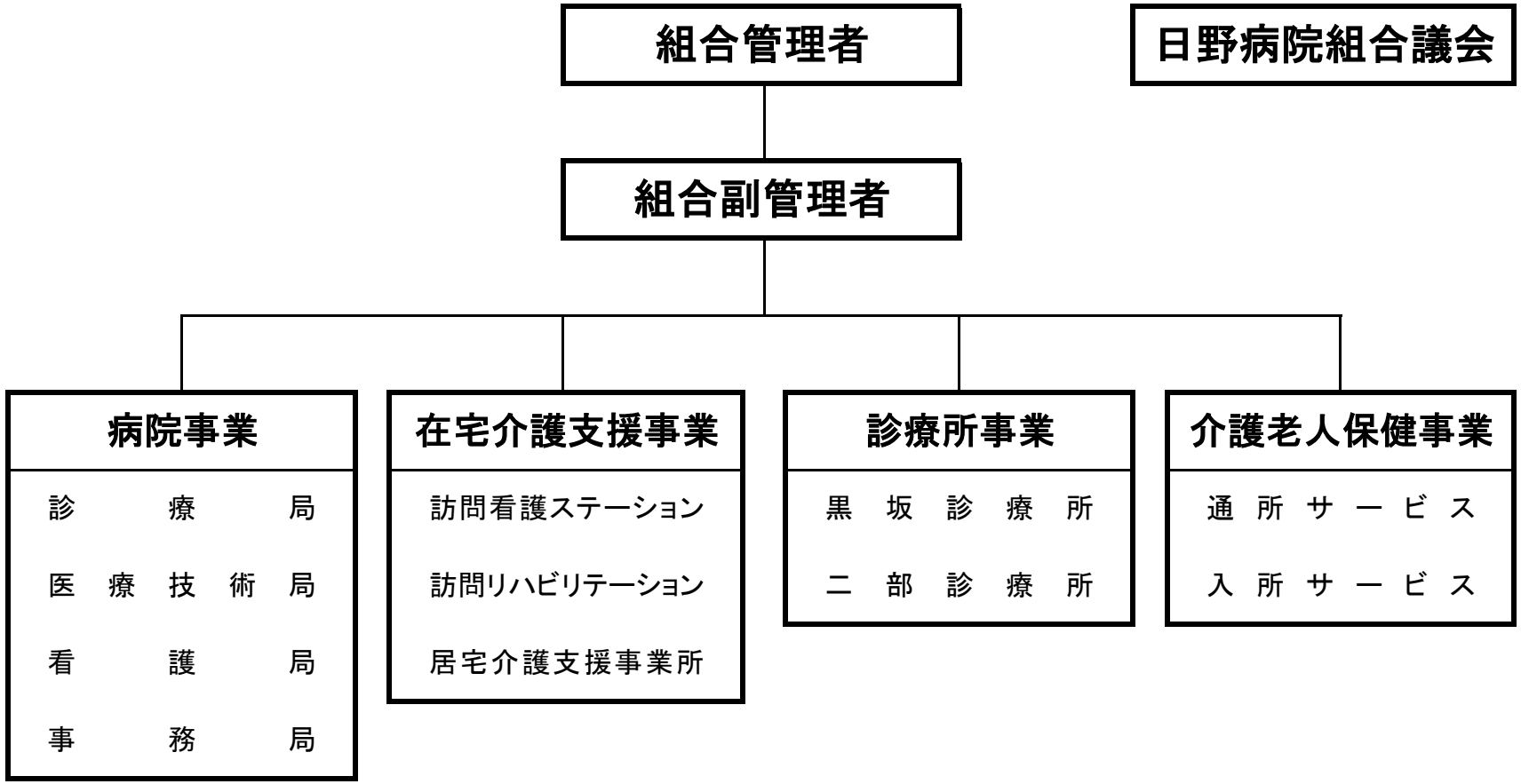
4 月 1 日	竹茂幸人医師があやめ施設長に就任
	佐藤尚喜外科医長が副病院長に昇任
	生田哲二事務局長が副病院長を併任
	新規採用職員オリエンテーション
4 月 30 日	頭本一朗小児科医長が日野病院職員表彰（院長表彰）を受賞
	野坂由貴子主任看護師、田淵ひとみマッサージ師が日野病院職員表彰（局長表彰）を受賞
5 月 17 日	看護の日イベント（江府町「道の駅　奥大山」で開催）
5 月 29 日	生田哲二副病院長兼事務局長が平成 27 年度全国自治体病院協議会事務長表彰を受賞
7 月 18 日	ねう祭りに参加
7 月 24 日	納涼祭の開催
8 月 28 日	平成 26 年度日野病院組合事業会計決算認定
	病院 3 事業：収益的収支で 7,392 千円の黒字、資金収支で 14,823 千万円の赤字
	介護老人保健事業：収益的収支で 68,505 千円の赤字、資金収支で 66,150 千円の赤字
12 月 11 日	クリスマスイベント
12 月 28 日	仕事納め

平成 28 年

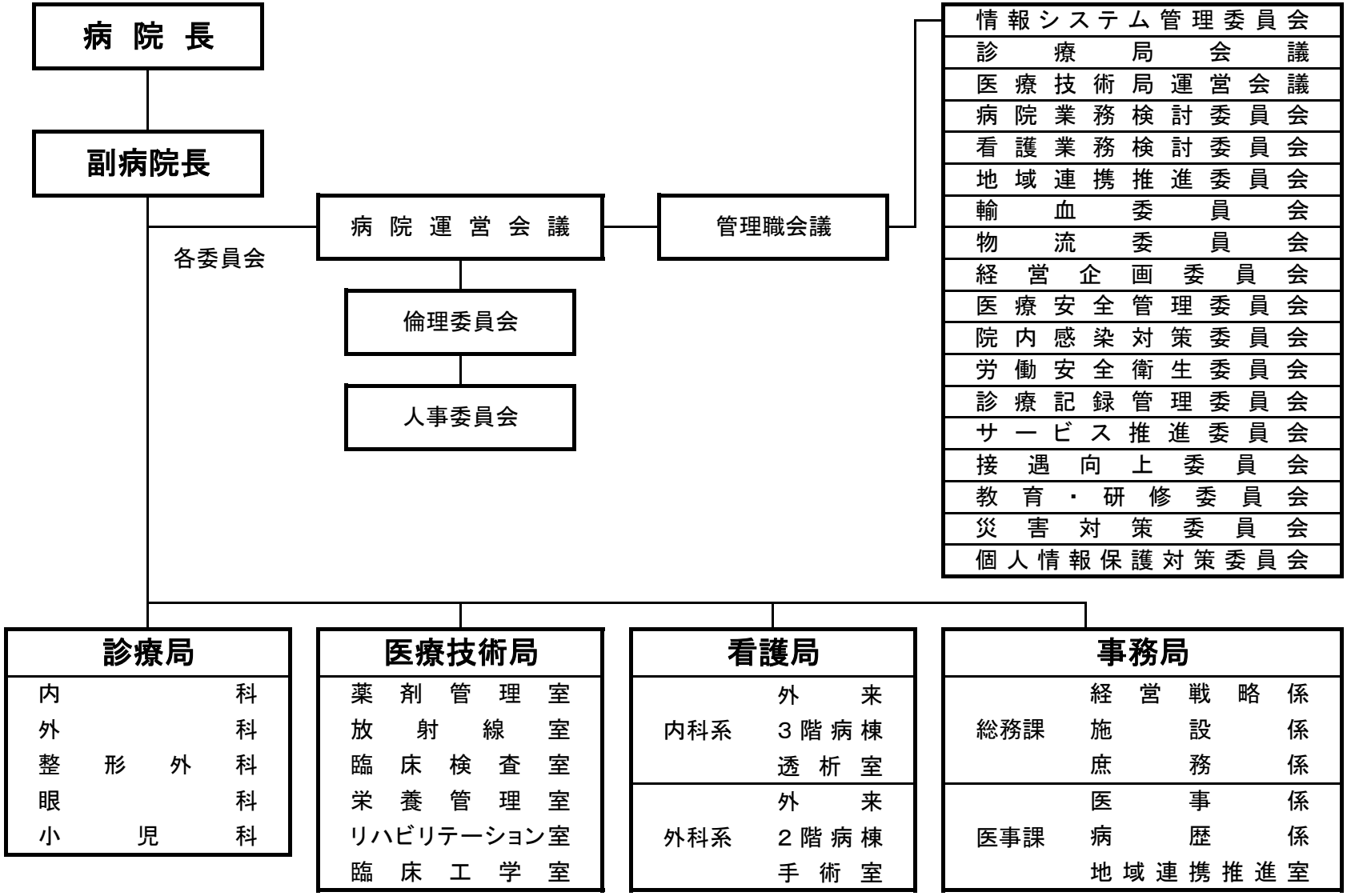
1 月 4 日	仕事始め
3 月 31 日	あやめの指定管理者としての業務終了

組織図

日野病院組合組織図（平成28年3月現在）



日野病院組織図（平成28年3月現在）



施設の状況

施設規模等

（１）病　床　数　９９床（一般　７４床・亜急性期　２５床）

（２）病　室　数　５１部屋（１人部屋３５、４人部屋１６）

（３）敷 地 面 積　１１，０４５．２７㎡

（４）延べ床面積　８，２４７．１６㎡

（５）建　設　費　３１億１，２０９万９千円

＜主な内訳＞	建築費	２３億６，２５０万円
	用地費及び補償費	１億８，２５４万７千円
	医療機器及び備品購入費	４億２，１９５万６千円
＜財源内訳＞	補助金	５億２，７９１万１千円
	病院事業債	２５億６，６１０万円
	一般財源	１，８０８万８千円

主な医療機器

気管支ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ
ＭＲＩ装置（１．５テスラ）
レーザーメス
長時間心電図分析装置
血液ガス測定装置
人工腎臓装置
マンモグラフィー装置
骨塩定量測定装置
生体情報モニター
手動式除細動器
上部消化管汎用ビデオスコープ
多目的自動血球分析装置
超音波白内障手術装置
十二指腸ファイバースコープ
フルデジタルカラー超音波装置
マルチスライスＣＴシステム
手術用顕微鏡
生化学自動分析装置
脳波計
人工呼吸器
上部消化管ファイバースコープ
Ｘ線骨密度測定装置
手術室ビデオシステム
超音波骨折治療器
血圧脈波検査装置
睡眠時無呼吸検査機器

施設基準

一般病棟入院基本料　１０：１（９９床）
薬剤管理指導料
麻酔管理料
ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術（電池交換を含む）
検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅱ）
入院時食事療養費（Ⅰ）
一般病棟療養環境加算
呼吸器リハビリテーション科（Ⅰ）
運動器リハビリテーション科（Ⅰ）
脳血管疾患等リハビリテーション科（Ⅱ）
医師事務作業補助体制加算
一般病棟看護必要度加算
急性期看護補助体制加算
小児科外来診療科
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
診療録管理体制加算
無菌製剤処理加算
重症者等療養環境特別加算
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算
医科点数表第２章第１０部手術の通則５及び６に掲げる手術
地域連携診療計画退院時指導料（1）
ニコチン依存症管理料
在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学管理料
在宅末期医療総合診療料
外来化学療法加算２
感染防止対策加算２
夜間休日救急搬送医学管理料
救急搬送患者地域連携受入加算
がん性疼痛緩和指導管理料

時間内歩行試験
CT 撮影及び MR 撮影（１６列以上のマルチスライス CT）
CT 撮影及び MR 撮影（１．５テスラ以上３．０テスラ未満）
様式１０の６　９０日を超えて入院する患者の算定：有
地域包括ケア入院医療管理料１
地域包括ケア入院医療管理料 病床の看護職員配置加算
地域包括ケア入院医療管理料の救急・在宅等支援病床初期加算

（指定等）　生活保護法指定医療機関
救急告示病院
結核予防法指定医療機関
労災保険指定医療機関
原爆被爆者一般疾病医療機関
病院群輪番制病院
身体障害者福祉法指定医療機関
へき地医療拠点病院
初期被ばく医療機関

日野病院組合議会開催状況

平成27年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	容
臨時会	H27.6.29		**仮議席の指定について** **議長の選挙について** **議席の指定について** **副議長のの選挙について** **病院事業運営調査特別委員会委員の指名について** 議案以外の協議・報告事項 ・介護老人保健施設事業移管の協議状況について ・平成26年度日野病院組合事業の決算概況について
定例会	H27.8.28	**第13号**	**平成26年度日野病院組合事業会計決算の認定について** 議案以外の協議・報告事項 ・外来待合棟の整備について（日野町病児・病後児保育事業）
定例会	H27.11.30	**第14号** **第15号** **第16号** **第17号** **第18号**	**日野病院組合職員の退職手当に関する条例の一部改正について** **日野病院組合個人情報保護条例の一部改正について** **平成27年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第1号）** **平成27年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計補正予算（第1号）** **日野病院組合監査委員の選任について** 議案以外の協議・報告事項 ・小児科の診療体制について ・鳥取大学地域医療学講座に対する負担金について（H28～30年度） ・旧院長住宅の空き家登録の実施について ・直近の経営状況について（9月末）
定例会	H28.2.22	**第 1号** **第 2号** **第 3号** **第 4号** **第 5号** **第 6号** **第 7号** **第 8号** **第 9号** **第10号** **第11号** **第12号**	**日野病院組合事業の設置等に関する条例等の一部改正について** 日野病院組合事業の設置等に関する条例の一部改正 日野病院組合定数条例の一部改正 日野病院組合職員の特殊勤務手当に関する条例 **日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について** **日野病院組合介護老人保健施設使用料及び手数料条例の廃止について** **鳥取県行政不服審査会共同設置規約に関する協議について** **平成27年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第2号）** **平成27年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算（第1号）** **平成27年度日野病院組合診療所事業会計補正予算（第1号）** **平成27年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計補正予算（第2号）** **平成28年度日野病院組合病院事業会計予算** **平成28年度日野病院組合在宅介護支援事業会計予算** **平成28年度日野病院組合診療所事業会計予算** **平成28年度日野病院組合介護老人保健施設事業会計予算** 議案以外の協議・報告事項 ・平成27年度日野病院組合病院事業等の決算見込みについて ・平成27年度日野病院組合介護老人保健施設事業等の決算見込みについて

			・平成28年度日野病院組合病院事業等の概況について ・日野病院組合職員の異動及び採用について

職員の状況

部署別職員数（平成２８年３月３１日現在）

（１） 病院事業

・診療局　常勤医師８名（うち嘱託医師１名）
（内科４名、小児科１名、外科１名、整形外科１名、眼科１名）

・看護局　７７名　（人）

区　分	看 護 師			准看護師			看護助手			合　　計			クラーク
	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時	正職	嘱託	臨時	
看護局長	1									1			
外　　来	3	1			4					3	5		2
２階病棟	16	1		2	3		1	4		19	8		1
３階病棟	19	2		3	1		1	5		23	8		1
手 術 室	1			2			1			4			
透 析 室	2									2			
合　計	42	4		7	8		3	9		52	21		4

・医療技術局２４名
臨床検査室３名（臨床検査技師３名）
薬剤管理室３名（薬剤師２名、嘱託事務１名）
放射線室３名（診療放射線技師２名、診療エックス線技師１名）
リハビリテーション室１２名
（理学療法士６名、作業療法士１名、言語聴覚士３名、マッサージ師１名、看護助手１名）
栄養管理室２名（管理栄養士２名）
臨床工学室１名（臨床工学技士１名）

・事務局１４名
事務局長　　１名
総 務 課　　６名（うち嘱託職員１名）
医 事 課　　７名（うち嘱託職員３名）

（２）在宅介護支援事業所

・所長　　１名（病院と兼務）
・看護師　　６名（病院と兼務１名）（介護支援専門員と兼務１名）
・理学療法士　２名
・作業療法士　１名

・介護支援専門員　４名（看護師と兼務１名）
・事務職員　　１名（嘱託職員）

（３）診療所事業

・医師　　１名（病院と兼務）
・看護師　　１名（病院と兼務）
・事務職員　　１名（病院と兼務）

年度別職員数推移（平成２７年３月３１日現在）

病院事業　（人）

区　分		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
診療局		8	9	8	8	8	8
看護局		74	77	76	76	77	77
医療技術局	薬剤	4	4	4	4	3	3
	栄養	2	2	3	3	2	2
	検査	3	3	3	3	3	3
	放射線	3	3	3	3	3	3
	リハビリ	13	14	14	11	12	12
	臨床工学				1	1	1
事務局		18	17	16	14	14	14
合　計		125	129	127	123	123	123

在宅介護支援事業所　（人）

区　分	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
医師（病院と兼務）	1	0	1	1	1	1
看護職（病院と兼務含）	5	4	4	4	5	6
ﾘﾊﾋﾞﾘ（病院と兼務含）	4	5	5	3	3	3
事務職	4	4	4	4	4	4
合　計	14	13	14	12	13	14

職員の表彰

受賞年月日	職　員　名	職　　名	表　彰　名
平成 27 年 5 月 29 日	生田 哲二	副病院長兼事務局長	全国自治体病院協議会事務長表彰
平成 28 年 4 月 15 日	生田 哲二	副病院長兼事務局長	日野病院職員表彰
平成 28 年 4 月 15 日	妹尾 小百合	主任看護師	日野病院看護局長表彰
平成 28 年 4 月 15 日	平石 美紀	看護助手	日野病院看護局長表彰

経営状況

平成27年度日野病院組合決算（事業別内訳）

〈収益的収支〉　　（単位：千円）

区分		病院事業（イ）	在宅介護支援事業（ロ）	診療所事業 計（ハ）	診療所事業 黒坂	診療所事業 二部	（イ）+（ロ）+（ハ）	26年度	増減
医業収益	入院収益	768,553					768,553	751,512	17,041
	外来収益	324,083		2,390	2,156	234	326,473	324,679	1,794
	室料差額収益	21,468					21,468	21,849	△ 381
	保健予防活動収益	24,858		299	291	8	25,157	23,471	1,686
	その他医業収益	15,421					15,421	15,490	△ 69
	事業間負担金(在宅/診療所)	18,908					18,908	18,699	209
	事業間負担金（あやめ）	7,652					7,652		7,652
	計	1,180,943		2,689	2,447	242	1,183,632	1,155,700	27,932
介護サービス収益	介護サービス収益		63,077				63,077	61,611	1,466
	その他介護サービス収益		185				185	151	34
	計		63,262				63,262	61,762	1,500
医業外収益	預金利息	589					589	494	95
	国県等補助金	35,799	366				36,165	36,948	△ 783
	負担金交付金	296,988	14,640	16,918	9,803	7,115	328,546	328,130	416
	負担金交付金（本部費）	434					434	446	△ 12
	長期前受金戻入（現金を伴わない）（A）	31,298					31,298	31,331	△ 33
	その他医業外収益	5,786					5,786	5,641	145
	計	370,894	15,006	16,918	9,803	7,115	402,818	402,990	△ 172
収益合計		1,551,837	78,268	19,607	12,250	7,357	1,649,712	1,620,452	29,260
医業費用	給与費	809,620	58,577				868,197	834,770	33,427
	退職給付引当金（通常）	59,416					59,416	28,660	30,756
	退職給付引当金（現金を伴わない）（B）	19,094					19,094	19,094	
	退職給付引当金（あやめ分）	5,386					5,386		5,386
	賞与引当金繰入額	46,867	3,242				50,109	51,010	△ 901
	賞与引当金繰入額（あやめ分）	2,266					2,266		2,266
	材料費	239,947	36	112	106	6	240,095	221,120	18,975
	経費	87,943	2,231	753	544	209	90,927	89,507	1,420
	委託費	134,035	464	15	13	2	134,514	128,682	5,832
	減価償却費（C）	131,793	423	143	29	114	132,359	135,176	△ 2,817
	資産減耗費（現金を伴わない）（D）	3,285					3,285	1,105	2,180
	研究研修費	3,976	410				4,386	5,125	△ 739
	本部費	434					434	439	△ 5
	事業間負担金		10,388	8,520	5,820	2,700	18,908	18,699	209
	計	1,544,062	75,771	9,543	6,512	3,031	1,629,376	1,533,387	95,989
医業外費用	企業債償還金（利子）・支払利息	28,568					28,568	30,452	△ 1,884
	その他医業外費用	4,929					4,929	3,804	1,125
	その他医業外費用（不納欠損分）（E）								
	事業間負担金（調整分）								
	計	33,497					33,497	34,256	△ 759
特別損失	特別損失							45,417	△ 45,417
費用合計		1,577,559	75,771	9,543	6,512	3,031	1,662,873	1,613,060	49,813
収益的収支（決算額）		△ 25,722	2,497	10,064	5,738	4,326	△ 13,161	7,392	△ 20,553
年度末累積剰余金・累積欠損金		12,303	82,422	94,987			189,712	202,873	△ 13,161

〈資本的収支〉

区分		病院事業（イ）	在宅介護支援事業（ロ）	診療所 計（ハ）	診療所 黒坂	診療所 二部	（イ）+（ロ）+（ハ）	26年度	増減
企業債	企業債	57,700		1,000	1,000		58,700	22,200	36,500
負担金	負担金								
補助金	補助金	3,402					3,402	261	3,141
固定資産売却代金	固定資産売却代金								
借入金	借入金								
貸付金償還	貸付金償還	1,800					1,800	1,200	600
資本的収入計		62,902		1,000	1,000		63,902	23,661	40,241
建設改良費	固定資産購入費	64,504		1,058	1,058		65,562	27,107	38,455
企業債償還金	企業債償還金（元金）	153,541					153,541	140,413	13,128
貸付金	奨学金貸付金	3,000					3,000	2,400	600
借入金償還	借入金償還								
資本的支出計		221,045		1,058	1,058		222,103	169,920	52,183
資本的収支		△ 158,143		△ 58	△ 58		△ 158,201	△ 146,259	△ 11,942

（単年度資金収支）

現金を伴わない収益（A）	31,298					31,298	31,331	△ 33
現金を伴わない費用（B)+(C)+(D)+(E)	154,172	423	143	29	114	154,738	155,375	△ 637
単年度資金収支	△ 60,991	2,920	10,149	5,709	4,440	△ 47,922	△ 14,823	△ 33,099

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高（引当金除）（A）	未払金等残高（B）	資金不足負担金発生までの額（(A)−(B)）		
	551,597	91,027	460,570	492,066	△ 31,496

退職給付引当金残高	前年度引当金残高	退職給付引当金	退職給付金	引当金残高 総残高	引当金残高 増減	引当金残高 （内現金分）	引当金残高 （内現金分増減）
	263,736	83,896	8人　71,359	276,273	12,537	238,085	△ 6,557

平成２７年度病院事業等の決算について

１、総括的事項

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT・MRI などの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、一般病床99床（内地域包括ケア病床25床）の入院業務と22診療科の外来診療に加え訪問診察を行った。

また、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づいていく医療と福祉」の推進を図った。

２、「出かける医療・近づいていく医療と福祉」

構成3町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっている。

通院の利便性を図るため、公共交通機関のない地域に患者送迎車（ワゴン車）を走らせ、自宅から日野病院や診療所の間で運行させた。

また、訪問診察（週３日）に加え、在宅支援事業（訪問看護と訪問リハビリ）と診療所事業の充実を図り、可能な限り在宅での生活（療養）を支援している。（訪問診察と在宅支援事業は構成3町だけでなく県境を越え岡山県にも出かけている。）

（ア）訪問診察

訪問診察の延べ患者数は、平成27年度で678人（平成26年度は694人）となり、在宅での生活（療養）を推進している。

平成16年度に購入した携帯型のレントゲン撮影装置、超音波断層装置及び心電計の導入により、訪問診療の充実を図っている。

（イ）在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリ（理学療法士2名・作業療法士1名）を行った。

（作業療法士は平成23年度から）

平成27年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護 1，734名（81名減）、訪問リハビリ 3，448名（82名減）となっている。

（ウ）診療所事業

無医地区の黒坂（日野町）と二部（伯耆町）に診療所を開所し診療を行った。

黒坂診療所は毎週火・木曜日、二部診療所は毎週水曜日に開所した。平成27年度延べ患者数は581名となった。（平成26年度延べ患者数は619名）

病院事業等は、在宅での療養の推進を図りながら現在の病院機能を維持していくことが必要と考えているが、今後鳥取県が策定する地域医療構想に基づき、新公立病院ガイドラインを平成２８年度に策定するにあたり、機能や経営形態について検討し、周辺人口の減少による患者数の減少に対応していく必要がある。

平成２７年度病院事業等の決算概要説明

日野病院組合は、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業と介護老人保健事業の４事業を行っていますが、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業の決算概要について説明します。

１、医業収支・各種統計について

平成２７年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については･･･

> 医業収支････診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支
>
> （平成１９年度から実施している退職給与引当ては、本来は給与費として医業収支に含めるべきものであるが、前年度との比較や他病院との比較を分かりやすくするため、この表においては除外している。）

収益について、外来収益は、患者数が減少したが一人あたりの単価が増加したため増収となった。また、入院収益も一人あたりの単価は減少したものの、入院患者数の増により増収となった。在宅事業の介護サービス収益は、居宅介護支援件数の増により増加したが、診療所事業は患者数の減少により減収となった。

全体では２９，２２３千円の増収となった。

費用について、看護師の増員により給与費が増加した。また、入院患者数の増加等により、その他全ての費用が増加したため、全体で５９，６３８千円の増となった。

以上から、平成２６年度と比較し３０，４１５千円の収支の減となった。

（医業収入）

病院事業について、外来収益は、患者数が３７，２９２人で平成２６年度と比較し５５９人の減となったが、一人あたりの診療単価が８，６９０円となり１８３円増加したため、収益は２，０７６千円の増収となった。

入院収益は、患者数が２６，１２２人で、平成２６年度と比較し７４９人増加した。一人あたりの診療単価は２９，４２２円で、平成２６年度と比較して１９７円減少したものの、１７，０４１千円の増収となった。

在宅介護支援事業については、訪問看護利用者が８１人の減、訪問リハビリ利用者が８２人減となったが、居宅支援件数が１５６件増加したため、全体で１，３１５千円の増収となった。

診療所事業については、黒坂診療所患者数が１６人の減少、二部診療所患者数が２２人の減少となったため、全体で２８２千円の減収となった。

その他の医業収益については、室料差額が３８１千円の減収、保健予防活動収益が１，６８６千円の増収、その他医業収益はあやめからの負担金７，６５２千円（退職給付引当金分５，３８６千円・賞与引当金分２，２６６千円）を含め７，７６８千円の増収となった。

（医業費用）

職員給与費については、看護師等の増加により３４，７９２千円の増、材料費が１８，９７５千円の増、経費が１，４２０千円の増、委託費が５，８３２千円のそれぞれ増となった。

２、在宅介護支援事業について

訪問看護収益については、延べ利用者数が８１人減少し１２３千円の減収、訪問リハビリ事業も利用者数が８２人減少したため、１，５２８千円の減収となった。居宅支援収益は１５６件増加したため、２，９６６千円の増収となった。全体では１，３１５千円の増収となった。

３、診療所事業について

黒坂診療所は火曜日と木曜日の週２日の診療、二部診療所については水曜日のみの週１日の診療を行った。患者数は黒坂診療所が１６人の減少、二部診療所は２２人の減少となり、２８２千円の減収となった。

４、単年度資金収支について

平成２７年度の単年度資金収支（現金）は、４７，９２２千円の減となった。この額が運転資金（留保資金）から減額されることになるが、現金で引当てをしている退職給付費引当金は６４，８０２千円であるため、病院全体としては１６，８８０千円の資金の増。（退職給付費引当金については後記）

５、負担金（追加分）発生の状況について

平成２０年度に構成町の負担金（追加分）について発生の条件を、単年度資

金収支の減による補てん（赤字補てん）から、運転資金（留保資金）不足の補てんへ変更した。このことにより、留保資金が病院の運営をしていく上での運転資金を下回った（資金不足を生じた）場合に限り、その額を負担金（追加分）として受けることになった。したがって、平成２７年度のように単年度において単年度資金収支（留保資金）が減少しても、運転資金を下回らない限り構成町からの負担金（追加分）は発生しない。

平成２７年度末時点で、資金不足発生までの額は４６０，５７０千円となり、当分の間負担金（追加分）は発生することはない状況である。

６、退職手当引当金の実施について

平成１９年度から実施している退職給与引当てについて、平成２７年度は通常の率（１６５/１０００）による引当てを現金で５９，４１６千円実施した。

また、平成２６年度から地方公営企業法の改正により、経過措置として毎年１９，０９４千円の引当てを実施している。（今年度２年目。現金を伴わない引当てで１５年間実施）

加えて、老健事業から病院事業へ異動した職員分の退職給付引当金として、５，３８６千円の引当てを実施した。（同額老健事業から負担金あり）

８名の退職者（あやめ退職者（継続勤務者等）の職員で、日野病院勤務期間のある職員４名を含む）に対し総額７１，３５９千円の退職給与金の支払いを行い、残高は２７６，２７３千円となった。（内現金残高２３８，０８５千円）

現在の引当率（１６５/１０００）で引当てを実施した場合、平成４０年度末の引当金残高見込額が目標額を大きく上回るため、平成２８年度から引当率を１４０/１０００に変更し引当てを実施する。（ただし、退職手当制度の変更や早期退職者の状況により、引当率については定期的に見直す必要がある。）

７、病院事業等に対する地方交付税措置について

普通交付税について、１床あたりに対する措置額が２千円減少し、１９８千円の減となったが、起債償還に対する措置額が１，２１１千円増加した。全体では１９３，６４７千円の措置額となり、１，０１３千円の増となった。

特別交付税については、平成１９年度から不採算地区病院の対象となっており、また平成２０年度からはへき地医療に対する措置も対象となっているが、平成２４年度決算において累積剰余金が発生したため、基礎年金拠出金に対す

る措置がなくなった。
派遣医師に対する措置額と訪問看護事業に対する措置額が減少したため措置額は１，４０７千円減少し、１４８，２０４千円となった。

交付税措置額は全体で３４１，８５１千円となり、３９４千円の減となった。

８、累積剰余金の処分について

平成１８年度に約６億円あった累積欠損金が、平成１９年度以降の黒字決算の継続により、平成２４年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。
平成２７年度決算終了時点で、累積剰余金は１８９，７１２千円となった。

剰余金の処分方法については、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、平成２７年度決算において剰余金は発生しなかった。

９、日野病院経営計画プラン（公立病院改革プラン）の策定及び評価について

日野病院は、平成２０年度に「日野病院安定経営プラン」を策定、平成２４年度には「日野病院経営計画プラン」を策定したところである。

新公立病院改革プランの策定については、従来の「経営効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」に、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」を加えた４つの視点に立って改革を進めることが必要とされている。
日野病院は、平成２８年９月頃に策定される鳥取県の地域医療構想を受け、その内容に沿った計画を平成２８年度に策定する予定である。
前回の改革プランは病院内の協議により策定したが、今回の改革プランの策定にあたっては、外部の意見を取り入れ策定する予定。

また、改革プランに沿って、日野病院中長期計画（Ｈ２９～Ｈ３３）を策定する予定である。

平成27年度　医業収支（病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業）年度比較表

（収益）　　（単位：千円）

内訳		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　　考
外来収益	病　院	309,136	315,063	315,215	308,719	328,039	327,934	322,007	324,083	2,076	年間外来患者数 37，292人（1人あたり8，690円）
	在　宅	35,698	47,758	49,602	51,221	56,579	57,758	61,762	63,077	1,315	訪問看護17，867千円・訪問リハビリ24，251千円・居宅介護20，959千円
	診療所	8,575	6,062	5,276	4,685	4,504	3,025	2,672	2,390	△ 282	黒坂（2，156千円）・二部（234千円）
入院収益		769,926	843,754	784,437	795,516	755,900	761,575	751,512	768,553	17,041	年間入院患者数 26，122人（1人あたり 29，422円）
室料差額		27,028	27,847	25,313	25,643	24,878	24,068	21,849	21,468	△ 381	稼働率（特別室 4．4%・個室A 58．0%・個室B 74．3%）
保健予防		23,782	30,900	24,545	23,926	23,754	22,432	23,471	25,157	1,686	ドック・各種検診
そ の 他		16,743	17,163	18,283	18,269	17,805	14,777	15,490	23,258	7,768	文書料等・あやめ分（7，652千円）
計（A）		1,190,888	1,288,547	1,222,671	1,227,979	1,211,459	1,211,569	1,198,763	1,227,986	29,223	

（費用）

内訳	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　　考
給 与 費	765,375	814,170	838,471	845,625	868,956	870,328	885,780	920,572	34,792	給与（357,441）・手当（191,594）・賃金（193,876）・法定福利費（125,286）賞与引当（52,375）
退職給与金等	87,955	123,765	102,250	55,900	106,607	54,627	47,754	83,896	36,142	通常分 59,416千円（給与費＊165/1000）・経過措置分 19,094千円・あやめ分 5,386千円
材 料 費	232,142	270,647	228,200	232,206	218,570	239,860	221,120	240,095	18,975	医薬品費・薬品費・診療材料費等
経　　費	78,208	76,716	77,119	83,386	91,180	92,598	89,507	90,927	1,420	消耗品・光熱水費 等
委 託 費	104,852	109,140	108,711	115,214	123,093	116,711	128,682	134,514	5,832	給食・寝具・検査委託 等
減価償却費等	100,956	105,455	102,247	109,899	112,702	123,498	136,281	135,644	△ 637	減価償却費（132，359千円）・資産減耗費（3，285千円）
そ の 他	4,193	5,150	5,981	6,590	5,934	5,900	5,564	4,820	△ 744	研究研修費（4，386千円）・本部費（434千円）
計（B）	1,373,681	1,505,043	1,462,979	1,448,820	1,527,042	1,503,522	1,514,688	1,610,468	95,780	

（収支）

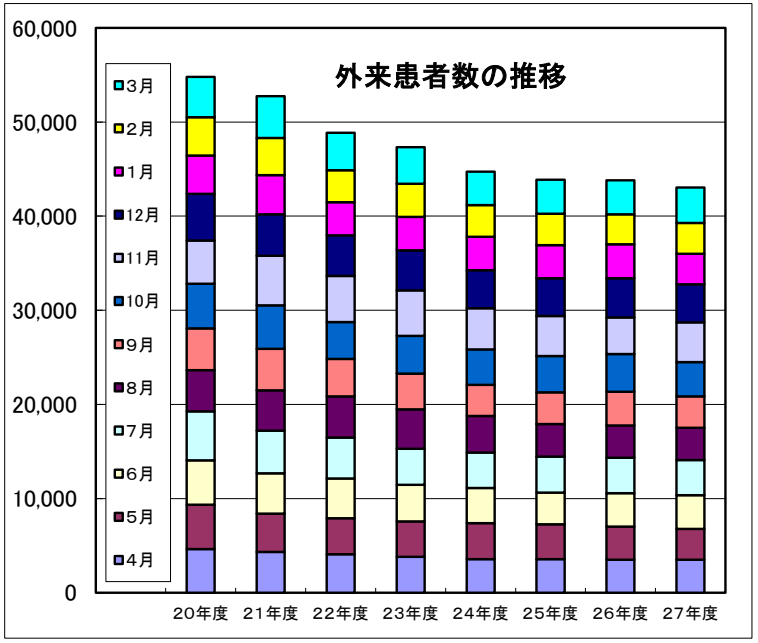
内訳	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　　考
計（A）―（B）	△ 182,793	△ 216,496	△ 240,308	△ 220,841	△ 315,583	△ 291,953	△ 315,925	△ 382,482	△ 66,557	医業収益計（A）―医業費用計（B）
（前年度との比較）	△ 13,022	△ 33,703	△ 23,812	19,467	△ 94,742	23,630	△ 23,972	△ 66,557		

＊医業収支以外の主なもの　　（単位：千円）

（収入）	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　　考
負 担 金	218,825	313,784	332,612	344,362	344,922	326,036	328,130	328,546	416	交付税措置額（不採算地区病院・へき地医療 含む）
補 助 金	40,990	38,620	38,967	38,234	38,083	37,770	36,948	36,164	△ 784	建設費にかかる支払利子の1/2・輪番制補助金 等
（支出）	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　　考
起債償還等	129,792	135,149	147,996	163,786	176,691	200,240	170,865	182,109	11,244	元金 153，541千円・利子 28，568千円

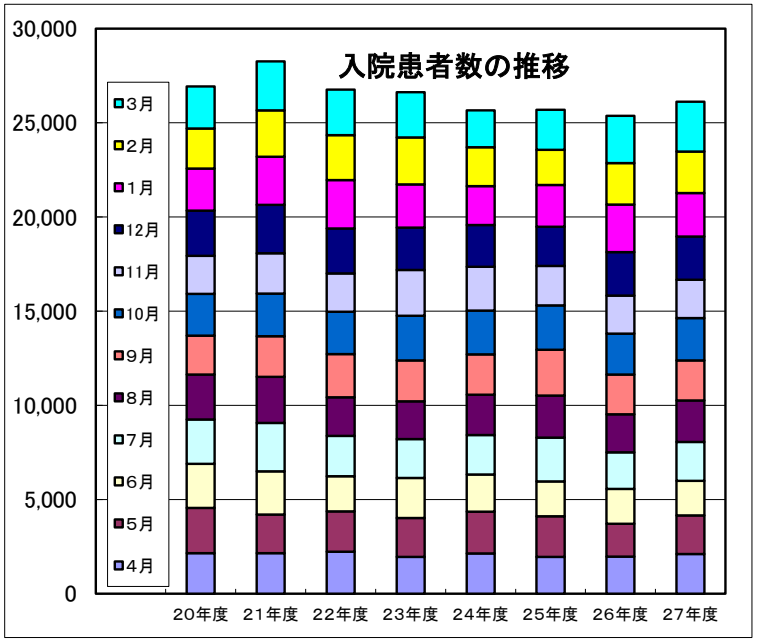
（外来患者数の推移）　　（単位：人）

患者数	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
4月	4,629	4,342	4,073	3,806	3,582	3,569	3,503	3,515	12
5月	4,718	4,050	3,855	3,780	3,815	3,697	3,531	3,268	△ 263
6月	4,730	4,288	4,216	3,889	3,717	3,367	3,556	3,579	23
7月	5,179	4,536	4,334	3,807	3,789	3,818	3,759	3,735	△ 24
8月	4,400	4,299	4,376	4,214	3,861	3,461	3,418	3,425	7
9月	4,418	4,399	3,974	3,792	3,324	3,376	3,587	3,339	△ 248
10月	4,735	4,612	3,932	3,984	3,761	3,842	3,998	3,641	△ 357
11月	4,616	5,274	4,904	4,850	4,388	4,261	3,893	4,230	337
12月	4,944	4,414	4,297	4,252	4,011	4,021	4,158	4,019	△ 139
1月	4,082	4,157	3,511	3,542	3,565	3,500	3,616	3,262	△ 354
2月	4,058	3,935	3,415	3,540	3,375	3,339	3,177	3,258	81
3月	4,289	4,449	3,967	3,870	3,535	3,616	3,619	3,784	165
計	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	△ 760



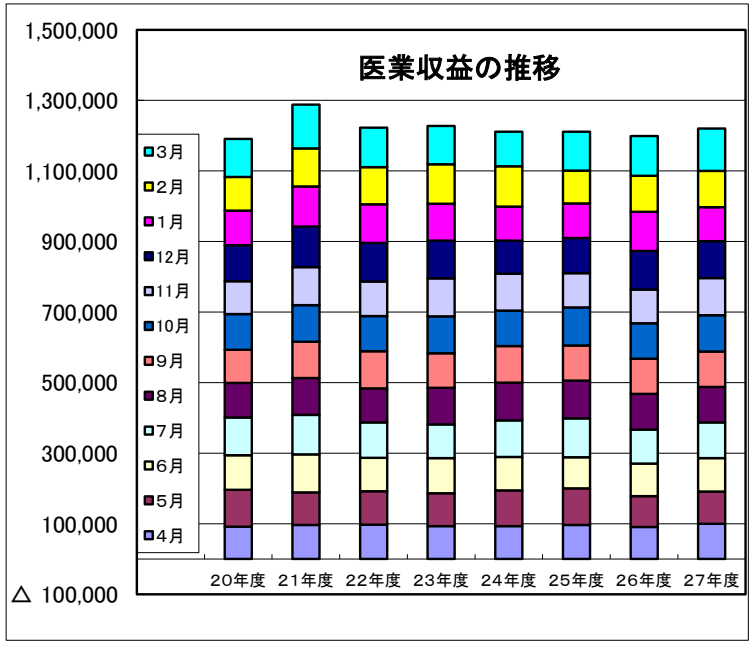
（入院患者数の推移）　　（単位：人）

患者数	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
4月	2,149	2,158	2,233	1,960	2,131	1,953	1,975	2,106	131
5月	2,406	2,041	2,132	2,056	2,225	2,158	1,743	2,045	302
6月	2,340	2,304	1,872	2,129	1,977	1,856	1,843	1,848	5
7月	2,359	2,559	2,134	2,062	2,085	2,318	1,943	2,052	109
8月	2,387	2,450	2,062	2,006	2,153	2,234	2,016	2,211	195
9月	2,053	2,161	2,284	2,172	2,140	2,425	2,108	2,128	20
10月	2,230	2,266	2,252	2,363	2,323	2,362	2,179	2,246	67
11月	2,014	2,128	2,035	2,436	2,323	2,093	2,024	2,037	13
12月	2,393	2,571	2,379	2,246	2,220	2,079	2,312	2,290	△ 22
1月	2,235	2,568	2,583	2,304	2,057	2,220	2,517	2,310	△ 207
2月	2,136	2,452	2,373	2,487	2,070	1,864	2,207	2,198	△ 9
3月	2,225	2,603	2,423	2,410	1,964	2,127	2,506	2,651	145
計	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	749



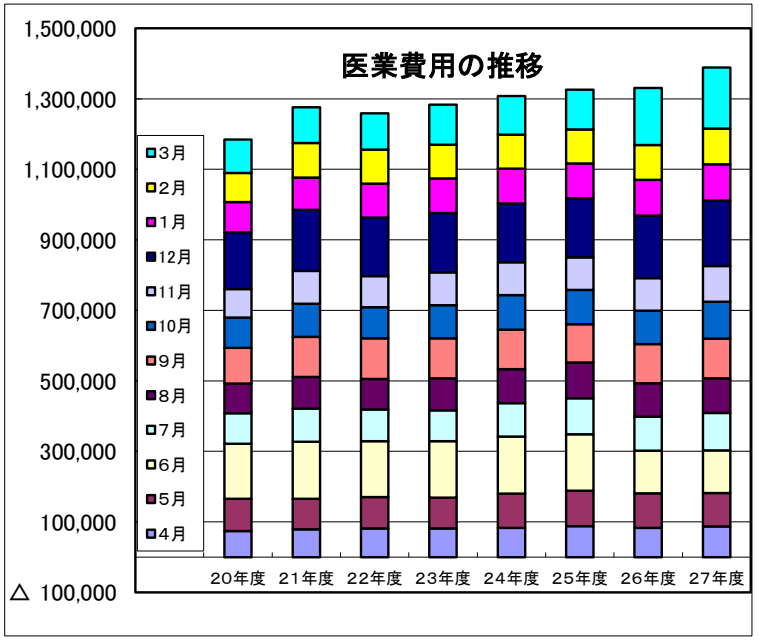
（収益の推移）　　（単位：千円）

収益	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
4月	91,893	96,799	97,222	93,129	93,388	96,962	91,271	99,776	8,505
5月	104,315	92,480	94,933	93,323	101,644	103,053	86,802	91,863	5,061
6月	97,832	107,721	94,857	99,813	94,693	88,846	92,220	94,782	2,562
7月	106,994	111,804	100,710	95,533	103,445	109,755	96,417	100,636	4,219
8月	98,338	103,986	96,379	103,533	106,746	107,556	101,608	100,678	△ 930
9月	93,858	103,118	104,669	98,115	103,541	99,282	99,268	100,243	975
10月	101,600	103,635	99,669	104,143	101,154	107,655	101,007	102,983	1,976
11月	92,625	108,052	97,871	108,031	104,203	97,611	95,528	105,504	9,976
12月	102,124	115,017	109,497	107,397	93,570	98,976	108,759	104,295	△ 4,464
1月	97,724	113,249	109,363	104,209	96,464	98,197	111,663	96,994	△ 14,669
2月	95,433	108,316	106,083	112,044	114,722	93,144	102,095	102,418	323
3月	108,152	124,049	111,418	108,709	97,889	110,532	112,125	120,162	8,037
計	1,190,888	1,288,226	1,222,671	1,227,979	1,211,459	1,211,569	1,198,763	1,220,334	21,571



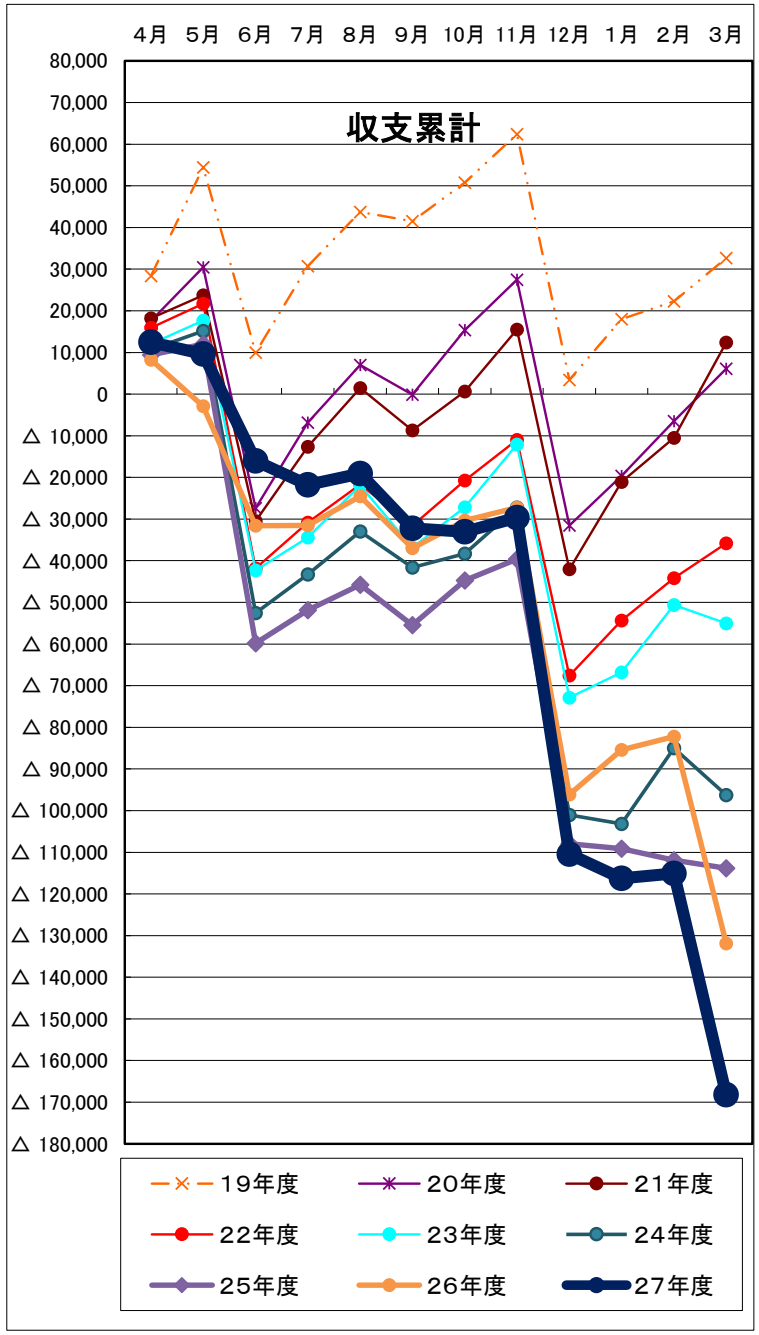
（費用の推移）　　（単位：千円）

費用	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
4月	74,291	78,617	81,334	81,080	82,630	87,539	83,018	87,325	4,307
5月	91,471	86,941	89,124	87,717	97,260	100,489	97,984	94,727	△ 3,257
6月	155,669	161,942	158,360	159,770	162,381	160,669	120,883	120,422	△ 461
7月	86,463	93,921	89,738	87,686	94,179	101,757	96,335	106,386	10,051
8月	84,455	89,883	87,267	90,964	96,462	101,467	94,625	97,931	3,306
9月	101,027	113,308	114,517	113,095	112,177	108,969	111,747	113,391	1,644
10月	86,110	94,328	88,825	94,450	97,820	96,935	94,366	103,860	9,494
11月	80,512	93,135	88,133	92,950	93,123	92,535	92,386	102,096	9,710
12月	161,136	172,614	166,105	168,168	167,413	167,309	177,691	185,095	7,404
1月	85,800	92,276	96,127	98,122	98,571	99,331	100,914	102,762	1,848
2月	82,330	97,735	95,935	95,861	96,524	95,939	98,935	101,254	2,319
3月	95,506	101,117	103,017	113,158	109,193	112,458	161,769	173,314	11,545
計	1,184,770	1,275,817	1,258,482	1,283,021	1,307,733	1,325,397	1,330,653	1,388,563	57,910



（収支の推移）　　（単位：千円）

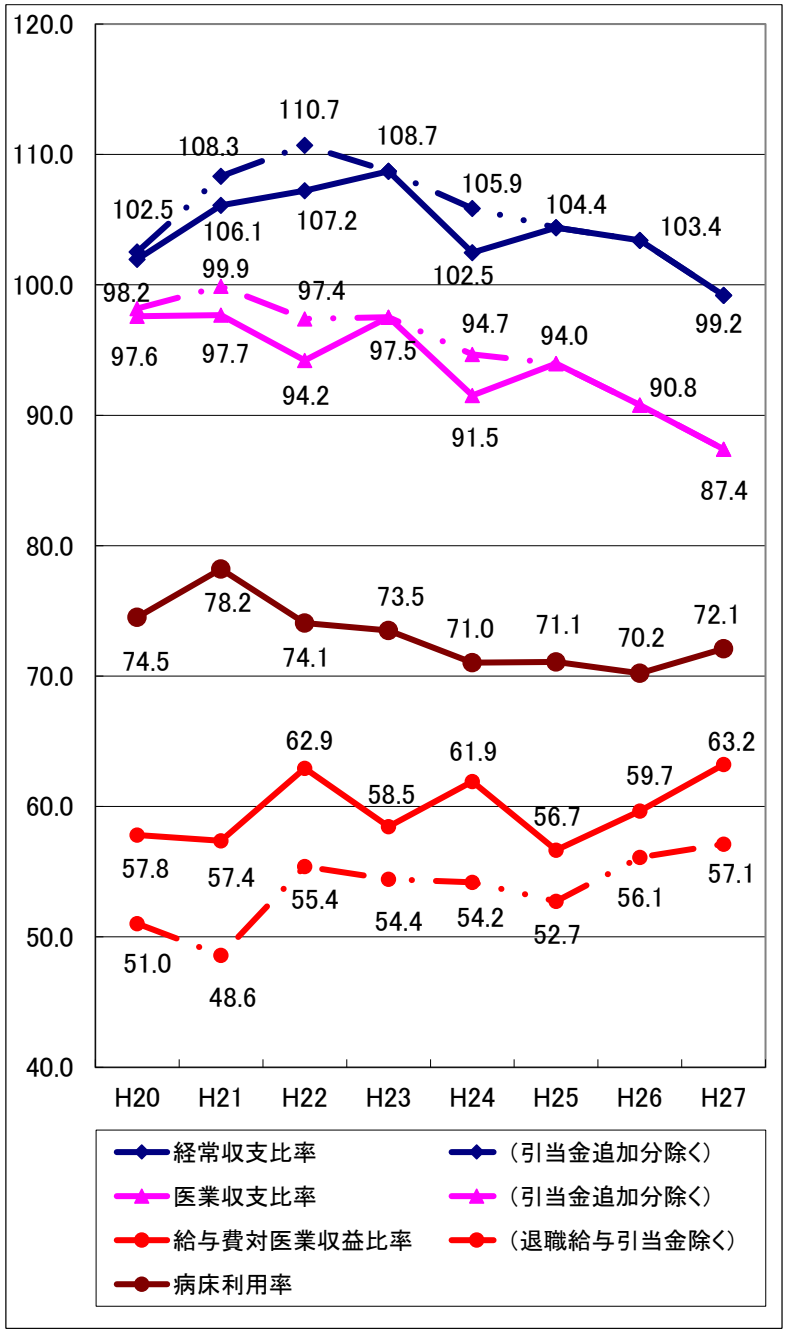
収支	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	**27年度**	差引
4月	17,602	18,182	15,888	12,049	10,758	9,423	8,253	**12,451**	4,198
5月	12,844	5,539	5,809	5,606	4,384	2,564	△ 11,182	**△ 2,864**	8,318
6月	△ 57,837	△ 54,221	△ 63,503	△ 59,957	△ 67,688	△ 71,823	△ 28,663	**△ 25,640**	3,023
7月	20,531	17,883	10,972	7,847	9,266	7,998	82	**△ 5,750**	△ 5,832
8月	13,883	14,103	9,112	12,569	10,284	6,089	6,983	**2,747**	△ 4,236
9月	△ 7,169	△ 10,190	△ 9,848	△ 14,980	△ 8,636	△ 9,687	△ 12,479	**△ 13,148**	△ 669
10月	15,490	9,307	10,844	9,693	3,334	10,720	6,641	**△ 877**	△ 7,518
11月	12,113	14,917	9,738	15,081	11,080	5,076	3,142	**3,408**	266
12月	△ 59,012	△ 57,597	△ 56,608	△ 60,771	△ 73,843	△ 68,333	△ 68,932	**△ 80,800**	△ 11,868
1月	11,924	20,973	13,236	6,087	△ 2,107	△ 1,134	10,749	**△ 5,768**	△ 16,517
2月	13,103	10,581	10,148	16,183	18,198	△ 2,795	3,160	**1,164**	△ 1,996
3月	12,646	22,932	8,401	△ 4,449	△ 11,304	△ 1,926	△ 49,644	**△ 53,152**	△ 3,508
計	6,118	12,409	△ 35,811	△ 55,042	△ 96,274	△ 113,828	△ 131,890	**△ 168,229**	△ 36,339



決算統計数値の推移

項目	決算統計	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
医業収益 (A)	20表(2)	1,294,736	1,411,715	1,359,287	1,392,512	1,378,182	1,392,110	1,344,711	**1,376,398**
医業外収益 (B)	20表(15)	161,547	234,784	247,427	220,851	220,877	212,060	252,109	**249,368**
医業費用 (C)	20表(26)	1,326,718	1,445,214	1,442,771	1,427,809	1,505,721	1,481,548	1,481,150	**1,574,822**
医業外費用 (D)	20表(40)	101,661	106,675	55,582	56,267	54,778	55,060	62,861	**64,105**
職員給与費 (E)	20表(27)	748,513	809,819	855,347	813,925	853,402	788,720	802,275	**870,139**
材料費 (F)	20表(28)	220,924	257,591	213,502	221,220	208,079	228,454	204,652	**222,190**
うち薬品費 (G)	21表(22)	138,025	147,332	120,517	112,711	113,224	120,188	108,111	**118,835**
年延入院患者数 (H)	27表(6)	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	**26,122**
うち一般患者数 (I)	27表(1)	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	**26,122**
うち療養患者数 (J)	27表(2)	0	0	0	0	0	0	0	**0**
年延病床数 (K)	27表(12)	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135	**36,234**
うち一般病床数 (L)	27表(7)	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135	**36,234**
うち療養病床数 (M)	27表(8)	0	0	0	0	0	0	0	**0**

項目		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
経常収支比率	(A)+(B) / (C)+(D)	102.0	106.1	107.2	108.7	102.5	104.4	103.4	**99.2**
医業収支比率	(A) / (C)	97.6	97.7	94.2	97.5	91.5	94.0	90.8	**87.4**
職員給与費対医業収益比率	(E) / (A)	57.8	57.4	62.9	58.5	61.9	56.7	59.7	**63.2**
材料費対医業収益比率	(F) / (A)	17.1	18.2	15.7	15.9	15.1	16.4	15.2	**16.1**
うち薬品費対医業収益比率	(G) / (A)	10.7	10.4	8.9	8.1	8.2	8.6	8.0	**8.6**
病床利用率	(H) / (K)	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	**72.1**
うち一般病床	(I) / (L)	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	**72.1**
うち療養病床	(J) / (M)	–	–	–	–	–	–	–	**–**



平成27年度　外来患者（病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業）分析

（単位：人）　収益　（単位：千円）

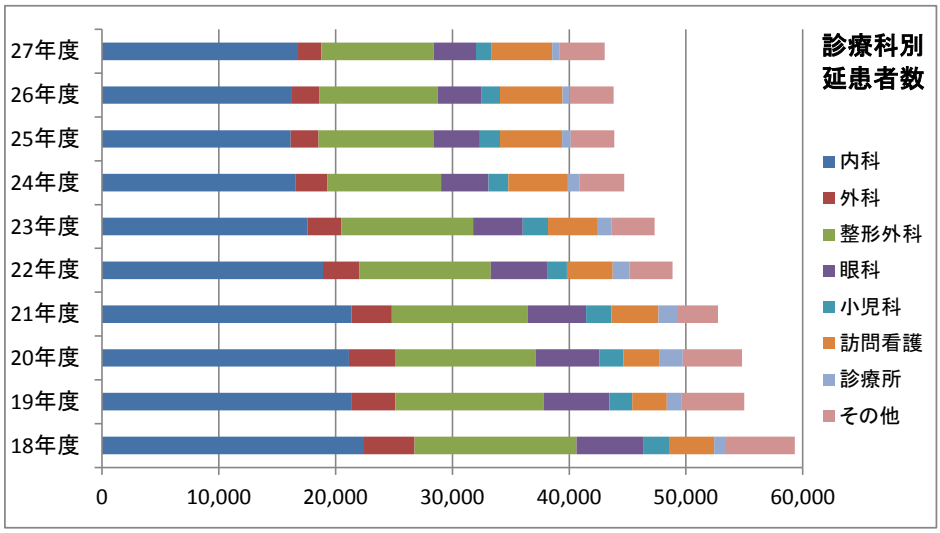
患者数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	稼動	平均	病院	訪問	診療所
4月	4,750	4,522	4,629	4,342	4,073	3,806	3,582	3,569	3,503	3,515	12	21	167.4	27,985	5,104	243
5月	5,028	4,780	4,718	4,050	3,855	3,780	3,815	3,697	3,531	3,268	△ 263	18	181.6	26,018	4,944	201
6月	5,194	4,405	4,730	4,288	4,216	3,889	3,717	3,367	3,556	3,579	23	22	162.7	27,679	4,871	169
7月	4,959	4,655	5,179	4,536	4,334	3,807	3,789	3,818	3,759	3,735	△ 24	22	169.8	29,532	5,075	247
8月	5,524	4,924	4,400	4,299	4,376	4,214	3,861	3,461	3,418	3,425	7	20	171.3	26,716	5,028	132
9月	4,945	4,330	4,418	4,399	3,974	3,792	3,324	3,376	3,587	3,339	△ 248	19	175.7	26,423	5,306	211
10月	4,901	4,980	4,735	4,612	3,932	3,984	3,761	3,842	3,998	3,641	△ 357	21	173.4	27,640	5,414	211
11月	5,323	5,339	4,616	5,274	4,904	4,850	4,388	4,261	3,893	4,230	337	19	222.6	26,184	5,527	192
12月	5,058	4,663	4,944	4,414	4,297	4,252	4,011	4,021	4,158	4,019	△ 139	19	211.5	26,818	5,795	165
1月	4,430	4,011	4,082	4,157	3,511	3,542	3,565	3,500	3,616	3,262	△ 354	19	171.7	25,059	5,479	181
2月	4,346	3,926	4,058	3,935	3,415	3,540	3,375	3,339	3,177	3,258	81	20	162.9	25,524	4,852	168
3月	4,866	4,447	4,289	4,449	3,967	3,870	3,535	3,616	3,619	3,784	165	22	172.0	28,505	5,682	270
計	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	△ 760	242	177.9	324,083	63,077	2,390

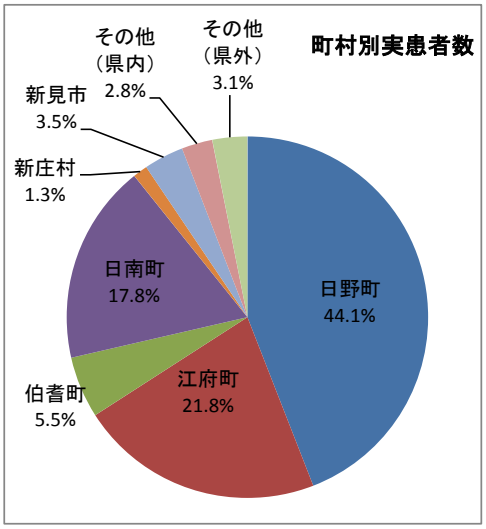
（内訳）　（単位：人）　（単位：千円）

診療科	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	稼動	平均	収益	診療単価	備考
内科	19,464	18,602	18,405	18,328	16,242	14,928	14,738	14,732	14,905	15,372	467	242	63.5	176,725	11,497	月～金
循環器内科	842	727	616	810	922	770	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	
消化器内科	803	712	818	955	851	868	804	683	576	645	69	48	13.4	5,585	8,659	水
脳神経内科	1,334	1,307	1,300	1,261	900	1,010	1,043	750	778	767	△ 11	49	15.7	4,351	5,673	木
外科	3,803	3,302	3,497	3,078	2,751	2,580	2,410	2,095	2,063	1,755	△ 308	242	7.3	19,023	10,839	月～金
整形外科	13,855	12,683	12,019	11,640	11,251	11,302	9,736	9,841	10,137	9,630	△ 507	240	40.1	61,883	6,426	月～金
心臓血管外科	528	463	456	386	367	326	300	288	270	244	△ 26	34	7.2	1,660	6,803	第1～3火
眼科	5,703	5,654	5,488	5,006	4,832	4,255	4,053	3,956	3,742	3,599	△ 143	240	15.0	18,953	5,266	月～金
耳鼻咽喉科	917	845	922	727	698	760	731	723	694	730	36	49	14.9	2,682	3,674	木
泌尿器科	1,505	1,391	1,350	1,304	1,438	1,495	1,598	1,420	1,350	1,302	△ 48	43	30.3	22,819	17,526	月
皮膚科	466	430	476	522	565	451	411	519	747	836	89	48	17.4	2,163	2,587	火
女性診療科	285	445	174	167	78	68	147	191	168	192	24	57	3.4	737	3,839	火・第1水
小児科	2,220	1,955	2,069	2,142	1,702	2,161	1,702	1,746	1,604	1,363	△ 241	237	5.8	3,447	2,529	月～金
心療内科	828	756	653	716	799	766	806	753	743	764	21	49	15.6	3,823	5,004	金
アレルギー科	64	62	93	88	107	153	134	132	74	93	19	237	0.4	232	2,495	月～金
居宅管理	1,824	1,415	1,394	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	
訪問看護・リハ	3,854	2,967	3,043	4,051	3,912	4,182	5,108	5,309	5,345	5,182	△ 163	242	21.4	63,077	12,172	随時
黒坂診療所	1,029	1,042	1,814	1,442	1,311	1,157	905	649	550	534	△ 16	97	5.5	2,156	4,037	火・木
二部診療所	0	224	211	132	128	94	97	80	69	47	△ 22	45	1.0	234	4,979	水
計	59,324	54,982	54,798	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	△ 760	－	－	389,550	9,048	

（内訳）　（単位：人・%）

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町（小計）	日南町	新庄村	新見市	その他（県内）	その他（県外）	合計
実患者数*	2,087	1,033	261	3,381	845	62	168	131	148	4,735
割合（%）	44.1	21.8	5.5	71.4	17.8	1.3	3.5	2.8	3.1	100.0
（H26実患者数）	2,082	1,005	242	3,329	862	52	165	124	139	4,671





平成27年度 入 院 患 者 分 析

（単位：人）

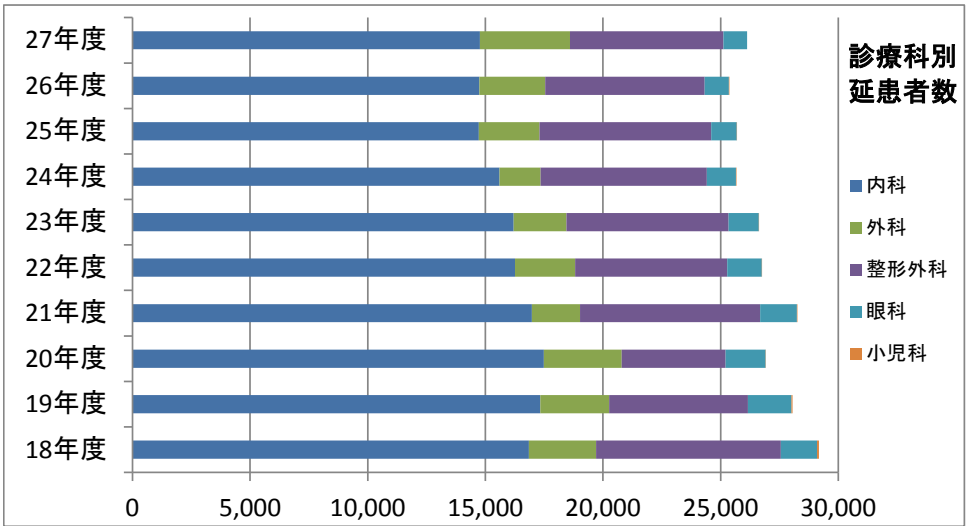
患者数	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	稼動	平均	稼働率（%）	入院収益
4月	2,701	2,314	2,149	2,158	2,233	1,960	2,131	1,953	1,975	2,106	131	30	70.2	70.9	63,956
5月	2,456	2,671	2,406	2,041	2,132	2,056	2,225	2,158	1,743	2,045	302	31	66.0	66.6	57,517
6月	2,736	2,454	2,340	2,304	1,872	2,129	1,977	1,856	1,843	1,848	5	30	61.6	62.2	56,995
7月	2,453	2,338	2,359	2,559	2,134	2,062	2,085	2,318	1,943	2,052	109	31	66.2	66.9	64,045
8月	2,166	2,352	2,387	2,450	2,062	2,006	2,153	2,234	2,016	2,211	195	31	71.3	72.0	63,181
9月	2,179	2,303	2,053	2,161	2,284	2,172	2,140	2,425	2,108	2,128	20	30	70.9	71.6	62,980
10月	2,351	2,122	2,230	2,266	2,252	2,363	2,323	2,362	2,179	2,246	67	31	72.5	73.2	65,319
11月	2,435	2,126	2,014	2,128	2,035	2,436	2,323	2,093	2,024	2,037	13	30	67.9	68.6	60,143
12月	2,359	2,325	2,393	2,571	2,379	2,246	2,220	2,079	2,312	2,290	△ 22	31	73.9	74.6	67,064
1月	2,424	2,355	2,235	2,568	2,583	2,304	2,057	2,220	2,517	2,310	△ 207	31	74.5	75.3	65,073
2月	2,355	2,197	2,136	2,452	2,373	2,487	2,070	1,864	2,207	2,198	△ 9	29	75.8	76.6	68,571
3月	2,557	2,500	2,225	2,603	2,423	2,410	1,964	2,127	2,506	2,651	145	31	85.5	86.4	73,709
計	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	749	366	71.4	72.1	768,553

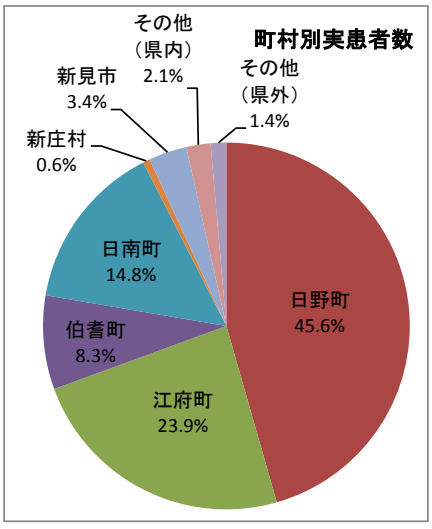
（内訳）　（単位：人）　（単位：千円）

診療科	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	稼動	平均	収益（千円）	単価（円）
内　　科	16,847	17,330	17,481	16,977	16,256	16,204	15,601	14,726	14,746	14,771	25	366	40.4	388,475	26,300
外　　科	2,854	2,929	3,316	2,048	2,563	2,236	1,748	2,578	2,800	3,819	1,019	366	10.4	119,907	31,397
整 形 外 科	7,859	5,904	4,411	7,655	6,464	6,895	7,060	7,293	6,772	6,523	△ 249	366	17.8	219,245	33,611
眼　　科	1,533	1,842	1,706	1,566	1,467	1,291	1,236	1,089	1,036	1,009	△ 27	366	2.8	40,926	40,561
小　児　科	79	52	13	15	12	5	23	3	19	0	△ 19	366	0.0	0	0
計	29,172	28,057	26,927	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	749	366	71.4	768,553	29,422
平均患者数	79.9	76.7	73.8	77.4	73.3	72.8	70.3	70.4	69.5	71.4	平成18年8月以前（一般病床101床・療養病床16床）				
稼　働　率	76.1	77.4	74.5	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	72.1	平成18年8月以後（一般病床99床）				

（内訳）　（単位：人・%）

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町（小計）	日南町	新庄村	新見市	その他（県内）	その他（県外）	構成町以外（小計）	合計
実患者数*	298	156	54	508	97	4	22	14	9	146	654
割合（%）	45.6	23.9	8.3	77.7	14.8	0.6	3.4	2.1	1.4	22.3	100.0
（H26実患者数）	295	193	45	533	123	5	25	11	10	174	707





材 料 費・経 費・委 託 費 比 較 表

（材料費）　　（単位：円）

項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　　考
材料費支払額	113,107,831	89,540,906	95,918,540	76,435,837	86,308,220	73,179,304	78,846,418	5,667,114	高額診療材料使用量の増
医薬品	154,875,490	136,892,072	133,721,710	140,162,749	150,355,182	145,178,958	158,611,129	13,432,171	購入量の増による
その他	2,664,011	1,767,120	2,566,067	1,970,739	3,197,513	2,761,716	2,637,966	△ 123,750	医療消耗備品 2，427，775円・給食材料費 210，191円
支払金額	270,647,332	228,200,098	232,206,317	218,569,325	239,860,915	221,119,978	240,095,513	18,975,535	

（経費）　　（単位：円）

項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　　考
厚生福利費	577,000	670,366	744,578	790,200	790,400	810,200	978,600	168,400	人間ドック負担金の増 インフルエンザ予防接種の増
交際費	902,722	811,446	927,299	861,357	992,351	972,721	925,894	△ 46,827	
旅費交通費	311,155	389,880	325,388	280,979	499,629	218,394	182,806	△ 35,588	
職員被服費	4,494,572	5,173,872	5,025,339	4,990,706	4,250,847	3,939,846	4,811,075	871,229	看護師白衣、リハビリ白衣等の増
消耗品費	7,388,088	7,092,064	7,387,402	8,113,263	6,701,959	6,208,080	6,859,300	651,220	
消耗備品費	1,368,114	789,292	911,770	1,712,987	3,853,741	1,020,549	985,015	△ 35,534	H25年度は院内カーテン更新
光熱水費	32,207,924	35,847,290	40,775,295	42,348,156	43,604,226	43,516,710	38,198,635	△ 5,318,075	電気料金の減・灯油単価の減・上下水道使用量の減
燃料費	1,083,043	1,320,510	1,287,172	1,456,189	1,830,876	1,845,388	1,526,209	△ 319,179	燃料単価の減
食糧費	14,272	13,101	14,229	7,607	8,400	6,376	7,669	1,293	
印刷製本費	2,030,031	1,812,009	1,347,466	993,876	1,044,013	879,066	910,656	31,590	人間ドックパンフレット作成による増（73,440円）
修繕費	12,034,217	9,451,337	8,864,999	10,552,487	7,673,246	8,189,876	10,403,384	2,213,508	院長住宅修繕等の増（1,023,786円）
保険料	2,086,495	2,101,396	2,647,171	2,657,751	2,732,345	2,644,795	2,706,995	62,200	
賃借料	7,655,923	5,955,473	8,723,975	12,045,553	13,079,493	13,337,839	16,937,867	3,600,028	人工呼吸器レンタルの増
通信運搬費	2,384,293	2,375,904	2,250,760	2,433,211	2,902,407	2,979,794	2,959,204	△ 20,590	
諸会費	960,058	940,610	933,890	829,010	850,250	833,340	914,830	81,490	
貸倒引当金繰入額						762,000	0	△ 762,000	
雑費	1,218,693	2,374,996	1,218,373	1,106,727	1,783,891	1,342,136	1,617,730	275,594	
支払金額	76,716,600	77,119,546	83,385,106	91,180,059	92,598,074	89,507,110	90,925,869	1,418,759	

（委託費）

（単位：円）

項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　　考
検査委託費（支払実績）	7,698,426	7,504,215	6,714,305	8,607,126	8,491,663	9,181,942	9,940,725	758,783	検査件数の増
寝具単価	3,819,722	3,653,176	3,696,285	3,605,784	3,604,713	3,675,025	3,749,599	74,574	使用数の増
病衣単価	1,083,298	1,076,869	1,066,571	990,118	1,057,921	1,226,070	1,148,040	△ 78,030	使用数の減
給食（委託費）	32,760,000	32,760,000	32,760,000	32,760,000	32,760,000	33,696,000	33,696,000	0	
給食（材料費）	13,597,788	13,271,972	13,899,443	13,568,305	13,583,626	14,623,103	13,930,785	△ 692,318	食事提供数の減
全自動分析装置	399,000	399,000	399,000	399,000	399,000	0	1,188,000	1,188,000	機器更新による増（H26年度は保守料発生なし）約400，000円 定期交換部品代金　約300，000円の増（H25までは材料費から支出）
MR保守料	7,350,000	7,350,000	6,833,400	6,833,400	2,847,250	3,418,200	8,203,680	4,785,480	月額683，640円（H26年度は11月分から発生）
CT・DRテレビ保守料	4,603,200	4,603,200	6,066,900	9,752,400	9,728,775	9,849,600	10,422,000	572,400	X線イメージ・移動型X線撮影装置の保守の増
富士FCRシステム保守	1,050,000	1,050,000	707,280	810,180	810,180	1,261,170	1,867,676	606,506	パネル追懐による保守料の増（H26年度は9月から発生）
消防用設備点検	414,750	414,750	414,750	414,750	414,750	426,600	426,600	0	
空気調和設備保守	2,520,000	2,520,000	2,520,000	2,520,000	2,520,000	2,592,000	2,592,000	0	
透析浸透水処理定期点検他	1,850,310	2,100,000	473,760	2,731,470	170,573	2,720,736	701,288	△ 2,019,448	メンテナンス時の交換部品の減
日立人工透析排水維持管理	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	432,000	432,000	0	
高圧蒸気滅菌装置性能検査	231,000	231,000	238,000	249,900	0	0	0	0	H25年度～修繕費に科目変更
三菱昇降機保守	1,965,600	1,965,600	1,965,600	1,965,600	1,965,600	2,021,760	2,021,760	0	
自動ドア保守	808,500	808,500	808,500	808,500	808,500	810,000	810,000	0	
カーテン保守	472,500	472,500	472,500	426,300	397,946	8,640	401,112	392,472	H26カーテン更新による増
電気保安協会業務	659,683	659,683	677,670	677,670	677,670	697,031	697,031	0	
清掃、洗濯委託料	12,549,600	12,549,600	12,549,600	12,549,600	12,549,600	12,694,320	12,694,320	0	

特別清掃	1,835,400	1,835,400	1,959,300	1,709,400	1,614,900	1,695,600	1,733,400	37,800	
医療廃棄物処理	3,461,325	3,351,600	3,211,950	3,382,050	2,969,400	3,015,360	3,533,220	517,860	排出量の増
医療ガス設備保守	945,420	1,000,020	963,900	958,440	939,960	939,600	967,680	28,080	ボンベ検査の増
玄関マット	200,844	200,844	200,844	200,844	200,844	206,472	205,932	△ 540	
コピーセキサンカウンター料金	891,252	797,012	795,211	764,429	690,034	701,175	481,823	△ 219,352	使用量の減
コピー機リース料	512,820	512,820	0	0	0	0	0	0	支出科目の変更による減（賃借料へ）
生ゴミ処理機保守	226,800	33,600	42,000	100,800	100,800	103,680	103,680	0	
除雪	300,000	421,590	456,890	550,000	550,000	550,000	550,000	0	
特殊建築物定期調査	0	189,000	0	2,184,000	0	216,000	0	△ 216,000	法定点検（2年に1度実施） H24年度は10年ごとの外壁全面調査の実施
ｱｸｱﾋﾟｭｰﾘｽｸﾗﾌﾞﾕﾆｯﾄ定期点検	74,140	84,210	0	0	0	0	0	0	
ケイズ情報システム他保守	3,511,966	3,495,219	3,307,689	2,990,295	2,683,380	4,197,570	4,390,035	192,465	電子カルテ導入に伴う増
人工呼吸器定期点検	0		1,472,100	1,472,100	1,472,100	730,080	0	△ 730,080	臨床工学士による点検による減
病院警備委託料	0	0	0	0	1,713,600	6,053,688	6,053,688	0	H25年12月から実施
遠隔画像診断支援業務	1,402,500	1,795,750	5,070,447	5,233,722	5,378,622	5,892,750	6,225,930	333,180	読影依頼件数の増
その他	1,724,102	1,183,874	3,297,766	3,456,997	5,188,926	5,045,905	5,345,916	300,011	血球測定装器点検量の増、マイナンバー管理システムの増
支払金額	109,339,946	108,711,004	115,214,411	123,093,180	116,710,333	128,682,077	134,513,920	5,831,843	

人 件 費 比 較 表

（単位：千円）

項目		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備考
給料	医師	41,698	38,329	38,252	38,593	38,800	207	
	看護師	143,233	149,061	140,728	150,303	166,220	15,917	看護師の増による
	准看護師	39,760	37,284	32,610	25,162	25,476	314	
	医療技術員	67,131	70,467	69,312	69,200	70,404	1,204	
	事務員	34,961	35,708	37,735	42,516	43,697	1,181	
	労務員	12,006	12,227	12,439	12,711	12,844	133	
	小計	338,789	343,076	331,076	338,485	357,441	18,956	
賃金	嘱託医師	9,180	9,180	9,180	8,901	8,901	0	
	非常勤医師	76,715	101,371	116,298	108,054	111,221	3,167	外来診察等応援医師の増
	看護師	5,073	2,665	8,130	6,404	9,023	2,619	看護師の増による
	准看護師	18,448	16,142	17,968	23,113	22,572	△ 541	
	医療技術員	0	2,420	3,070	5,269	4,194	△ 1,075	
	事務員	28,649	29,061	25,368	18,514	18,568	54	
	労務員	19,228	19,607	21,406	20,868	19,397	△ 1,471	
	小計	157,293	180,446	201,420	191,123	193,876	2,753	
手当	扶養手当	6,938	6,860	6,952	6,819	5,949	△ 870	
	地域手当	7,131	6,390	6,394	6,512	6,916	404	
	管理職手当	6,024	4,823	4,834	4,844	7,090	2,246	
	住居手当	3,136	3,630	3,259	4,269	4,980	711	
	通勤手当	9,387	9,378	8,777	9,432	10,993	1,561	
	初任給調整手当	25,234	22,344	21,761	21,218	21,248	30	
	医療業務手当	7,230	6,360	6,360	6,360	6,900	540	
	放射線取扱手当	252	252	252	252	252	0	
	時間外勤務手当	12,594	14,162	16,992	15,820	11,783	△ 4,037	
	日当直手当	6,262	6,199	5,056	4,636	4,608	△ 28	
	管理職特別手当	2,338	2,029	2,229	2,290	2,560	270	
	夜間看護手当	10,499	10,098	9,316	9,751	9,899	148	
	夜間勤務手当	3,594	3,507	3,282	3,478	3,471	△ 7	
	在宅待機手当	179	184	209	292	293	1	
	児童（子供）手当	3,633	3,065	3,070	3,170	2,950	△ 220	
	期末手当	78,288	79,842	76,996	53,821	57,141	3,320	給料の増による
	勤勉手当	39,658	40,429	38,973	30,902	34,561	3,659	人事院勧告による増（10/100月）
	賞与引当金繰入額	0	0	0	51,010	52,375	1,365	あやめ分（2，266千円）の増
	小計	222,377	219,552	214,712	234,876	243,969	9,093	
法定福利費	共済負担金	90,824	91,653	94,788	93,642	100,469	6,827	共済負担金率の増による
	基礎年金拠出金	4,182	4,567	0	0	0	0	
	共済追加費用	22,221	19,621	17,150	16,023	13,193	△ 2,830	
	社会保険料	7,699	7,959	8,747	9,188	9,139	△ 49	
	公務災害負担金	761	817	727	635	779	144	
	労災保険料	1,479	1,265	1,708	1,808	1,706	△ 102	
	小計	127,166	125,882	123,120	121,296	125,286	3,990	
計		845,625	868,956	870,328	885,780	920,572	34,792	

人 件 費 比 較 表（職 員 数）

年間延人数

（単位：人）

項目		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　考
正職員	医師	90	84	84	84	84	0	
	看護師	493	523	504	506	575	69	
	准看護師	144	123	108	84	84	0	
	医療技術員	287	288	290	294	288	△ 6	
	事務員	132	132	138	156	156	0	
	労務員	48	48	48	48	48	0	
小計		1,194	1,198	1,172	1,172	1,235	63	
嘱託職員	医師	12	12	12	12	12	0	
	非常勤医師	418	452	532	465	536	71	
	看護師	28	24	44	36	48	12	
	准看護師	90	87	96	119	115	△ 4	
	医療技術員	0	10	12	18	12	△ 6	
	事務員	180	170	146	120	120	0	
	労務員	113	112	122	131	112	△ 19	
小計		841	867	964	901	955	54	
計		2,035	2,065	2,136	2,073	2,190	117	

1月あたり人数

（単位：人）

項目		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引	備　考
正職員	医師	7.5	7.0	7.0	7.0	7.0	0.0	
	看護師	41.1	43.6	42.0	42.2	47.9	5.8	
	准看護師	12.0	10.3	9.0	7.0	7.0	0.0	
	医療技術員	23.9	24.0	24.2	24.5	24.0	△ 0.5	
	事務員	11.0	11.0	11.5	13.0	13.0	0.0	
	労務員	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	0.0	
小計		99.5	99.8	97.7	97.7	102.9	5.3	
嘱託職員	医師	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	
	非常勤医師	34.8	37.7	44.3	38.8	44.7	5.9	
	看護師	2.3	2.0	3.7	3.0	4.0	1.0	
	准看護師	7.5	7.3	8.0	9.9	9.6	△ 0.3	
	医療技術員	0.0	0.8	1.0	1.5	1.0	△ 0.5	
	事務員	15.0	14.2	12.2	10.0	10.0	0.0	
	労務員	9.4	9.3	10.2	10.9	9.3	△ 1.6	
小計		70.1	72.3	80.3	75.1	79.6	4.5	
計		169.6	172.1	178.0	172.8	182.5	9.8	

施設・設備等整備状況

施設・設備等整備状況

施設

工事内容	契約金額	契約年月日	契約先
院内電話設備及びナースコール設備更新工事	8,424,000 円 （内消費税 624,000円）	平成27年6月25日	日海通信工業（株）
病室（個室）壁面腰壁シート貼り工事	2,700,000 円 （内消費税 200,000円）	平成27年12月14日	（株）備中屋本店
旧院長住宅屋根等取替工事	1,023,786 円 （内消費税 75,836円）	平成28年3月1日	（有）遠藤工務店

設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
黒坂診療所医療事務システム	1,058,400 円 （内消費税 78,400円）	平成27年4月13日	（株）ケイズ
オージオメータ	1,231,200 円 （内消費税 91,200円）	平成27年5月25日	小西医療器（株）
除細動器	432,000 円 （内消費税 32,000円）	平成27年5月25日	村中医療器（株）
セントラルモニタ　一式	3,456,000 円 （内消費税 256,000円）	平成27年5月25日	村中医療器（株）
ベッドサイドモニタ　一式	1,890,000 円 （内消費税 140,000円）	平成27年5月25日	村中医療器（株）
ビデオ喉頭鏡　2台	567,000 円 （内消費税 42,000円）	平成27年5月25日	村中医療器（株）
リクライニング車椅子	146,000 円 （内消費税 0円）	平成27年5月25日	村中医療器（株）
電子カルテ予備クライアント　2台	1,425,600 円 （内消費税 105,600円）	平成27年6月22日	株式会社ケイズ
ブラストチラー	2,030,400 円 （内消費税 150,400円）	平成27年7月21日	有限会社エフエスエーシステムズ
温冷配膳車	2,106,000 円 （内消費税 156,000円）	平成27年7月21日	有限会社エフエスエーシステムズ
CPM	734,400 円 （内消費税 54,400円）	平成27年8月31日	村中医療器（株）
超音波白内障手術装置　一式	9,288,000 円 （内消費税 688,000円）	平成27年12月15日	小西医療器（株）
心電図データマネージメントシステム	6,804,000 円 （内消費税 504,000円）	平成28年1月8日	村中医療器（株）
マット付プラットフォーム	243,000 円 （内消費税 18,000円）	平成28年1月22日	村中医療器（株）
医事会計システム　一式	18,900,000 円 （内消費税 1,400,000円）	平成28年1月26日	株式会社ケイズ
自動再来受付機　一式	3,412,800 円 （内消費税 252,800円）	平成28年2月2日	株式会社ケイズ
IHコンロ　2台	594,000 円 （内消費税 44,000円）	平成28年2月8日	有限会社エフエスエーシステムズ

委員会活動状況

日野病院委員会（ワーキング） 構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
	管理者会議	
		幹事会
1	病院運営会議	
		人事委員会
		倫理委員会
2	管理職会議	
		病院機能評価受審委員会
3	情報システム管理委員会	
		電子カルテ検討委員会
		医療連携ネットワーク委員会
4	診療局会議	
5	医療技術局運営会議	
		リハビリ運営委員会
		放射線室運営委員会
		検査室運営委員会
		薬剤管理室運営委員会
		臨床工学室運営委員会
6	病院業務検討委員会	
		病院機能検討委員会
		医師負担軽減対策委員会
		医療機器購入検討委員会
7	看護業務検討委員会	
		外来業務委員会
		病棟運営委員会
		手術室運営委員会
		透析室運営委員会
8	地域連携推進委員会	
9	輸血委員会	
10	物流委員会	
		薬事審議委員会
		SPD委員会
		委託業者連絡委員会
11	経営企画委員会	
		保険診療委員会
		クリニカルパス委員会
		褥瘡・NST委員会
		がん研究及び対策委員会
		生活習慣病対策委員会
		ドック検診委員会
		栄養管理委員会
12	医療安全管理委員会	
		医薬品安全管理委員会
		医療機器安全管理委員会
		医療ガス安全管理委員会
		診療記録開示検討委員会
13	院内感染対策委員会	
		ICT委員会
14	労働安全衛生委員会	
15	診療記録管理委員会	
16	サービス推進委員会	
17	接遇向上委員会	
18	教育・研修委員会	
		図書委員会
		BLS委員会
19	災害対策委員会	
20	個人情報保護対策委員会	

1. 病院運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第111回	H27.4.24	7名	平成27年度各委員会及びワーキングの委員編成について 平成26年度部門別目標の評価及び平成27年度部門別目標の提出について 平成26年度年報作成に係る委員会活動報告・学会発表・業績等の入力について 各種マニュアルの見直し及び変更手続きについて 地域連携連絡会の開催について 看護の日イベントに実施について 施設基準の変更について マニュアルの作成・変更について 5月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　平成26年度決算（中締め）について 鵜の池マラソンの対応について（6/14）
第112回	H27.5.22	6名	平成26年度病院事業等の決算概況について 平成26年度決算分析における各種統計数値の確認について 外来診察の変更予定について 鳥取大学「臨床実習2」等について 施設基準の変更について 6月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　日野病院～野田橋間の街灯設置について 日野病院の夜間表示の修繕について 施設基準と医療監視の検査について 訪問看護ステーションの記録の保管について 日野病院パンフレットの更新について 日野病院組合議員の選出について（日野町） あやめ移管協議について
第113回	H27.6.19	6名	日野病院組合議会臨時会の開催について（6/29） 透析の体制について 日野町地方創生戦略会議について 外来診察の変更について（7月～） 施設基準の変更について 7月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　あやめ移管の協議状況について 病室（個室）の壁紙修理について 日野病院の夜間表示の修繕について 肺炎球菌ワクチン接種費用について
第114回	H27.7.24	6名	日野病院組合議会定例会の開催について（8/28） 職員の募集について（薬剤師・看護師・放射線技師） 業務改善提案箱の設置及び業務改善提案書について 日野町病後児保育について 総合診療内科診察室カメラ設置について 施設基準の変更について 8月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　鳥取県への要望事項について マニュアルの変更について 変更（透析室災害時緊急離脱方法） 新規（透析室災害時フローシート） 日野病院納涼祭の開催について（7/24） 西部病院協会定例会の開催について（7/25）
第115回	H27.8.21	6名	日野病院組合議会定例会の開催について（8/28）

			基本理念・基本方針の見直しについて 職員説明会の開催について（9/17・18） 外来診察医師の変更について（9月～） 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 9月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　医療法に基づく立入検査について（医療監視） 厚生局適時調査について 電話交換機の切替作業について
第116回	H27.9.25	6名	日野病院災害対策訓練の実施について インフルエンザ予防接種について 在宅患者訪問栄養指導について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 10月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　小児科の診療体制について 透析業務の拡大について 外来診察医師の変更について（10月～） 厚生局適時調査について
第117回	H27.10.23	6名	日野病院組合議会定例会の開催について（11/30） 日野病院組合人事評価の実施について 平成26年度年報について 職員のインフルエンザ予防接種実施及び罹患時の対応について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 11月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　平成27年度病床機能報告について 厚生局適時調査について（10/29） 病時・病後児保育の実施について 医療事故調査委員会の設置について 在宅介護支援事業所の勤務体制について
第118回	H27.11.20	6名	平成28年度当初予算要求について 日野病院職員表彰の推薦について 日野病院組合議会定例会の開催について（11/30） 厚生局適時調査の結果について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 12月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　外来待合日本庭園作成に伴う感謝状の贈呈について 日野病院互助会忘年会の開催について 日野病院クリスマスイベントの開催について
第119回	H27.12.18	6名	奨学生の募集について 日野病院職員表彰の推薦について 地方交付税（負担金）の確定について 仕事納め式及び仕事始め式（辞令交付）の開催について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 患者さまの声について その他　厚生局適時調査の結果について（通知） 日野病院互助会忘年会の開催について 日野町の小中学校と保育所嘱託医について

			読影のオーダー方法について 2016診療報酬改定の動向について 平成28年度購入医療機器の予定について 看護局の異動について 患者風呂について
第120回	H28.1.22	7名	日野病院組合議会定例会について（2/22予定） 平成27年度決算見込み及び平成28年度当初予算の状況について 平成28年度医療機器の購入予定について（当初及び補正対応） 平成28年度医師異動について（自治医科大学卒業医師等） 医師及び外来診察の変更について（4月～） 地域連携推進室設置に伴う変更について 日野町（保育所嘱託医・学校医）及び病後児保育について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 2月1日辞令交付について 患者さまの声について その他　予約以外の受付時間について 鳥取県病院協会西部支部事務長会研修会の開催について 職員の休暇制度について
第121回	H28.2.19	6名	日野病院組合議会定例会の開催について（2/22） 日野病院職員表彰について 外来担当医師及び外来診察体制の変更について（4月～） 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 3月31日（退職辞令交付）及び4月1日付人事異動について 患者さまの声について その他　鳥取大学地域医療総合教育研修センター活動報告会の開催について 夜間の救急患者の対応について 全国自治体病院協議会雑誌（3月号）の表紙について
第122回	H28.3.25	7名	3月31日（退職）及び4月1日付け辞令交付について 新入職員オリエンテーションの実施について 外来診察及び医師の変更について（4月～） 平成28年度各委員会及びワーキングに編成について 平成27年度部門別目標の評価及び平成28年度部門別目標の提出について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 患者さまの声について その他　職員互助会歓迎会の開催について 洗濯業務の委託について

２. 管理職会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.4.30	12名	(1)　３月末経営概況及び各種統計について (2)　３月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について (4)　５月１日付け辞令交付について (5)　平成26年度年報作成に係る委員会活動報告及び業績の入力について (6)　平成27年度各委員会及びワーキングの編成について (7)　平成26年度部門別目標の評価及び平成27年度部門別目標の提出について (8)　施設基準の変更について (9)　マニュアルの作成・変更について (10)　患者さまの声について (11)　看護の日イベントについて (12)　平成26年度決算見込みについて
第2回	H27.5.27	13名	(1)　４月末経営概況及び各種統計について (2)　４月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について (4)　６月１日付け辞令交付について (5)　平成27年度全国自治体病院協議会表彰について (6)　鳥取大学「臨床実習2」他各種実習の受入予定について (7)　平成26年度病院事業等の決算概要について (8)　平成26年度決算分析における各種統計数値の確認について (9)　患者さまの声について (10)　救急救命士の救急救命活動に関する連絡会の開催について (11)　葬儀の際の代表焼香についての提案について
第3回	H27.6.24	11名	(1)　５月末経営概況及び各種統計について (2)　５月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について (4)　７月１日付け辞令交付について (5)　今後の実習生の受入予定について (6)　平成26年度病院事業等の決算概要について (7)　外来診療体制の変更について (8)　患者さまの声について (9)　職員の夏季休暇について (10)　業務改善提案箱の設置について (11)　竹内先生（耳鼻科）教授就任の報告
第4回	H27.7.29	12名	(1)　６月末経営概況及び各種統計について (2)　６月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について (4)　８月１日付け辞令交付について (5)　今後の実習生の受入予定について (6)　職員の募集について（薬剤師、看護師、診療放射線技師） (7)　日野病院組合議会定例会の開催について（8/28） (8)　業務改善提案箱の設置及び業務改善提案書について (9)　患者さまの声について (10)　マニュアルの新規・変更について (11)　博愛病院連絡協議会報告
第5回	H27.8.26	11名	(1)　７月末経営概況及び各種統計について (2)　７月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について (4)　９月１日付け辞令交付について (5)　今後の実習生の受入予定について

			(6) 日野病院組合議会定例会の開催について(8/28) (7) 基本理念・基本方針等の見直しについて (8) 職員説明会の開催について(9/17・18) (9) 業務改善提案書について (10) 外来診察の変更について(9月～) (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの変更について (13) 患者様の声について (14) 電話設備工事について (15) 鳥取大学地域医療学、看護学生の実習について
第6回	H27.9.30	13名	(1) ８月末経営概況及び各種統計について (2) ８月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) １０月１日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 外来診察の変更について(10月～) (7) インフルエンザ予防接種について (8) 患者様の声について (9) 厚生局適時調査について (10) 職員食堂の利用について
第7回	H27.10.28	11名	(1) ９月末経営概況及び各種統計について (2) ９月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) １１月１日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成26年度年報について (7) 日野病院人事評価の実施について (8) 職員のインフルエンザ予防接種及び罹患時の対応について (9) 患者様の声について (10) 厚生局適時調査について (11) 在宅介護支援事業所フレックスタイム導入について
第8回	H27.11.25	13名	(1) １０月末経営概況及び各種統計について (2) １０月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) １２月１日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成28年度当初予算要求について (7) 日野病院組合定例会の開催について (8) 厚生局適時調査の結果について (9) 患者様の声について (10) 日野病院互助会忘年会の開催について (11) 日野病院クリスマスイベントの開催について (12) 職員駐車場の利用について (13) 山陰労災病院連絡協議会報告
第9回	H27.12.27	13名	(1) １１月末経営概況及び各種統計について (2) １１月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 1月１日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 仕事納め・仕事始め式について (7) 看護師育成奨学生募集について (8) 地方交付税(負担金)の確定について (9) 厚生局適時調査の結果について (10) 患者様の声について (11) 平成２８年度１０万円以上の機器予算要求状況について

第10回	H28.1.27	12名	(1) 12月末経営概況及び各種統計について (2) 12月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 2月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会の開催について (7) 平成27年度決算見込み及び平成28年度当初予算の状況について (8) 平成28年度医療機器の購入予定について (9) 業務改善提案書について (10) 患者様の声について (11) 診療報酬改定説明会ついて (12) 鳥取大学連携協議会出席報告
第11回	H28.2.24	12名	(1) 1月末経営概況及び各種統計について (2) 1月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月1日付け及び4月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院職員表彰について (7) 日野病院組合議会定例会の結果について (8) 患者様の声について (9) ジェネリック医薬品の使用について (10) 医事システム更新に係る電子カルテ等の休止のお知らせ
	H28.3.30	13名	(1) 2月末経営概況及び各種統計について (2) 2月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月31日及び4月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 新規採用職員のオリエンテーションの実施について (7) 外来診療体制の変更について (8) 平成27年度部門別目標の評価及び平成28年度部門別目標の提出について (9) マニュアルの新規・変更について (10) 患者様の声について (11) 日野病院組合互助会歓迎会の開催について

(1)病院機能評価受審委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.4.10	13名	期中の確認(認定3年目の書類確認)について
第2回	H27.5.21	13名	期中の確認(認定3年目の書類確認)について

活動報告

・期中の確認(認定3年目の書類確認)の実施(H27.5.26WEB上で報告)

３. 情報システム管理委員会

（1）電子カルテ検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	27.5.14	15名	・Ｑ＆Ａ管理台帳確認 ・サーバ再起動について ・無線バーコードリーダ検討 ・代行入力について ・その他
第2回	27.8.13	12名	・Ｑ＆Ａ管理台帳より ・予備機購入について ・看護必要度について
第3回	27.11.12	14名	・サーバ再起動について ・Ｑ＆Ａ管理台帳より ・厚生局適時調査について ・その他
第4回	28.2.18	14名	・Ｑ＆Ａ管理台帳より ・医事コン入れ替えに伴う影響について

4. 診療局会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.5.26	8名	化学療法を行う場合は事前に薬局に連絡すること 輸血を施行した患者は3か月後に感染症をチェック 透析室へ緊急カートを設置（病棟と救急外来と同一の規格で） カンファレンスに関する件
第2回	H27.6.23	9名	学生の実習先での取扱い（針刺しなどの初期対応、連絡先など） 医療安全レポートより（インスリン→白湯→栄養の順について） 医師当直日誌開始について（7月から） 喉頭鏡カメラの購入 入院患者減少についての報告（6月） カンファレンスに関する件
第3回	H27.7.28	9名	ドクターコールについて(大学に合わせスタットコールに変更、適応基準、集合職種不問） VSRADの新しいバージョンについて 透析の針について（新しいタイプの針は使いづらくしばらくは現状維持で） イソジンに変わり、1%クロルヘキシジンの使用について 訪問診察時の撮影が必要な場合の問題点について 血液培養などが清潔手袋なされていない点についての確認
第4回	H27.8.25	10名	内視鏡検査・エコー検査の実施入力について 看護必要度10対1の要件について 入院時カンファレンスについて
第5回	H27.9.29	8名	インフルエンザ予防接種について 在宅患者訪問栄養食事指導について ファルコバイオシステムズの検査実施部署変更の報告 感染研修会のおしらせ パックバルブマスク(ディスポタイプ）の機能説明と購入について 血液培養採血時の消毒方法についての確立 10月研修医についての連絡
第6回	H27.10.27	8名	病後児保育について 学校医と園医について 11月研修医についての連絡
第7回	H27.11.24	9名	濃厚流動食の切り替えについて(Cz-hiからNa補強食への変更） オーバーした食材費の負担について 過剰査定について サマリ作成度合の指摘について（厚生局立入検査にて） 介護保険主治医意見書について
第8回	H27.12.22	8名	病後児保育について日野町役場からの協力要請 頭本小児科医師退職後の学校医について 大学病院泌尿器科より(診療日数を週1回→週2回にしたいとの申し出あり） 臨床検査に係る基準値について 診療ガイドについて（内科） 他科からのリハビリ装具作成依頼について（整形外科）
第9回	H28.1.26	8名	レセプト査定について 施設医師からの患者画像依頼についてのその必要性

			診療ガイドについて（内科）の資料原案 白湯注入に関しての指示について
第10回	H28.2.24	10名	電子カルテの停止について（2/27・3/12） 医薬品比較（27.4月～27.12月／入院時） 第2回鳥取県抗菌薬耐性サーベイランス事業の今後のあり方検討会 転落転倒発生時のフロー図周知について(看護局） ３月研修医についての連絡
第11回	H28.4.19	15名	28.4月から栄養指導対象患者枠拡大、診療点数の変更について（栄養管理室） コンパクトドレーンユニットについての説明(住友ベークライト㈱） 心電図データマネジメントシステムについての説明(フクダ電子） 眼科術前検査について 時間予約制について(院長宛に患者からの要望の手紙あり） 各施設一覧表、地域連携連絡会を7月に開催、在院日数を今後毎月当会議にて報告

5. 医療技術局運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.4.30	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、平成26年度各WGのまとめ
第2回	H27.5.28	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、平成26年度部門別各種統計調査
第3回	H27.6.25	7名	各部署からの報告・管理職会議の報告、平成26年度決算概要について
第4回	H27.7.30	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、スタットコールについて
第5回	H27.8.27	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、職員説明会の開催について
第6回	H27.10.1	4名	各部署からの報告・管理職会議の報告、災害対策訓練、厚生局医療監視
第7回	H27.10.30	6名	各部署からの報告・管理職会議の報告、インフルエンザ予防接種について
第8回	H27.11.25	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、28年度予算要求について
第9回	H27.12.24	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告,地方交付税・白衣の更新について
第10回	H28.1.28	4名	各部署からの報告・管理職会議の報告、高額医療機器の購入について
第11回	H28.2.25	5名	各部署からの報告・管理職会議の報告、職員表彰、外来診療体制の変更 ジェネリック医薬品の使用について
第12回	H28.3.29	4名	各部署からの報告・管理職会議の報告、委員会及びワーキングの編成 人事移動について

活動報告

・医療技術局内の予算要求について各部門から意見を聞き対応し充実を図った

(1)検査室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.6.19	7名	・委員会要綱、委員会開催月について ・平成26年度検査件数、収支の推移の報告、検討 ・平成27年度部門目標について
第2回	H27.8.27	7名	・メーカー精度管理調査(協和メデックス)結果報告 ・臨床検査室収支報告 ・医療監視指摘事項の検討
第3回	H27.11.26	7名	・メーカー精度管理調査(協和メデックス)結果報告 ・臨床検査室収支報告 ・厚生局適宜調査指摘事項の検討 ・新規採用検査項目について ・基準範囲変更について
第4回	H28.2.25	9名	・日本医師会精度管理調査報告 ・検査試薬変更について ・生理検査システム導入について

活動報告

・新規採用検査項目の検討
・外部精度管理調査参加
・技師会主催研修会参加
・JCCIs基準範囲普及についての説明、検討

６．病院業務検討委員会

（1）医療機器購入検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H28.1.8	14名	平成28年度に購入する医療機器（10万円以上）について、購入希望部署からの聞き取りを実施。後日、委員の評価を基に購入器機を決定。

7. 看護業務検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.4.14	9名	・平成27年度　看護局運営方針　:スローガン「価値ある看護の1%の挑戦」 看護局各委員会活動について 平成27年度　目標管理について ・各委員会からの報告 教育研修委員会:履修報告会まとめ・フィジカルアセスメント研修会報告・新人教育活動報告 就職ガイダンス報告・新人２年目成果報告会・「看護の日」イベント企画 看護記録委員会:看護必要度研修会報告・質的、形式的監査報告 セイフティーナース会:対策案の検討について ・病院業務委員会報告:外来業務委員会報告・手術室業務委員会報告・透析室業務委員会報告 ・米子北高看護実習について ・看護業務規程の見直しについて
第2回	H27.5.26	10名	・職場体験実習・看護実習について ・西部自治体病院看護部門懇談会について ・「看護の日」イベント開催報告:5/17　於:奥大山道の駅　参加者　約100名 ・各委員会からの報告 ・病院業務委員会からの報告 ・各部署活動計画報告
第3回	H27.6.16	9名	・各委員会からの報告 ・病院業務委員会からの報告 ・会計報告
第4回	H27.7.14	11名	・8/1付け　看護師採用について ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告
第5回	H27.8.11	11名	・8/16　看護フェアinひの(山村開発センター)参加について ・8/17　サマーセミナーについて(２名参加) ・9/10　T－Hocひのセミナー開催について ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告
第6回	H27.9.8	８名	・中間評価・スタッフ面談について ・6/30西部自治体病院看護部門懇談会 ・9/1　職員採用試験について ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告
第7回	H27.10.20	7名	・10/13・14・15鳥取大学保健学科オータムセミナーについて ・11/28　第8回　鳥取県実践が活きる看護診断研究会について ・10/29　厚生局適時調査について ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告
第8回	H27.11.10	10名	・10/29　ファーストレベル合格発表１名 ・11/10～12「平成27年度都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練実施」 ・11/16～12/4米子看護実習　北高１年生　４名 ・看護協会理事会報告

			・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告
第9回	H27.12.8	10名	・人事関連について ・鳥取県協会から報告事項 ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告
第10回	H28.1.12	９名	・平成28年度　米子北高実習計画（案）について ・平成27年度　成果報告会について ・平成27年度　就職ガイダンスについて（3/19） ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告
第11回	H28.2.9	11名	・3/24ひまわり号出発式について ・2/6鳥取県看護協会研究学会発表：長住早紀 ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告
第12回	H28.5.15	12名	・3/8T-HOC終了式：朝野純子・生田悠 ・ユニフォーム提出時のポケットチェック強化 ・3/23診療報酬改定説明会 ・平成２８年度ファーストレベル受講生：三好妙子 ・平成２７年度　看護局長賞：妹尾小百合・平石美紀 ・平成２８年度「看護研究継続サポート」：朝野純子・松本友恵 ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告

活動報告

平成27年度　看護局運営方針　：スローガン「価値ある看護の1%の挑戦」
・「看護の日」イベント：5/17（於：江府町道の駅）
・看護局教育・研修プログラムの企画運営
・鳥大研修会参加
（感染対策コース・褥創ケアコース・下肢救済コース・救急・災害コース・がん看護・緩和ケアコース）
・西部自治体病院看護部門懇談会（6月・9月・1月）
・鳥取県実践が活きる看護診断研究会（11/28）示説 1題発表・シンポジューム１演題発表
・全国自治体病院学会：於・北海道　小樽（10/8・9）示説1題発表（看護助手）
・第12回鳥取県西部自治体病院看護研究発表会（12/12）口演2題発表：於・西伯病院
・看護体験実習（日野中2名：6/17～6/19）（日野高1名：6/9～6/12）
・看護専攻科臨地実習（米子北高３年生2名：6/22～7/17）
・看護専攻科臨地実習（米子北高看護専攻科１年生：4名（7/21～8/7・11/16～12/4）
・サマーセミナー：2名参加
・T-HOCひのセミナー：9/9・10
・オータムセミナー（鳥取大学保健学科14名：10/13～10/15）
・医療監視（7/22）厚生局適時調査（10/29）
・就職フェアinひの（8/17）就職ガイダンス（3/19）
・鳥取県看護研究学会：鳥取県看護協会（2/6）口演１題発表
・ファーストレベル1名合格
・平成２７年度看護局成果報告会（3/15）
・平成２６年度看護局履修報告会（3/17）

（1）外来業務委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.5.26	6名	各部署からの意見・報告 ドック・健診の運営、順番再確認 休日・訪問看護依頼分の注射・点滴の実施方法の再確認（コンピューター上）
第2回	H27.8.25	5名	各部署からの意見・報告 待ち時間対策検討
第3回	H27.11.24	7名	各部署からの意見・報告 インフルエンザ予防接種の患者・カルテの流れ確認
第4回	H28.2.23	6名	各部署からの意見・報告 当日MRIオーダーの出し方再確認

活動報告

・待ち時間対策としてインフォメーション画面４台のうち、１台をテレビ画面のままとした
・大腸カメラ検査で使用する患者様用スリッパをディスポ化に変更検討中

（2）病棟運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.6.9	11名	1．入院時カンファレンス開催方法について 2.「スクリーニングシート」・「退院支援・退院調整フロー図」の取り扱いについて 3．各部署からの協議事項
第2回	H27.8.20	9名	1．各部署からの意見・協議事項 2.「スクリーニングシート」・「退院支援・退院調整フロー図」使用・運用方法 3．看護必要度に関する看護記録について 4その他：人工呼吸器管理表について
第3回	H27.12.3	8名	1．各部署からの意見・協議事項 2．鳥取県西部圏域における入退院調整ルール（案）について 3．入院時カンファレンスについて 4．施設入所の他科受診について協議

活動報告

・「入院時カンファレンス」の定例化（主治医・病棟、外来看護師）
・「退院支援・退院調整フロー図」、「スクリーニングシート」の活用
・医師への看護必要度に関する記録の協力依頼

（3）手術室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.5.21	7名	手術室使用状況報告 術前カンファレンスについて 学会研修会参加予定について
第2回	手術の為中止	資料配布	手術室使用状況報告 術前カンファレンスについて報告

第3回	H27.7.16	6名	手術室使用状況報告 作業環境測定結果報告 無停電電源装置購入について
第4回	H27.8.20	6名	手術室使用状況報告 手術台の点検及び調整について 乾燥槽修理について 手術申し送り書について 看護学生の実習について
第5回	手術の為中止	資料配布	手術室使用状況報告 高圧蒸気滅菌器点検について 生体モニター点検について 一次洗浄器械提出方法について
第6回	H27.10.16	6名	手術室使用状況報告 高圧蒸気滅菌器点検及び性能検査結果報告 生体モニター、麻酔記録装置点検報告
第7回	H27.11.19	4名	手術室使用状況報告 作業環境測定、環境モニタリング実施予定について
第8回	H28.1.21	5名	手術室使用状況報告 作業環境測定結果報告 バックシーラ―修理について
第9回	H28.3.17	5名	手術室使用状況報告 環境モニタリング結果報告

活動報告

・日本手術看護学会鳥取分会（2回/年）参加
・日本手術看護学会中国地区（米子）参加

（4）透析室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.5.22	8名	透析室の現況、今年度の看護局目標、救急カートの薬品、災害対策、
第2回	H27.8.25	3名	透析室の現況、HD患者カンファレンスについて
第3回	H27.10.27	5名	透析室の現況、看護助手配置、入院時のHD記録の扱い、HD室内の患者スクリーンの必要性、患者増に対するスタッフの増員
第4回	H28.2.20	4名	穿刺針の採用について

活動報告

＊救急カート内の薬品の選択と配置
＊災害対策における患者パンフレット作成
＊HD患者カンファレンスの開始
＊看護助手の配置・・・OP室助手のこれない時のリリーフ
＊入院HD者のHD記録コピーは不要
＊HD患者増時のスタッフ増員について
＊穿刺針採用・・・15G

（5）看護助手会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第１回	H27.6.8	5名	・平成27年度　リーダー：2F（福田郁子）3F（絹谷宏子） ・寝具交換について ・今年度のリネン類棚卸予定：6月・2月
第2回	H27.10.5	6名	・寝具交換の実施について ・リネン類棚卸について ・全国自治体病院学会発表者：平石美紀
第３回	H28.2.8	9名	・寝具・リネン類関係での困りごとについて ・透析室リリーフ業務について ・次年度の委員会について

活動報告

・寝具交換　（6月：1W目　C⇒A　4W目　A⇒B　　10月：B⇒C　）
・病衣・寝具類棚卸実施　（6/26　2月）
・全国自治体病院学会発表：10／８・9（平石美紀）

８. 地域連携推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	H27.5.27	12名	本年度の取り組みについて
第2回	H27.6.24	9名	地域連携推進室ホームページの作成に向けて 入院時カンファレンスの開催に向けて
第3回	H27.7.8	10名	入院時カンファレンスの詳細（開催日・内容）について
第4回	H27.7.29	11名	入院時カンファレンスの詳細（開催日・内容）について
第5回	H27.8.20	5名	入院時カンファレンスの詳細（開催日・内容）について 医療・介護情報の連携体制構築事業
第6回	H27.9.24	7名	入院時カンファレンス内容の見直し 医療関係者による退院支援協議
第7回	H27.12.24	6名	入院時カンファレンス内容の見直し
第8回	H27.4.24	4名	入院時カンファレンス内容の見直し リハビリカンファレンスへの外来Nsの参加

活動報告

・平成27年5月7日　「地域連携連絡会」（日野町・江府町・伯耆町の診療所、福祉施設、行政の参加）
当院の紹介（地域包括ケア病床、訪問看護ステーション）
・平成27年5月28日　「日本医療社会事業大会」 山口浩一
・平成27年6月12日　「日本医療マネジメント学会」 学会発表：山口浩一
・平成27年8月3日　「DV研修」 山口浩一
・平成27年8月26日　「西部地区地域連携室会議」鳥大病院　山口浩一
・平成27年12月17日「DV研修」 山口浩一
・平成28年1月30日　「山陰文化圏医療情報技術研究会」講演　山口浩一
・隔月開催　「見える事例検討会」への参加：妹尾小百合、野津瑞穂、山本直子、山口浩一

９. 輸血委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.5.18	9名	・血液製剤使用状況（H27年度） ・平成27年度部門目標 ・輸血後感染症検査実施マニュアル作成
第2回	H27.7.27	9名	・血液製剤使用状況（H27年4月、5月、6月） ・輸血検査研修会、鳥取県合同輸血委員会参加報告 ・血液製剤廃棄理由書見直し
第3回	H27.10.26	9名	・血液製剤使用状況（H27年7月、8月、9月） ・日赤からの輸血情報報告 ・輸血伝票記載必要項目について確認
第4回	H27.12.21	6名	・血液製剤使用状況（H27年10月、11月） ・日赤からの輸血情報報告 ・自己血貯血の保存有効期間について見直し
第5回	H28.2.29	8名	・血液製剤使用状況（H27年12月、H28年1月） ・自己血貯血の保存期間マニュアル改訂について
第6回	H28.4.25	7名	・血液製剤使用状況（H28年2月、3月） ・交差試験用患者血液使用期限について ・平成27年部門目標の反省、平成28年度部門目標について

活動報告

・血液製剤適正使用（廃棄）について検討
・輸血合同会議、研修会参加
・輸血後感染症検査マニュアル作成
・血液製剤廃棄理由書改訂

10. 物流委員会

(1)SPD委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.5.11	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 1件(紙おむつ) 新規材料採用報告 1件(手洗いブラシ) 診療材料切替検討 1件(プラ手袋)
第2回	H27.6.8	7名	診療材料使用状況報告 新規材料採用報告 1件(ビデオ喉頭鏡消耗品) 診療材料切替検討 2件(プラ手袋、吸引カテーテル)
第3回	H27.7.13	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 1件(プラ手袋) 新規材料採用報告 5件(メディマットライト、軽量サクションチューブ等) 金額変更 2件(アンダーマット、エンドビブボタン)
第4回	H27.8.10	7名	診療材料使用状況報告 新規材料採用報告 3件(内視鏡ループネット、気管支内チューブ等) 診療材料切替検討 1件(アイコットン)
第5回	H27.9.7	5名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 2件(プラ手袋、シリンジ) 新規材料採用報告 1件(フィルトライザー) 金額変更 1件(ハイドロサイトジェントル銀)
第6回	H27.10.19	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 2件(手術用手袋、眼科手術器機消耗品)
第7回	H27.11.16	6名	診療材料使用状況報告 新規材料採用報告 5件(透析濃縮器、セイラムサンチューブ等) 診療材料切替検討 1件(エアウォール)
第8回	H28.1.18	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 1件(介護シート) 新規材料採用報告 9件(手術器材、眼科手術器材等) 診療材料切替検討 2件(病棟ディスポタオル、眼科ガーゼ)
第9回	H28.2.8	6名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 1件(クロスコットンガーゼ) 診療材料切替検討 3件(歯ブラシ、ガーゼ等) 金額変更 3件(ディスポ膿盆、外科用ドレープ等)
第10回	H28.3.28	7名	診療材料使用状況報告 定数変更報告 3件(フェザー鼓膜切開刀替刃、シルキーポア5号等) 新規材料採用報告 2件(ワイヤーバスケット鉗子、アキュフューザー用ポーチ) 診療材料切替検討 2件(マイジェクター、クリーンチェック) 金額変更 2件(アクセスシステムZスレッド、縫合糸)
第11回	H28.4.11	6名	診療材料使用状況報告 新規材料採用報告 2件(ダイアライザー、クランピング付カニューラ)

（2）委託業者連絡委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.5.12	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	H27.6.9	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	H27.7.14	9名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	H27.8.11	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第5回	H27.9.8	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	H27.10.13	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	H27.11.10	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	H27.12.8	8名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第9回	H28.1.12	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第10回	H28.2.9	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第11回	H28.3.8	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第12回	H28.4.12	7名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

１１．経営企画委員会

（1）褥瘡NST委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H28.5.20	11名	5月14日褥瘡回診2階1人3階2人 今年度の活動日時決定、活動について検討
第2回	H28.6.17	10名	5月28日褥瘡回診2階1人3階2人、NST回診3階1人 6月3日NSTミーティング3階3人、糖尿病パスについて検討 6月11日褥瘡回診2階1人3階2人 NST2階1人、3階3人 糖尿病パスについて検討
第3回	H28.7.15	9名	6月25日褥瘡回診2階1人、3階2人 7月1日NSTミーティング3階2人 環日本海NSTフォーラム参加報告 7月9日褥瘡回診2階1人3階1人 NST2人 糖尿病パスについて検討
第4回	H28.8.19	9名	7月23日褥瘡回診2階1人3階1人 8月5日NSTミーティング3階1人 糖尿病パスについて検討 8月13日褥瘡回診2階1人3階1人
第5回	H28 .9.16	7名	8月27日褥瘡回診なし 9月２日NSTミーティング1人 9月10日褥瘡回診3階2人 セミナー学術集会案内
第6回	H28 .10.21	8名	9月24日褥瘡回診なし 10月7日NSTミーティング 10月14日褥瘡回診2階1人3階1人 バーシバ製造中止に伴い、代替品についてSPDに依頼 NST依頼3階3人
第7回	H28. 11.18	9名	10月21日褥瘡回診2階1人3階1人（医学生参加） 10月28日褥瘡回診2階1人3階1人(医学生参加） 11月4日NSTミーティング3階4人 11月12日褥瘡回診2階1人 NST3階1人
第8回	H28.12.16	9名	11月26日褥瘡回診2階1人3階2人 12月2日NSTミーティング3階2人 12月10日褥瘡回診2階1人3階2人 SGA研修会11月20日実施
第9回	H28.1.20	8名	12月24日褥瘡回診2階1人3階2人 １月6日NSTミーティング：入院時ALB３．０以下患者情報共有 3月10日褥瘡回診2階1人3階1人 タイカの褥瘡マット、クッションのデモしました。 NSTミーテイング3階1人
第10回	H28. ２.	9名	１月28日褥瘡回診2階1人3階1人 ２月３日NSTミーティング3階2人

第11回	H28.3.16	6名	2月25日褥瘡回診 3月2日NSTミーティング依頼患者なし 日本静脈経腸栄養学会参加報告 3月10日褥瘡回診2階1人、3階2人 自動体位変換付ｴｱｰﾏｯﾄ(ｵｽｶｰ)デモ中
第12回	H28.4.20	7名	3月24日褥瘡回診 4月6日NSTミーティング依頼患者なし 4月14日褥瘡回診　3階2人

糖尿病教育入院パスの作成
日本静脈経腸栄養学会(2月25日、26日於:福岡)演題発表:仲石管理栄養師、参加:山本薬剤師、近藤看護師
山陰臨床栄養研究会参加:白岩管理栄養師、三好看護師、近藤看護師
褥瘡学会中国四国支部会(2月27, 28日於:岡山)参加:看護師野坂、野津、妹尾尚、野村、平石
褥瘡院内勉強会:イキイキとした伝わる褥瘡表現を学ぶ！4回シリーズで実施
特養チロルへ褥瘡研修依頼あり実施した。3回シリーズ、講師:看護師野坂、安達
日本褥瘡学会(8月28, 29日)野坂看護師発表、遠藤看護師参加
環日本海NSTフォーラム(6月20日)参加管理栄養師:仲石、白岩

(2)栄養管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.6.3	13名	・平成27年度栄養管理委員会の構成メンバー確認 ・栄養管理委員会要綱確認 ・牛乳のストローについて ・夏場のお茶について ・第17回日野郡栄養士地域連携会議報告 ・患者さんからの退院時の声 ・嚥下機能低下患者への食事提供、介助方法について ・フロン法施行による厨房機器点検について ・メフォス職員異動について
第2回	H27.9.2	10名	・医療監視給食部門延期について ・夏場のお茶について ・今夏の食中毒警報報告 ・患者さんからの退院時の声 ・朝食の粥の量について ・訪問栄養指導について ・嗜好調査報告 ・メフォス職員異動について
第3回	H27.12.3	12名	・医療監視報告 ・採用濃厚流動食品の変更について ・第18回日野郡栄養士地域連携会議報告 ・寒天化栄養の注入方法について ・患者さんからの退院時の声

第4回	H28.3.2	9名	・ヨーグルトスプーンについて ・濃厚流動食オーダー及び注入時間について ・平成28年度診療報酬改定について ・食事オーダー締め切り時間について ・患者さんからの退院時の声

活動報告

・院内栄養士会議を毎週開催し、入院患者の食事内容・残食量等を検討。
・新入院患者全員の栄養スクリーニングを行い、多職種で栄養状態を検討。
・日本病態栄養学会、日本静脈経腸栄養学会、栄養士会主催研修会、各種栄養関連研修会等への参加。
・演題発表：「職域を越えた栄養士連携による栄養管理の重要性と効果」於日本静脈経腸栄養学会（H28.2.26）
・第17回、第18回日野郡栄養士地域連携会議を開催
　第17回：出席者…4施設9名（場所：日野病院外来待合棟）
　　内容…とろみ茶・とろみ水の試飲、とろみ剤の統一化について、各施設好評献立の紹介、情報交換他。
　第18回：出席者…5施設9名（場所：日野町野田）
　　内容…人事異動報告、各施設好評献立の紹介、濃厚流動食PRONAについて、情報交換他。

（3）がん研究及び対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.5.25	10名	平成27年度の取り組みについて
第2回	H27.6.22	11名	がん患者統計について 担当　　地域連携推進室　山口浩一
第3回	H27.7.27	12名	講演　「がん患者の呼吸苦」 担当　　内科医師　岡田健作
第4回	H27.9.7	7名	講演　「緩和リハの実践」 担当　　訪問看護ステーション　田中武志
第5回	H27.10.5	7名	講演　「抗がん剤（新薬）」 担当　　薬剤管理室　山本直子
第6回	H27.10.26	6名	講演　「がん患者をサポートする医療と介護保険制度」 担当　　地域連携推進室　山口浩一
第7回	H27.12.14	8名	講演　「予後日数の状況下でのかかわり」 担当　　訪問看護ステーション　濱田辰美
第8回	H27.1.25	7名	症例発表 担当　　2階病棟
第9回	H27.2.29	8名	症例発表 担当　　3階病棟

活動報告

・平成27年8月8日～9日：「がん治療学会」研究発表　山本　直子

12. 医療安全管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H27.5.20	8名	・4月ヒヤリハットレポート集計結果報告　・事例共有2件 ・H26年度ヒヤリハット集計結果報告　・H26年度ヒヤリハット事例に対する改善策及び対策等のまとめ報告　・H26年度委員会目標達成度について ・H27年度委員会目標案について　・各ワーキングからの報告 ・今年度の医療安全必須研修会について
第2回	H27.6.17	8名	・5月ヒヤリハットレポート集計結果報告　・事例共有6件 ・各ワーキングからの報告　・今年度の医療安全必須研修会担当者について ・7月必須研修会内容について「放射線の基礎知識と放射線機器の安全管理」 ・委員会のあり方について再確認
第3回	H27.7.15	8名	・5月報告事例に対する改善策等について　・6月ヒヤリハットレポート集計結果 ・事例共有2件　・7月必須研修会振り返り用紙集計結果 ・山陰リスクマネジメント研究会参加者　・各ワーキングからの報告 ・転倒予防対策として「履きなれた靴を持参する事のパンフレット」を入院時渡す事を決定
第4回	H27.8.19	9名	・7月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有1件 ・バルンカテーテルの固定液確認について検討 ・11月必須研修会内容について「医療事故調査制度を踏まえた事例分析の基礎」 ・インシデント、アクシデント発生時報告の流れ（案）について ・受け持ち患者以外の手術見学時同意書について
第5回	H27.9.16	4名	・8月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有1件　・8月医療監視の報告 ・第12回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会出席者8人 ・11月必須研修会内容について（医療事故調査制度）
第6回	H27.10.21	11名	・9月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有1件　・環境ラウンド結果報告 ・10月必須研修会について（医療ガス）　・各ワーキングからの報告 ・10月から「医療事故調査制度」が制度化されるにあたり当院での今後の対応について
第7回	H27.11.18	5名	・10月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有1件と対策について ・「医療ガス取り扱い講習」研修会振り返り用紙集計結果 ・「医療事故調査制度の概要とその対応」研修会振り返り用紙集計結果 ・厚生局適時調査の医療安全に関する指摘事項について ・各ワーキングからの報告
第8回	H27.12.16	7名	・11月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有1件と対策 ・厚生局適時調査の医療安全に関する指摘事項について ・マニュアル差し替えの報告　・次回研修会について
第9回	H28.1.20	7名	・12月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有3件と対策 ・第2回環境ラウンドについて　・各ワーキングからの報告
第10回	H28.2.17	7名	・1月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有1件 ・H26年度当院のインシデント報告の概要と影響レベルについて ・第2回環境ラウンド実施報告　・2月必須研修会（2日間）振り返り用紙集計報告 ・「転倒転落発生時の対応フロー図」作成の報告 ・医療機器管理委員会からの報告
第11回	H28.3.16	7名	・2月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有1件 ・食事オーダー（コメント欄）入力について　・「転倒転落発生時の対応フロー図」について　・医療機器管理委員会から輸液ポンプのデモ機について
第12回	H28.4.20	7名	・3月ヒヤリハットレポート集計結果　・事例共有2件と対策

活動報告

・定例会開催（1回／月）
・環境ラウンド（2回／年）
・啓蒙ポスターの発行（2回／年）
・医療安全に関する必須研修会開催（4回／年）と振り返り用紙集計報告
・院外研修会参加（2回／年）
・ヒヤリハットレポート入力促進と定例会での報告・改善策の検討
・医療安全マニュアル整備

13. 院内感染対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.5.13	10名	感染状況・サーベイランス・平成26年度反省・平成27年度目標・研修会案内・院内ラウンドなど
第2回	H27.6.10	11名	感染状況・MERS・研修会報告・アンチバイオグラムなど
第3回	H27.7.8	11名	感染状況・MERS対応・針刺し事例・院内感染対策重要菌検出時の対応など
第4回	H27.8.12	10名	感染状況・抗菌薬使用量・サーベイランス・ウイルス抗体価・医療監視など
第5回	H27.9.9	9名	感染状況・合同カンファレンス報告・針刺し事例・医療監視など
第6回	H27.10.14	8名	感染状況・サーベイランス・研修会報告・院内ラウンド・川本産業対応など
第7回	H27.11.11	9名	感染状況・抗菌薬使用量・サーベイランス・院内研修会報告・厚生局適時調査・院内ラウンド・予算など
第8回	H27.12.9	8名	感染状況・抗菌薬使用量・サーベイランス・CD抗原・研修会報告・院内ラウンドなど
第9回	H28.1.13	10名	感染状況・サーベイランス・インフルエンザ・白兎ネット公開相談事例・院内ラウンドなど
第10回	H28.2.10	11名	感染状況・インフルエンザ・ジカウイルス・抗菌薬サーベイランス・院内ラウンドなど
第11回	H28.3.9	12名	感染状況・インフルエンザ・針刺し事例・研修会報告・院内ラウンドなど
第12回	H28.4.6	10名	感染状況・サーベイランス・インフルエンザ・針刺し事例・院内ラウンドなど

活動報告

・合同カンファレンス参加（6/1・8/31・10/5・3/7）
・西部圏域感染制御地域支援ネットワーク研修会参加（10/7・2/16）
・山陰インフェクションコントロールセミナー　参加（6/6・11/21）
・感染制御総合カンファレンス　参加（5/30）
・日本環境感染学会　参加（2/19・20）
・鳥大医学部附属病院研修会　参加（11/27）
・マニュアル整備・周知

（1）ICT委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.6.2	6名	要綱・院内ラウンド・研修会予定・リンクナースよりなど
第2回	H27.6.26	10名	針刺し事例検討・MERS・リンクナースよりなど
第3回	H27.9.4	4名	医療監視・合同カンファレンス・針刺し事例・抗菌薬サーベイランス・リンクナースよりなど

活動報告

・院内ラウンド　46回
・感染情報レポート
・院内研修会
　4/1新人研修　講師：長尾
　9/30・10/2　院内研修会（標準予防策）　講師：長尾　参加者96名
　12/2・8　院内研修会（インフルエンザ）　講師：宇田川　参加者93名

14. 労働安全衛生委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.5.28	7名	・今年度の取り組みについて ・院内パトロールの実施
第2回	H27.6.22	9名	・職員健診問診票見直しについて ・管理者・所属所内産業保健スタッフ研修会について
第3回	H27.7.27	9名	・職員健診問診票見直しについて ・電離放射線健康診断（病院機能評価機構指摘事項）について ・健康診断要再検査職員について
第4回	H27.8.24	6名	・パワーハラスメントについて ・ディンクル事業について ・有給休暇取得率について ・心理相談員について
第5回	H27.9.28	6名	・ストレスチェック制度の構築について ・ディンクル事業について
第6回	H27.10.26	7名	・ストレスチェック制度の構築について ・インフルエンザ予防接種について
第7回	H27.11.30	7名	・ストレスチェック制度の構築について ・27年度特定業務従事者健診受診結果について
第8回	H27.12.21	7名	・ストレスチェック制度の構築について
第9回	H28.1.25	8名	・時間外労働・休日労働に関する協定届について ・ストレスチェック制度の構築について
第10回	H28.2.26	7名	・院内パトロールの実施
第11回	H28.3.25	6名	・平成２８年度職員健康診断について
第12回	H28.4.22	6名	・平成２７年度事業の反省

16. サービス推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.5.14	14名	委員会の開催方法について 平成26年度目標及び各事業（ｲﾍﾞﾝﾄ関係・広報関係・地域貢献関係）の担当者について 看護の日イベントについて
第2回	H27.6.4	11名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について（5/14、15開催） 地域貢献関係について（5/19開催）
第3回	H27.7.9	15名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について（6/4、7/1開催） 地域貢献関係について（6/18開催）
第4回	H27.8.6	12名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について 地域貢献関係について（7/17開催）
第5回	H27.9.3	13名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について（8/6開催） 地域貢献関係について（8/20開催）
第6回	H27.10.1	14名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について（9/3開催） 地域貢献関係について（9/8開催）
第7回	H27.11.6	7名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について（10/1、28開催） 地域貢献関係について（10/15開催）
第8回	H27.12.3	10名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について 地域貢献関係について（11/16開催）
第9回	H28.1.7	6名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について 地域貢献関係について（12/10開催）
第10回	H28.2.4	12名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について（1/7開催） 地域貢献関係について（1/18開催）
第11回	H28.3.3	6名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について 地域貢献関係について（2/18開催）
第12回	H28.4.7	10名	前回議事録確認 協議・報告　ホームページ・広報関係について イベント関係について 地域貢献関係について（3/14開催） その他　活動報告まとめ依頼

活動報告

【ホームページ・広報関係】

随時：ホームページ更新

5月：せせらぎ53号発行
　　日野町広報5月号（職場体験のご案内について）
6月：日野町広報6月号（地域医療学講座医学生の成果発表会について）
7月：日野町広報7月号（納涼祭のご案内について）
8月：日野町広報8月号（全国自治体病院協議会事務長表彰受賞について）
9月：せせらぎ54号発行
　　日野町広報9月号（よくある電話問い合わせについて）
10月：日野町広報10月号（インフルエンザ予防接種について）
11月：日野町広報11月号（クリスマスイベントのご案内）
12月：日野町広報12月号（年末年始の休診と日本庭園作庭のお礼について）
1月：せせらぎ55号発行
　　日野町広報1月号（看護師育成奨学金について）
2月：日野町広報2月号（インフルエンザ・ノロウィルスについて）
3月：せせらぎ臨時号発行
　　日野町広報3月号（4月からの外来について）
4月：日野町広報4月号（看護の日イベントのお知らせ）

【地域貢献関係】

6月：	看護の宅配便	6月18日
7月：	看護の宅配便	7月21日
8月：	看護の宅配便	8月17日
9月：	看護の宅配便	9月8日
10月：	看護の宅配便	10月15日
11月：	看護の宅配便	11月16日
12月：	看護の宅配便	12月10日
1月：	看護の宅配便	1月18日
2月：	看護の宅配便	2月18日
3月：	看護の宅配便	3月14日
4月：	看護の宅配便	4月14日

【イベント関係】

納涼会	7月24日	演芸・展示・ゲームなど
クリスマス会	12月11日	トーンチャイム・パネルシアターなど
看護の日イベント	5月12日	「1日看護局長」委託式・健康相談・手洗いチェッカーなど

飾りつけ
　七夕の飾り
　クリスマス
　お正月
　ひな飾り
　鯉のぼり

17. 接遇向上委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者	内容
第1回	H27.5.26	6名	平成27年度部門別目標(委員会)の話し合いと年間計画の立案 6月に行う自由参加型の接遇研修会についての打ち合わせ 委員会開催予定の変更(第4火曜日→第1火曜日)
第2回	H27.7.7	4名	患者アンケートについて(外来・2階病棟・3階病棟) 事例検討について
第3回	H27.9.1	6名	患者アンケートの実施(9/1～9/18)、集計(9/30まで) 11月開催の研修テーマ
第4回	H27.10.6	4名	11月開催の研修テーマ案について
第5回	H27.12.1	6名	9月実施済みの患者さん・職員アンケートの集計結果について 11月実施済みの全職員対象接遇研修会について 次年度の研修について
第6回	H28.1.5	5名	患者さん・職員対象のアンケート実施について(2/1～2/15)
第7回	H28.2.2	4名	患者さん・職員対象のアンケート実施について(2/1～2/15)と集計について
第8回	H28.3.1	3名	患者さん・職員対象のアンケート実施について(前期・後期)の振り返り

活動報告

接遇研修会
アンケート(年2回)
セルフチェック(年2回)

18. 教育研修委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.5.14	16名	教育研修委員会要綱・目標の策定 年間スケジュール（案）策定
第2回	H27.6.11	16名	年間スケジュール（確定）策定、人権学習研修会打ち合わせ
第3回	H27.7.16	14名	スケジュール修正、医療安全研修会打ち合わせ
第4回	H27.8.6	11名	BLS講習会開催の案内
第5回	H27.9.10	14名	BLS講習会開催の案内、感染対策研修会打ち合わせ
第6回	H27.10.8	13名	医療安全対策研修会打ち合わせ
第7回	H27.11.12	13名	医療安全研修会、接遇研修会の打ち合わせ
第8回	H27.12.10	12名	感染対策研修会打ち合わせ、BLS研修会開催案内
第9回	H28.1.14	11名	医療安全研修会打ち合わせ
第10回	H28.3.10	13名	BLS講習会開催の案内

平成27年度 院内研修会実施状況

開催年月日	研修会名	講師等	参加人数
H27.4.1	平成27年度新規採用職員オリエンテーション ①組織について ②公務員の心得について ③接遇について ④感染対策について ⑤医療安全対策について ⑥服務・勤務条件について	事務局長　生田 哲二 総務課長　頭本 保人 看護師　朝野 純子 主任臨床検査技師　長尾 孝夫 看護師長　竹永 真由美 総務課係長　河本 亮介	8名
H27.6.18	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	8名
H27.6.23 6.24 6.25	人権学習研修会	DVD研修	103名
H27.7.2	医療安全研修会 （医療機器）	株式会社日立メディコ 堀本　早紀　上野　完	75名
H27.8.19	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	10名
H27.9.16	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	9名
H27.9.17 9.18	平成27年度職員説明会 ①決算状況について ②基本理念等について ③個人情報取扱規程について 他	事務局長 生田 哲二 総務課長 頭本 保人 医事課長 川上 靖 総務課　河本　亮介 総務課　矢田貝　亮一	106名
H27.9.30 10.2	院内感染研修会 （標準予防策＋経路別予防策）	日野病院　検査室室長 長尾　孝夫	96名
H27.10.15	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	10名
H27.10.23	医療安全研修会 （医療ガス）	山陰酸素工業株式会社 昌司　定幸	59名
H27.11.4	医療安全研修会 （医療事故調査制度）	損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント（株）永吉　旭土	67名
H28.11.18 11.19	接遇研修会	株式会社セイエル顧客支援室 課長　清原康典	94名
H28.12.2 12.8	感染防止研修会	日野病院　看護師 宇田川　佳子	93名
H28.12.17	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	6名
H28.2.3 2.4	医療安全研修会 「医療事故と医薬品」	田辺三菱株式会社 大江和人	84名
H28.3.25	BLS講習会	江府消防署員 病院BLSチームスタッフ	6名

１９. 災害対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H27.5.28	9名	・平成２７年度目標について ・災害時の透析の応援体制について
第2回	H27.6.25	9名	・ドクターコールについて ・災害時の透析の応援体制について
第3回	H27.7.23	8名	・ドクターコールの変更点、確認事項について ・災害対策訓練について
第4回	H27.10.27	8名	・職員向け研修会について
第5回	H27.11.26	6名	・平成２８年度予算要求について ・職員向け研修会について
第6回	H28.2.25	9名	・研修内容について
第7回	H28.4.28	5名	・平成２７年度反省について

2、統　計

患者統計

Ⅰ. 外来患者数統計

1.地域別統計

（人）

区　　分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数（人）	4,735	2,087	845	1,033	261	131	168	5	62	143
構成比(%)	100.0	44.1	17.8	21.8	5.5	2.8	3.5	0.1	1.3	3.0

2.年齢階層別統計

（人）

区　分	総数	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
男	2,074	2	48	47	91	63	70	102	146	223	166	237	185	179	253	169	93
女	2,661	4	49	62	93	55	73	115	128	220	186	261	207	321	368	301	218
計	4,735	6	97	109	184	118	143	217	274	443	352	498	392	500	621	470	311
構成比(%)	100.0	0.1	2.0	2.3	3.9	2.5	3.0	4.6	5.8	9.4	7.4	10.5	8.3	10.6	13.1	9.9	6.6

※　実患者数（同一人が何度通院・入院しても1人）による

Ⅱ. 入院患者数統計

1.地域別統計

（人）

区　　分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数（人）	654	298	97	156	54	14	22	4	4	5
構成比(%)	100.0	45.6	14.8	23.9	8.3	2.1	3.4	0.6	0.6	0.8

※　実患者数（同一人が何度通院・入院しても1人）による

2.診療科別・年齢階層別・入退院暦数

（人）

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	725	100.0	80.6	—	2	1	2	—	7	21	26	63	62	83	149	161	148
	男	328	45.2	78.0	—	2	—	2	—	5	12	10	42	38	35	69	71	42
	女	397	54.8	82.8	—	—	1	—	—	2	9	16	21	24	48	80	90	106
構成比（%）	計	100.0			—	0.3	0.1	0.3	—	1.0	2.9	3.6	8.7	8.6	11.4	20.6	22.2	20.4
	男	100.0			—	0.6	—	0.6	—	1.5	3.7	3.0	12.8	11.6	10.7	21.0	21.6	12.8
	女	100.0			—	—	0.3	—	—	0.5	2.3	4.0	5.3	6.0	12.1	20.2	22.7	26.7
内科	計	384	53.0	82.6	—	—	1	2	—	3	9	9	25	28	34	71	101	101
	男	179	54.6	79.2	—	—	—	2	—	1	6	6	19	19	20	35	46	25
	女	205	51.6	85.6	—	—	1	—	—	2	3	3	6	9	14	36	55	76
外科	計	92	12.7	79.9	—	—	—	—	—	—	4	3	12	7	11	21	18	16
	男	55	16.8	78.3	—	—	—	—	—	—	1	1	11	6	8	13	9	6
	女	37	9.3	82.2	—	—	—	—	—	—	3	2	1	1	3	8	9	10
整形外科	計	180	24.8	78.0	—	2	—	—	—	4	7	11	14	17	26	40	30	29
	男	62	18.9	73.9	—	2	—	—	—	4	5	1	8	9	3	12	8	10
	女	118	29.7	80.1	—	—	—	—	—	—	2	10	6	8	23	28	22	19
眼科	計	69	9.5	77.4	—	—	—	—	—	—	1	3	12	10	12	17	12	2
	男	32	9.8	78.8	—	—	—	—	—	—	—	2	4	4	4	9	8	1
	女	37	9.3	76.2	—	—	—	—	—	—	1	1	8	6	8	8	4	1

3.診療科別・在院期間別・入退院暦数

（人）

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	計	725	100.0	25,703	35.5	161	139	126	78	120	49	37	10	4	1
	男	328	45.2	9,472	28.9	92	71	50	32	50	16	11	5	1	—
	女	397	54.8	16,231	40.9	69	68	76	46	70	33	26	5	3	1
構成比（%）	計	100.0				22.2	19.2	17.4	10.8	16.6	6.8	5.1	1.4	0.6	0.1
	男	100.0				28.0	21.6	15.2	9.8	15.2	4.9	3.4	1.5	0.3	—
	女	100.0				17.4	17.1	19.1	11.6	17.6	8.3	6.5	1.3	0.8	0.3
内科	計	384	53.0	15,185	39.5	114	79	45	40	46	26	20	9	4	1
	男	179	54.6	5,463	30.5	64	41	15	18	19	11	6	4	1	—
	女	205	51.6	9,722	47.4	50	38	30	22	27	15	14	5	3	1
外科	計	92	12.7	2,663	28.9	19	18	17	10	16	7	5	—	—	—
	男	55	16.8	1,208	22.0	16	12	9	7	8	2	1	—	—	—
	女	37	9.3	1,455	39.3	3	6	8	3	8	5	4	—	—	—
整形外科	計	180	24.8	6,828	37.9	26	21	20	26	58	16	12	1	—	—
	男	62	18.9	2,340	37.7	11	8	5	7	23	3	4	1	—	—
	女	118	29.7	4,488	38.0	15	13	15	19	35	13	8	—	—	—
眼科	計	69	9.5	1,027	14.9	2	21	44	2	—	—	—	—	—	—
	男	32	9.8	461	14.4	1	10	21	—	—	—	—	—	—	—
	女	37	9.3	566	15.3	1	11	23	2	—	—	—	—	—	—

4.診療科別・退院月別・入退院暦数

（人）

		総数	構成比(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡	剖検
総数	計	725	100.0	78	52	61	56	55	62	50	52	75	48	57	79	68	—
	男	328	45.2	40	20	29	26	27	29	28	23	31	21	19	35	35	—
	女	397	54.8	38	32	32	30	28	33	22	29	44	27	38	44	33	—
構成比（%）	計	100.0		10.8	7.2	8.4	7.7	7.6	8.6	6.9	7.2	10.3	6.6	7.9	10.9	9.4	—
	男	100.0		12.2	6.1	8.8	7.9	8.2	8.8	8.5	7.0	9.5	6.4	5.8	10.7	10.7	—
	女	100.0		9.6	8.1	8.1	7.6	7.1	8.3	5.5	7.3	11.1	6.8	9.6	11.1	8.3	—
内科	計	384	53.0	39	29	34	24	40	27	30	24	48	25	27	37	59	—
	男	179	54.6	22	13	17	10	18	8	17	13	20	13	10	18	30	—
	女	205	51.6	17	16	17	14	22	19	13	11	28	12	17	19	29	—
外科	計	92	12.7	5	5	8	13	5	16	7	9	4	7	7	6	9	—
	男	55	16.8	3	2	4	8	4	13	7	4	3	2	2	3	5	—
	女	37	9.3	2	3	4	5	1	3	—	5	1	5	5	3	4	—
整形外科	計	180	24.8	24	15	14	13	7	14	8	13	16	13	17	26	—	—
	男	62	18.9	10	3	6	4	3	5	4	3	5	5	4	10	—	—
	女	118	29.7	14	12	8	9	4	9	4	10	11	8	13	16	—	—
眼科	計	69	9.5	10	3	5	6	3	5	5	6	7	3	6	10	—	—
	男	32	9.8	5	2	2	4	2	3	—	3	3	1	3	4	—	—
	女	37	9.3	5	1	3	2	1	2	5	3	4	2	3	6	—	—

疾病統計（入院患者）

日野病院組合 日野病院

疾病大分類別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
総数	計	598	100.0	356	89	84	69
	男	281	47.0	166	53	30	32
	女	317	53.0	190	36	54	37
構成比（%）	計	100.0		59.5	14.9	14.0	11.5
	男	100.0		59.1	18.9	10.7	11.4
	女	100.0		59.9	11.4	17.0	11.7
該当無し	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
Ⅰ 感染症及び寄生虫症	計	13	2.2	12	1	－	－
	男	8	2.8	7	1	－	－
	女	5	1.6	5	－	－	－
Ⅱ 新生物	計	47	7.9	23	23	1	－
	男	27	9.6	12	14	1	－
	女	20	6.3	11	9	－	－
Ⅲ 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	4	0.7	3	1	－	－
	男	2	0.7	1	1	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
Ⅳ 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	22	3.7	21	1	－	－
	男	9	3.2	8	1	－	－
	女	13	4.1	13	－	－	－
Ⅴ 精神及び行動の障害	計	14	2.3	13	1	－	－
	男	8	2.8	7	1	－	－
	女	6	1.9	6	－	－	－
Ⅵ 神経系の疾患	計	10	1.7	10	－	－	－
	男	6	2.1	6	－	－	－
	女	4	1.3	4	－	－	－
Ⅶ 眼及び付属器の疾患	計	69	11.5	－	－	－	69
	男	32	11.4	－	－	－	32
	女	37	11.7	－	－	－	37
Ⅷ 耳及び乳様突起の疾患	計	3	0.5	3	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	3	0.9	3	－	－	－
Ⅸ 循環器系の疾患	計	67	11.2	65	2	－	－
	男	33	11.7	32	1	－	－
	女	34	10.7	33	1	－	－
Ⅹ 呼吸器系の疾患	計	87	14.5	84	3	－	－
	男	52	18.5	49	3	－	－
	女	35	11.0	35	－	－	－
ⅩⅠ 消化器系の疾患	計	72	12.0	40	32	－	－
	男	34	12.1	16	18	－	－
	女	38	12.0	24	14	－	－
ⅩⅡ 皮膚及び皮下組織の疾患	計	5	0.8	2	3	－	－
	男	2	0.7	－	2	－	－
	女	3	0.9	2	1	－	－
ⅩⅢ 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	28	4.7	6	1	21	－
	男	13	4.6	3	－	10	－
	女	15	4.7	3	1	11	－
ⅩⅣ 腎尿路生殖器系の疾患	計	25	4.2	25	－	－	－
	男	3	1.1	3	－	－	－
	女	22	6.9	22	－	－	－
ⅩⅤ 妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	計	－	－	－	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
ⅩⅥ 周産期に発生した病態	計	－	－	－	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
ⅩⅦ 先天奇形、変形及び染色体異常	計	－	－	－	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
ⅩⅧ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	38	6.4	34	3	1	－
	男	16	5.7	12	3	1	－
	女	22	6.9	22	－	－	－
ⅩⅨ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	82	13.7	13	13	56	－
	男	31	11.0	9	6	16	－
	女	51	16.1	4	7	40	－
ⅩⅩ 傷病及び死亡の外因	計	－	－	－	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
ⅩⅩⅠ 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	11	1.8	2	4	5	－
	男	5	1.8	1	2	2	－
	女	6	1.9	1	2	3	－
ⅩⅩⅡ 特殊目的用コード	計	－	－	－	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
総数	計	598	100.0	356	89	84	69
	男	281	47.0	166	53	30	32
	女	317	53.0	190	36	54	37
構成比（%）	計	100.0		59.5	14.9	14.0	11.5
	男	100.0		59.1	18.9	10.7	11.4
	女	100.0		59.9	11.4	17.0	11.7
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	6	1.0	6	－	－	－
	男	3	1.1	3	－	－	－
	女	3	0.9	3	－	－	－
A310 肺非結核性抗酸菌感染症	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
B029 帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
B182 慢性Ｃ型ウイルス肝炎	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
B371 肺カンジダ症	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
B402 肺ブラストミセス症、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	9	1.5	1	8	－	－
	男	9	3.2	1	8	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C187 Ｓ状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
C20 直腸の悪性新生物	計	3	0.5	1	2	－	－
	男	3	1.1	1	2	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	1	1	－	－
C240 肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
C250 膵頭部【膵の悪性新生物】	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C259 膵、部位不明【膵の悪性新生物】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
C341 上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	4	0.7	4	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
C509 乳房、部位不明【乳房の悪性新生物】	計	2	0.3	－	2	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	－	2	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
C539 子宮頸（部）、部位不明【子宮頸（部）の悪性新生物】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
C61 前立腺の悪性新生物	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C64 腎盂を除く腎の悪性新生物	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C679 膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物】	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
C787 肝の続発性悪性新生物	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
C795 骨及び骨髄の続発性悪性新生物	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
C900 多発性骨髄腫	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
D371 胃【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
D374 結腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
D376 肝、胆のう＜嚢＞及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
D377 その他の消化器【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
D480 骨及び関節軟骨【その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
D539 栄養性貧血、詳細不明【その他の栄養性貧血】	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
D619 無形成性貧血、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
D693 特発性血小板減少性紫斑病	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
E11 インスリン非依存性糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
E14 詳細不明の糖尿病	計	6	1.0	6	－	－	－
	男	3	1.1	3	－	－	－
	女	3	0.9	3	－	－	－
E141 ケトアシドーシスを伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
E162 低血糖症、詳細不明	計	4	0.7	3	1	－	－
	男	2	0.7	1	1	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
E86 体液量減少（症）	計	6	1.0	6	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	5	1.6	5	－	－	－
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
E875 高カリウム＜Ｋ＞血症	計	3	0.5	3	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
F03 詳細不明の認知症	計	4	0.7	4	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
F102 依存症候群【アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の障害】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
F130 急性中毒【鎮静薬又は催眠薬使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
F220 妄想性障害	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
F318 その他の双極性感情障害	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
F341 気分変調症	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
F39 詳細不明の気分[感情]障害	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
F410 恐慌性＜パニック＞障害[挿間性発作性不安]	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
F411 全般性不安障害	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
G20 パーキンソン病	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
G408 その他のてんかん	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
G473 睡眠時無呼吸	計	3	0.5	3	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
G522 迷走神経障害	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
G934 脳症＜エンセファロパチ＜シ＞ー＞、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
H110 翼状片	計	2	0.3	－	－	－	2
	男	1	0.4	－	－	－	1
	女	1	0.3	－	－	－	1
H259 老人性白内障、詳細不明	計	66	11.0	－	－	－	66
	男	30	10.7	－	－	－	30
	女	36	11.4	－	－	－	36
H402 原発閉塞隅角緑内障	計	1	0.2	－	－	－	1
	男	1	0.4	－	－	－	1
	女	－	－	－	－	－	－
H810 メニエール病	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
H811 良性発作性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
H814 中枢性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
I10 本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I200 不安定狭心症	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
I209 狭心症、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I269 急性肺性心の記載のない肺塞栓症	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I270 原発性肺高血圧（症）	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I460 蘇生に成功した心停止	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
I469 心停止、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I472 心室（性）頻拍（症）	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I48 心房細動及び粗動	計	3	0.5	3	－	－	－
	男	3	1.1	3	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I495 洞不全症候群	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I500 うっ血性心不全	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I509 心不全、詳細不明	計	32	5.4	31	1	－	－
	男	14	5.0	13	1	－	－
	女	18	5.7	18	－	－	－
I608 その他のくも膜下出血	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
I609 くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I610 (大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	4	0.7	4	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	3	0.9	3	－	－	－
I620 硬膜下出血（急性）（非外傷性）	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I635 脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
I638 その他の脳梗塞	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
I639 脳梗塞、詳細不明	計	8	1.3	7	1	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	7	2.2	6	1	－	－
I691 脳内出血の続発・後遺症	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
I850 出血を伴う食道静脈瘤	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
I951 起立性低血圧（症）	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
I959 低血圧（症）、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
J101 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されたもの	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
J13 肺炎レンサ球菌による肺炎	計	3	0.5	3	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
J159 細菌性肺炎、詳細不明	計	4	0.7	4	－	－	－
	男	4	1.4	4	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
J189 肺炎、詳細不明	計	34	5.7	31	3	－	－
	男	21	7.5	18	3	－	－
	女	13	4.1	13	－	－	－
J208 その他の明示された病原体による急性気管支炎	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.5	3	－	－	－
	男	3	1.1	3	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.7	4	－	－	－
	男	3	1.1	3	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
J459 喘息、詳細不明	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
J46 喘息発作重積状態	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	19	3.2	19	－	－	－
	男	10	3.6	10	－	－	－
	女	9	2.8	9	－	－	－
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	4	0.7	4	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
J849 間質性肺疾患、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
J852 肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
J869 瘻（孔）を伴わない膿胸（症）	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
J961 慢性呼吸不全	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
J984 肺のその他の障害	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
K112 唾液腺炎	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
K254 慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K259 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
K279 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【部位不明の消化性潰瘍】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
K318 胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
K351 腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎	計	2	0.3	－	2	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	2	0.3	－	2	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	－	2	－	－
K409 一側性又は患側不明のそけい＜鼡径＞ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	9	1.5	－	9	－	－
	男	8	2.8	－	8	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
K439 腹壁ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
K449 横隔膜ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K550 腸の急性血行障害	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K566 その他及び詳細不明の腸閉塞	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
K567 イレウス、詳細不明	計	3	0.5	－	3	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	2	0.6	－	2	－	－
K572 穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
K589 下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K590 便秘	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K623 直腸脱	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
K626 肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K635 大腸＜結腸＞のポリープ	計	13	2.2	13	－	－	－
	男	9	3.2	9	－	－	－
	女	4	1.3	4	－	－	－
K650 急性腹膜炎	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	1	1	－	－
K659 腹膜炎、詳細不明	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
K746 その他及び詳細不明の肝硬変	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
K802 胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆のう＜嚢＞結石	計	4	0.7	－	4	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	3	0.9	－	3	－	－
K805 胆管炎又は胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆管結石	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K810 急性胆のう＜嚢＞炎	計	3	0.5	－	3	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	2	0.6	－	2	－	－
K819 胆のう＜嚢＞炎、詳細不明	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K830 胆管炎	計	4	0.7	4	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	3	0.9	3	－	－	－
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K921 メレナ	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
K922 胃腸出血、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
K928 消化器系のその他の明示された疾患	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
L039 蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、詳細不明	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
L500 アレルギー性じんま＜蕁麻＞疹	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
L89 じょく＜褥＞瘡性潰瘍	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	1	1	－	－
M0690 関節リウマチ、詳細不明（慢性関節リウマチ）	計	2	0.3	1	－	1	－
	男	2	0.7	1	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
M1126 その他の軟骨石灰化症（膝関節偽痛風）	計	3	0.5	－	－	3	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	2	0.6	－	－	2	－
M169 股関節症、詳細不明	計	3	0.5	－	－	3	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	2	0.6	－	－	2	－
M179 膝関節症、詳細不明	計	6	1.0	－	－	6	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	5	1.6	－	－	5	－
M2459 関節拘縮（下肢拘縮）	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
M4806 脊柱管狭窄（症）（仙骨狭窄）	計	5	0.8	－	－	5	－
	男	3	1.1	－	－	3	－
	女	2	0.6	－	－	2	－
M5422 頸部痛（頚性頭痛）	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
M5456 下背部痛（下背部ストレイン）	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
M6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの（廃用性筋萎縮）	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
M7712 外側上顆炎（テニス肘）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
M8199 骨粗しょう＜鬆＞症＜オステオポローシス＞、詳細不明（骨粗鬆症）	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
M8699 骨髄炎、詳細不明（細菌性骨髄炎）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
M932 離断性骨軟骨炎	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
N10 急性尿細管間質性腎炎	計	8	1.3	8	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	7	2.2	7	－	－	－
N12 尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
N133 その他及び詳細不明の水腎症	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
N19 詳細不明の腎不全	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
N309 膀胱炎、詳細不明	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
N390 尿路感染症、部位不明	計	11	1.8	11	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	11	3.5	11	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
N739 女性骨盤炎症性疾患、詳細不明	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	1	－	－
N760 急性膣炎	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R000 頻脈、詳細不明【心拍の異常】	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R090 窒息	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
R098 循環器系及び呼吸器系に関するその他の明示された症状及び徴候	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R100 急性腹症	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	2	0.7	1	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
R104 その他及び詳細不明の腹痛	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R11 悪心及び嘔吐	計	6	1.0	6	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	4	1.3	4	－	－	－
R13 えん＜嚥＞下障害	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	2	0.7	2	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
R195 その他の異常便	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R268 歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	2	0.3	1	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R298 神経系及び筋骨格系に関するその他及び詳細不明の症状及び徴候【神経系及び筋骨格系に関するその他の症状及び徴候】	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
R400 傾眠	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R402 昏睡、詳細不明	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
R42 めまい＜眩暈＞感及びよろめき感	計	3	0.5	3	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	3	0.9	3	－	－	－
R509 発熱、詳細不明	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	2	－	－	－
R51 頭痛	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R54 老衰	計	3	0.5	3	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	3	0.9	3	－	－	－
R568 その他及び詳細不明のけいれん＜痙攣＞	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
R599 リンパ節腫大、詳細不明	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
R600 限局性浮腫	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
R688 その他の明示された全身症状及び徴候	計	2	0.3	2	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	1	0.3	1	－	－	－
R91 肺の画像診断における異常所見	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
R99 その他の診断名不明確及び原因不明の死亡	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
S011 眼瞼及び眼球周囲部の開放創	計	3	0.5	－	1	2	－
	男	2	0.7	－	1	1	－
	女	1	0.3	－	－	1	－
S018 頭部のその他の部位の開放創	計	1	0.2	－	1	－	－
	男	1	0.4	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
S062 びまん性脳損傷	計	1	0.2	1	－	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－
S065 外傷性硬膜下出血	計	3	0.5	1	2	－	－
	男	1	0.4	1	－	－	－
	女	2	0.6	－	2	－	－
S141 頸髄のその他及び詳細不明の損傷	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	－	1	－
S2200 胸椎骨折（胸椎椎体骨折）	計	6	1.0	－	1	5	－
	男	2	0.7	－	－	2	－
	女	4	1.3	－	1	3	－
S2230 肋骨骨折（肋骨不全骨折）	計	5	0.8	－	3	2	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	4	1.3	－	3	1	－
S3200 腰椎骨折（腰椎脱臼骨折）	計	10	1.7	－	－	10	－
	男	2	0.7	－	－	2	－
	女	8	2.5	－	－	8	－
S3250 恥骨骨折（恥骨骨折）	計	2	0.3	－	－	2	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	－	－	2	－
S3280 腰椎及び骨盤のその他及び部位不明の骨折（骨盤骨折）	計	2	0.3	－	－	2	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	－	－	2	－
S4220 上腕骨近位端骨折（上腕骨頚部骨折）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
S5240 尺骨及び橈骨の両骨幹部の骨折（橈骨尺骨骨折）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
S5250 橈骨遠位端骨折（バートン骨折）	計	2	0.3	－	－	2	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	1	0.3	－	－	1	－
S7200 大腿骨頚部骨折（大腿骨頚部骨折）	計	5	0.8	－	－	5	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	5	1.6	－	－	5	－
S7210 転子貫通骨折（大転子骨折）	計	7	1.2	－	－	7	－
	男	2	0.7	－	－	2	－
	女	5	1.6	－	－	5	－
S7240 大腿骨遠位端骨折（大腿骨顆上骨折）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
S800 膝の挫傷	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	－	1	－
S8200 膝蓋骨骨折（膝蓋骨脱臼骨折）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	－	1	－
S8230 脛骨遠位端骨折（脛骨天蓋骨折）	計	2	0.3	－	－	2	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	1	0.3	－	－	1	－
S8231 脛骨遠位端骨折（脛骨天蓋開放骨折）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
S8260 外果骨折（デュピトラン骨折）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	－	－	1	－
S8280 下腿のその他の部位の骨折（三果骨折）	計	2	0.3	－	－	2	－
	男	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	－	－	2	－
S913 足のその他の部位の開放創	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－
S9200 踵骨骨折（踵骨骨折）	計	1	0.2	－	－	1	－
	男	1	0.4	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・診療科別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科
S9230 中足骨骨折（中足骨剥離骨折）	計	2	0.3	―	―	2	―
	男	―	―	―	―	―	―
	女	2	0.6	―	―	2	―
S934 足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.2	―	―	1	―
	男	―	―	―	―	―	―
	女	1	0.3	―	―	1	―
T009 多発性表在損傷、詳細不明	計	1	0.2	―	1	―	―
	男	1	0.4	―	1	―	―
	女	―	―	―	―	―	―
T0210 胸部＜郭＞の骨折、下背部及び骨盤部の骨折を伴うもの（胸椎圧迫骨折）	計	2	0.3	―	1	1	―
	男	―	―	―	―	―	―
	女	2	0.6	―	1	1	―
T179 気道内異物、部位不明	計	1	0.2	1	―	―	―
	男	1	0.4	1	―	―	―
	女	―	―	―	―	―	―
T200 頭部及び頸部の程度不明の熱傷	計	1	0.2	―	1	―	―
	男	1	0.4	―	1	―	―
	女	―	―	―	―	―	―
T240 股関節部及び下肢の程度不明の熱傷、足首及び足を除く	計	2	0.3	―	1	1	―
	男	1	0.4	―	1	―	―
	女	1	0.3	―	―	1	―
T634 その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.3	1	1	―	―
	男	2	0.7	1	1	―	―
	女	―	―	―	―	―	―
T676 熱疲労、一過性【熱及び光線の作用】	計	1	0.2	1	―	―	―
	男	1	0.4	1	―	―	―
	女	―	―	―	―	―	―
T678 熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	3	0.5	3	―	―	―
	男	2	0.7	2	―	―	―
	女	1	0.3	1	―	―	―
T814 処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.2	1	―	―	―
	男	―	―	―	―	―	―
	女	1	0.3	1	―	―	―
T835 尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	2	0.3	2	―	―	―
	男	―	―	―	―	―	―
	女	2	0.6	2	―	―	―
T850 脳室頭蓋内(交通性)シャントの機械的合併症	計	1	0.2	1	―	―	―
	男	1	0.4	1	―	―	―
	女	―	―	―	―	―	―
T911 脊椎骨折の続発・後遺症	計	1	0.2	1	―	―	―
	男	1	0.4	1	―	―	―
	女	―	―	―	―	―	―
Z470 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察＜フォローアップ＞ケア	計	2	0.3	―	―	2	―
	男	―	―	―	―	―	―
	女	2	0.6	―	―	2	―
Z501 その他の理学療法	計	5	0.8	1	2	2	―
	男	3	1.1	1	1	1	―
	女	2	0.6	―	1	1	―
Z966 整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.2	―	―	1	―
	男	1	0.4	―	―	1	―
	女	―	―	―	―	―	―
Z988 その他の明示された術後状態	計	3	0.5	1	2	―	―
	男	1	0.4	―	1	―	―
	女	2	0.6	1	1	―	―

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・年齢階層別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	598	100.0	80.5	—	2	1	2	—	7	19	18	55	52	64	120	135	123
	男	281	47.0	77.4	—	2	—	2	—	5	11	10	36	32	31	59	64	29
	女	317	53.0	83.3	—	—	1	—	—	2	8	8	19	20	33	61	71	94
構成比（%）	計	100.0			—	0.3	0.2	0.3	—	1.2	3.2	3.0	9.2	8.7	10.7	20.1	22.6	20.6
	男	100.0			—	0.7	—	0.7	—	1.8	3.9	3.6	12.8	11.4	11.0	21.0	22.8	10.3
	女	100.0			—	—	0.3	—	—	0.6	2.5	2.5	6.0	6.3	10.4	19.2	22.4	29.7
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	2	0.3	74.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	64.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	6	1.0	75.0	—	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	2	—	1
	男	3	1.1	63.3	—	—	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—	—
	女	3	0.9	86.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1
A310 肺非結核性抗酸菌感染症	計	1	0.2	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
B029 帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	1	0.2	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	1	0.4	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B182 慢性Ｃ型ウイルス肝炎	計	1	0.2	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B371 肺カンジダ症	計	1	0.2	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B402 肺ブラストミセス症、詳細不明	計	1	0.2	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	1	0.2	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	9	1.5	81.6	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	5	2	1
	男	9	3.2	81.6	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	5	2	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C187 Ｓ状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
C20 直腸の悪性新生物	計	3	0.5	69.3	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—
	男	3	1.1	69.3	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	2	0.3	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
C240 肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	1	0.2	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
C250 膵頭部【膵の悪性新生物】	計	2	0.3	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—
	男	1	0.4	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	1	0.3	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C259 膵、部位不明【膵の悪性新生物】	計	1	0.2	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
C341 上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物】	計	1	0.2	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	4	0.7	79.8	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	1
	男	2	0.7	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—
	女	2	0.6	81.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
C509 乳房、部位不明【乳房の悪性新生物】	計	2	0.3	86.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	86.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
C539 子宮頸（部）、部位不明【子宮頸（部）の悪性新生物】	計	1	0.2	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
C61 前立腺の悪性新生物	計	1	0.2	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	1	0.4	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C64 腎盂を除く腎の悪性新生物	計	1	0.2	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C679 膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物】	計	2	0.3	80.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	男	2	0.7	80.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C787 肝の続発性悪性新生物	計	2	0.3	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	男	1	0.4	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	1	0.3	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
C795 骨及び骨髄の続発性悪性新生物	計	1	0.2	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	1	0.2	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
C900 多発性骨髄腫	計	2	0.3	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	男	2	0.7	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・年齢階層別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
D371 胃【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	86.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	86.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
D374 結腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	87.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	87.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
D376 肝、胆のう＜嚢＞及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	89.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	89.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
D377 その他の消化器【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	87.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	87.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
D480 骨及び関節軟骨【その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	67.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
	男	1	0.4	67.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
D539 栄養性貧血、詳細不明【その他の栄養性貧血】	計	1	0.2	66.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
	男	1	0.4	66.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
D619 無形成性貧血、詳細不明	計	1	0.2	78.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	78.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.2	82.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	82.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
D693 特発性血小板減少性紫斑病	計	1	0.2	69.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
	男	1	0.4	69.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
E11 インスリン非依存性糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞	計	1	0.2	81.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	81.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
E14 詳細不明の糖尿病	計	6	1.0	76.7	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	2	2	－	－
	男	3	1.1	76.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	1	－	－
	女	3	0.9	77.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	1	－	－
E141 ケトアシドーシスを伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.2	77.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	77.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
E162 低血糖症、詳細不明	計	4	0.7	75.3	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	2	－	－
	男	2	0.7	78.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－
	女	2	0.6	72.5	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－
E86 体液量減少（症）	計	6	1.0	79.7	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	2	2
	男	1	0.4	53.0	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
	女	5	1.6	85.0	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	2	2
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	1	0.2	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	1	0.4	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
E875 高カリウム＜Ｋ＞血症	計	3	0.5	86.7	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	1
	男	2	0.7	89.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1
	女	1	0.3	82.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
F03 詳細不明の認知症	計	4	0.7	86.8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	3	－
	男	2	0.7	88.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－
	女	2	0.6	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－
F102 依存症候群【アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の障害】	計	1	0.2	73.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	男	1	0.4	73.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
F130 急性中毒【鎮静薬又は催眠薬使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.2	79.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
	男	1	0.4	79.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
F220 妄想性障害	計	1	0.2	76.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	76.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
F318 その他の双極性感情障害	計	1	0.2	51.0	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
	男	1	0.4	51.0	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.2	81.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	81.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
F341 気分変調症	計	2	0.3	74.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－
	男	1	0.4	67.0	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	81.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
F39 詳細不明の気分[感情]障害	計	1	0.2	90.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	男	1	0.4	90.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
F410 恐慌性＜パニック＞障害[挿間性発作性不安]	計	1	0.2	46.0	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	46.0	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
F411 全般性不安障害	計	1	0.2	89.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	1	0.4	89.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
G20 パーキンソン病	計	1	0.2	90.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	90.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
G408 その他のてんかん	計	2	0.3	65.0	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－
	男	1	0.4	71.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	女	1	0.3	59.0	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	2	0.3	86.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1
	男	1	0.4	79.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
	女	1	0.3	93.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
G473 睡眠時無呼吸	計	3	0.5	58.7	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－
	男	2	0.7	47.5	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	女	1	0.3	81.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
G522 迷走神経障害	計	1	0.2	61.0	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
	男	1	0.4	61.0	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
G934 脳症＜エンセファロパチ＜シ＞ー＞、詳細不明	計	1	0.2	73.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	男	1	0.4	73.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・年齢階層別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
H110 翼状片	計	2	0.3	70.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	64.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	76.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
H259 老人性白内障、詳細不明	計	66	11.0	77.5	—	—	—	—	—	—	1	2	12	10	11	17	11	2
	男	30	10.7	79.0	—	—	—	—	—	—	—	1	4	4	4	9	7	1
	女	36	11.4	76.3	—	—	—	—	—	—	1	1	8	6	7	8	4	1
H402 原発閉塞隅角緑内障	計	1	0.2	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H810 メニエール病	計	1	0.2	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
H811 良性発作性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.2	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
H814 中枢性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.2	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
I10 本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	計	1	0.2	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I200 不安定狭心症	計	1	0.2	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I209 狭心症、詳細不明	計	1	0.2	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I269 急性肺性心の記載のない肺塞栓症	計	1	0.2	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I270 原発性肺高血圧（症）	計	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I460 蘇生に成功した心停止	計	1	0.2	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
I469 心停止、詳細不明	計	1	0.2	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	1	0.4	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I472 心室（性）頻拍（症）	計	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I48 心房細動及び粗動	計	3	0.5	85.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—
	男	3	1.1	85.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I495 洞不全症候群	計	1	0.2	68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I500 うっ血性心不全	計	1	0.2	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	1	0.4	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I509 心不全、詳細不明	計	32	5.4	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	7	16	6
	男	14	5.0	84.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	6	6	1
	女	18	5.7	86.9	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1	10	5
I608 その他のくも膜下出血	計	1	0.2	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
I609 くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.2	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I610 (大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	4	0.7	81.3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	1
	男	1	0.4	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	3	0.9	82.7	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1
I620 硬膜下出血（急性）（非外傷性）	計	1	0.2	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I635 脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	1	0.2	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
I638 その他の脳梗塞	計	2	0.3	76.5	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
	男	1	0.4	61.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
I639 脳梗塞、詳細不明	計	8	1.3	87.9	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	4	3
	男	1	0.4	61.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	7	2.2	91.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	3
I691 脳内出血の続発・後遺症	計	1	0.2	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
I850 出血を伴う食道静脈瘤	計	1	0.2	66.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	66.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I951 起立性低血圧（症）	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
I959 低血圧（症）、詳細不明	計	1	0.2	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	2	0.3	85.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	85.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
J101 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されたもの	計	1	0.2	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
J13 肺炎レンサ球菌による肺炎	計	3	0.5	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—
	男	1	0.4	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	2	0.6	75.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・年齢階層別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
J159 細菌性肺炎、詳細不明	計	4	0.7	83.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—
	男	4	1.4	83.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J189 肺炎、詳細不明	計	34	5.7	86.7	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	2	5	13	11
	男	21	7.5	84.8	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	1	3	8	6
	女	13	4.1	89.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	5	5
J208 その他の明示された病原体による急性気管支炎	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.3	82.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	男	1	0.4	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	1	0.3	93.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.5	81.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1
	男	3	1.1	81.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.7	80.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	—	—
	男	3	1.1	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	—
	女	1	0.3	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
J459 喘息、詳細不明	計	2	0.3	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
	男	1	0.4	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	1	0.3	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
J46 喘息発作重積状態	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	19	3.2	89.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	7	9
	男	10	3.6	87.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	4	4
	女	9	2.8	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	5
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	4	0.7	84.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1
	男	2	0.7	84.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	女	2	0.6	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
J849 間質性肺疾患、詳細不明	計	1	0.2	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J852 肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.2	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J869 瘻（孔）を伴わない膿胸（症）	計	2	0.3	90.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	男	1	0.4	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	1	0.3	98.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
J961 慢性呼吸不全	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J984 肺のその他の障害	計	1	0.2	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	69.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K112 唾液腺炎	計	1	0.2	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	1	0.4	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K254 慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	2	0.3	84.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	男	1	0.4	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	1	0.3	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
K259 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.3	87.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	87.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
K279 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【部位不明の消化性潰瘍】	計	1	0.2	68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K318 胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計	1	0.2	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K351 腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎	計	2	0.3	67.5	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	68.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	2	0.3	84.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	84.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
K409 一側性又は患側不明のそけい＜鼡径＞ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	9	1.5	73.9	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	2	—	2	—
	男	8	2.8	72.3	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1	2	—	1	—
	女	1	0.3	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
K439 腹壁ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.2	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K449 横隔膜ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.2	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K550 腸の急性血行障害	計	2	0.3	53.0	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	59.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	47.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	2	0.3	74.5	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	64.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
K566 その他及び詳細不明の腸閉塞	計	2	0.3	73.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	73.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—
K567 イレウス、詳細不明	計	3	0.5	74.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	—
	男	1	0.4	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	2	0.6	68.5	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—
K572 穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	1	0.2	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・年齢階層別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
K589 下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	1	0.2	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
K590 便秘	計	1	0.2	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
K623 直腸脱	計	1	0.2	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
K626 肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.2	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	99.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K635 大腸＜結腸＞のポリープ	計	13	2.2	70.5	—	—	—	—	—	—	3	—	2	3	3	—	2	—
	男	9	3.2	67.4	—	—	—	—	—	—	3	—	2	2	1	—	1	—
	女	4	1.3	77.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2	—	1	—
K650 急性腹膜炎	計	2	0.3	77.5	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	77.5	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1
K659 腹膜炎、詳細不明	計	1	0.2	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K746 その他及び詳細不明の肝硬変	計	1	0.2	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	75.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K802 胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆のう＜嚢＞結石	計	4	0.7	74.3	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—	1
	男	1	0.4	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	3	0.9	76.7	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	1
K805 胆管炎又は胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆管結石	計	1	0.2	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K810 急性胆のう＜嚢＞炎	計	3	0.5	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	1
	男	1	0.4	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	2	0.6	92.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
K819 胆のう＜嚢＞炎、詳細不明	計	2	0.3	91.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	男	1	0.4	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	1	0.3	95.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K830 胆管炎	計	4	0.7	92.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	3
	男	1	0.4	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	3	0.9	96.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.2	105.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	105.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K921 メレナ	計	1	0.2	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
K922 胃腸出血、詳細不明	計	1	0.2	96.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	96.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
K928 消化器系のその他の明示された疾患	計	1	0.2	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	72.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L039 蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、詳細不明	計	2	0.3	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	男	1	0.4	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	1	0.3	94.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
L500 アレルギー性じんま＜蕁麻＞疹	計	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L89 じょく＜褥＞瘡性潰瘍	計	2	0.3	97.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	97.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
M0690 関節リウマチ、詳細不明（慢性関節リウマチ）	計	2	0.3	83.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	男	2	0.7	83.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M1126 その他の軟骨石灰化症（膝関節偽痛風）	計	3	0.5	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1
	男	1	0.4	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	2	0.6	84.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
M169 股関節症、詳細不明	計	3	0.5	77.3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—	—
	男	1	0.4	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	2	0.6	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
M179 膝関節症、詳細不明	計	6	1.0	76.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4	1	—	—
	男	1	0.4	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	5	1.6	76.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	1	—	—
M2459 関節拘縮（下肢拘縮）	計	1	0.2	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	77.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M4806 脊柱管狭窄（症）（仙骨狭窄）	計	5	0.8	70.6	—	—	—	—	—	1	—	—	1	2	—	—	—	1
	男	3	1.1	72.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	1
	女	2	0.6	68.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
M5422 頸部痛（頚性頭痛）	計	1	0.2	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M5456 下背部痛（下背部ストレイン）	計	1	0.2	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
M6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの（廃用性筋萎縮）	計	2	0.3	92.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	92.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
M7712 外側上顆炎（テニス肘）	計	1	0.2	43.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	43.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M8199 骨粗しょう＜鬆＞症＜オステオポローシス＞、詳細不明（骨粗鬆症）	計	1	0.2	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
M8699 骨髄炎、詳細不明（細菌性骨髄炎）	計	1	0.2	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・年齢階層別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
M932 離断性骨軟骨炎	計	1	0.2	13.0	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	男	1	0.4	13.0	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
N10 急性尿細管間質性腎炎	計	8	1.3	74.3	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	1	3	1	1
	男	1	0.4	81.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	女	7	2.2	73.3	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	1	2	1	1
N12 尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.2	83.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	男	1	0.4	83.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
N133 その他及び詳細不明の水腎症	計	1	0.2	95.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	95.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	1	0.2	83.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	83.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
N19 詳細不明の腎不全	計	1	0.2	84.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	男	1	0.4	84.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
N309 膀胱炎、詳細不明	計	1	0.2	95.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	95.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
N390 尿路感染症、部位不明	計	11	1.8	87.1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	2	1	6
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	11	3.5	87.1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	2	1	6
N739 女性骨盤炎症性疾患、詳細不明	計	1	0.2	59.0	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	59.0	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
N760 急性膣炎	計	1	0.2	96.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	96.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
R000 頻脈、詳細不明【心拍の異常】	計	1	0.2	92.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	92.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
R090 窒息	計	2	0.3	91.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1
	男	2	0.7	91.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
R098 循環器系及び呼吸器系に関するその他の明示された症状及び徴候	計	1	0.2	87.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	87.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
R100 急性腹症	計	2	0.3	76.0	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1
	男	2	0.7	76.0	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	1
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
R104 その他及び詳細不明の腹痛	計	1	0.2	70.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	70.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
R11 悪心及び嘔吐	計	6	1.0	82.2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	1	2	1
	男	2	0.7	90.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1
	女	4	1.3	78.3	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	1	1	－
R13 えん＜嚥＞下障害	計	2	0.3	68.5	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－
	男	2	0.7	68.5	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
R195 その他の異常便	計	1	0.2	84.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	84.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
R268 歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	2	0.3	77.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－
	男	1	0.4	70.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	女	1	0.3	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
R298 神経系及び筋骨格系に関するその他及び詳細不明の症状及び徴候	計	1	0.2	88.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	1	0.4	88.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
R400 傾眠	計	1	0.2	92.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	92.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
R402 昏睡、詳細不明	計	2	0.3	93.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	93.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
R42 めまい＜眩暈＞感及びよろめき感	計	3	0.5	72.7	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	2	－	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	3	0.9	72.7	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	2	－	－
R509 発熱、詳細不明	計	2	0.3	84.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	2	0.6	84.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－
R51 頭痛	計	1	0.2	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	1	0.3	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
R54 老衰	計	3	0.5	95.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女	3	0.9	95.3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
R568 その他及び詳細不明のけいれん＜痙攣＞	計	1	0.2	73.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	男	1	0.4	73.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
R599 リンパ節腫大、詳細不明	計	1	0.2	83.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	男	1	0.4	83.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
R600 限局性浮腫	計	1	0.2	74.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	男	1	0.4	74.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
R688 その他の明示された全身症状及び徴候	計	2	0.3	87.5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1
	男	1	0.4	84.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
	女	1	0.3	91.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
R91 肺の画像診断における異常所見	計	1	0.2	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	1	0.4	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
R99 その他の診断名不明確及び原因不明の死亡	計	1	0.2	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	男	1	0.4	85.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
	女	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・年齢階層別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
S011 眼瞼及び眼球周囲部の開放創	計	3	0.5	84.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1
	男	2	0.7	85.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	女	1	0.3	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
S018 頭部のその他の部位の開放創	計	1	0.2	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	84.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S062 びまん性脳損傷	計	1	0.2	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	87.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S065 外傷性硬膜下出血	計	3	0.5	88.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2
	男	1	0.4	90.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	2	0.6	87.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
S141 頸髄のその他及び詳細不明の損傷	計	1	0.2	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
S2200 胸椎骨折（胸椎椎体骨折）	計	6	1.0	81.8	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	1	2
	男	2	0.7	70.5	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
	女	4	1.3	87.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2
S2230 肋骨骨折（肋骨不全骨折）	計	5	0.8	80.8	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	1	1	1
	男	1	0.4	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	4	1.3	82.5	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	1
S3200 腰椎骨折（腰椎脱臼骨折）	計	10	1.7	80.2	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	—	1	3	3
	男	2	0.7	54.0	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	8	2.5	86.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	3	3
S3250 恥骨骨折（恥骨骨折）	計	2	0.3	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—
S3280 腰椎及び骨盤のその他及び部位不明の骨折（骨盤骨折）	計	2	0.3	88.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	88.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
S4220 上腕骨近位端骨折（上腕骨頸部骨折）	計	1	0.2	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S5240 尺骨及び橈骨の両骨幹部の骨折（橈骨尺骨骨折）	計	1	0.2	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S5250 橈骨遠位端骨折（バートン骨折）	計	2	0.3	64.5	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	48.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
S7200 大腿骨頸部骨折（大腿骨頸部骨折）	計	5	0.8	87.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.6	87.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	3	1
S7210 転子貫通骨折（大転子骨折）	計	7	1.2	85.9	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	1	4
	男	2	0.7	74.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	女	5	1.6	90.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	4
S7240 大腿骨遠位端骨折（大腿骨顆上骨折）	計	1	0.2	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S800 膝の挫傷	計	1	0.2	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
S8200 膝蓋骨骨折（膝蓋骨脱臼骨折）	計	1	0.2	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S8230 脛骨遠位端骨折（脛骨天蓋骨折）	計	2	0.3	62.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	51.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
S8231 脛骨遠位端骨折（脛骨天蓋開放骨折）	計	1	0.2	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	67.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8260 外果骨折（デュピトラン骨折）	計	1	0.2	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
S8280 下腿のその他の部位の骨折（三果骨折）	計	2	0.3	61.0	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	61.0	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
S913 足のその他の部位の開放創	計	1	0.2	59.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	59.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S9200 踵骨骨折（踵骨骨折）	計	1	0.2	59.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	59.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S9230 中足骨骨折（中足骨剥離骨折）	計	2	0.3	76.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	76.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—
S934 足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.2	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	85.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
T009 多発性表在損傷、詳細不明	計	1	0.2	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T0210 胸部＜郭＞の骨折、下背部及び骨盤部の骨折を伴うもの（胸椎圧迫骨折）	計	2	0.3	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	89.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
T179 気道内異物、部位不明	計	1	0.2	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	80.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T200 頭部及び頸部の程度不明の熱傷	計	1	0.2	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	71.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T240 股関節部及び下肢の程度不明の熱傷、足首及び足を除く	計	2	0.3	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
	男	1	0.4	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	1	0.3	79.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
T634 その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.3	57.0	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	57.0	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・年齢階層別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
T676 熱疲労、一過性【熱及び光線の作用】	計	1	0.2	25.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	25.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T678 熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	3	0.5	86.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	2
	男	2	0.7	83.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	女	1	0.3	91.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
T814 処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.2	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	88.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
T835 尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	2	0.3	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	83.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
T850 脳室頭蓋内(交通性)シャントの機械的合併症	計	1	0.2	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	82.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T911 脊椎骨折の続発・後遺症	計	1	0.2	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	81.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Z470 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察＜フォローアップ＞ケア	計	2	0.3	63.0	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	63.0	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
Z501 その他の理学療法	計	5	0.8	76.2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	—
	男	3	1.1	74.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	—
	女	2	0.6	79.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
Z966 整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.2	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	73.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Z988 その他の明示された術後状態	計	3	0.5	78.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—
	男	1	0.4	78.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	2	0.6	78.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・在院期間別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	計	598	100.0	20,391	34.1	140	125	110	61	85	36	30	6	4	1
	男	281	47.0	7,147	25.4	83	67	46	26	37	11	8	2	1	—
	女	317	53.0	13,244	41.8	57	58	64	35	48	25	22	4	3	1
構成比（%）	計	100.0				23.4	20.9	18.4	10.2	14.2	6.0	5.0	1.0	0.7	0.2
	男	100.0				29.5	23.8	16.4	9.3	13.2	3.9	2.8	0.7	0.4	—
	女	100.0				18.0	18.3	20.2	11.0	15.1	7.9	6.9	1.3	0.9	0.3
A049 細菌性腸管感染症、詳細不明	計	2	0.3	34	17.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	20	20.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
A09 感染症と推定される下痢及び胃腸炎	計	6	1.0	82	13.7	1	3	2	—	—	—	—	—	—	—
	男	3	1.1	48	16.0	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.9	34	11.3	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—
A310 肺非結核性抗酸菌感染症	計	1	0.2	71	71.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	71	71.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
B029 帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	1	0.2	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B182 慢性Ｃ型ウイルス肝炎	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B371 肺カンジダ症	計	1	0.2	34	34.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	34	34.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B402 肺ブラストミセス症、詳細不明	計	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C159 食道、部位不明【食道の悪性新生物】	計	1	0.2	48	48.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	48	48.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C169 胃、部位不明【胃の悪性新生物】	計	9	1.5	420	46.7	2	—	—	3	1	2	1	—	—	—
	男	9	3.2	420	46.7	2	—	—	3	1	2	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C182 上行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	42	42.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	42	42.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
C184 横行結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	36	36.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	36	36.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C187 Ｓ状結腸【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C189 結腸、部位不明【結腸の悪性新生物】	計	1	0.2	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C20 直腸の悪性新生物	計	3	0.5	80	26.7	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	3	1.1	80	26.7	1	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C220 肝癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物】	計	2	0.3	37	18.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	37	18.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
C240 肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物】	計	1	0.2	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
C250 膵頭部【膵の悪性新生物】	計	2	0.3	62	31.0	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	51	51.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
C252 膵尾部【膵の悪性新生物】	計	1	0.2	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C259 膵、部位不明【膵の悪性新生物】	計	1	0.2	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
C341 上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物】	計	1	0.2	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
C349 気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物】	計	4	0.7	55	13.8	2	—	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	30	15.0	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	25	12.5	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
C509 乳房、部位不明【乳房の悪性新生物】	計	2	0.3	87	43.5	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	87	43.5	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
C539 子宮頸（部）、部位不明【子宮頸（部）の悪性新生物】	計	1	0.2	56	56.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	56	56.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
C61 前立腺の悪性新生物	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C64 腎盂を除く腎の悪性新生物	計	1	0.2	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C679 膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物】	計	2	0.3	22	11.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	22	11.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C787 肝の続発性悪性新生物	計	2	0.3	32	16.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
C795 骨及び骨髄の続発性悪性新生物	計	1	0.2	101	101.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	101	101.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
C859 非ホジキンリンパ腫、型不明	計	1	0.2	60	60.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	60	60.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
C900 多発性骨髄腫	計	2	0.3	30	15.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	30	15.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・在院期間別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
D371 胃【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
D374 結腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
D376 肝、胆のう＜嚢＞及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	79	79.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	79	79.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
D377 その他の消化器【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	72	72.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	72	72.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
D480 骨及び関節軟骨【その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物】	計	1	0.2	35	35.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	35	35.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
D539 栄養性貧血、詳細不明【その他の栄養性貧血】	計	1	0.2	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
D619 無形成性貧血、詳細不明	計	1	0.2	129	129.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	129	129.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
D649 貧血、詳細不明	計	1	0.2	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
D693 特発性血小板減少性紫斑病	計	1	0.2	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E11 インスリン非依存性糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞	計	1	0.2	20	20.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	20	20.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
E14 詳細不明の糖尿病	計	6	1.0	1,064	177.3	1	2	—	1	—	1	—	—	—	1
	男	3	1.1	52	17.3	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.9	1,012	337.3	1	—	—	—	—	1	—	—	—	1
E141 ケトアシドーシスを伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.2	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
E162 低血糖症、詳細不明	計	4	0.7	59	14.8	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	39	19.5	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	20	10.0	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
E86 体液量減少（症）	計	6	1.0	457	76.2	2	—	1	—	2	—	—	1	—	—
	男	1	0.4	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.6	453	90.6	1	—	1	—	2	—	—	1	—	—
E871 低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E875 高カリウム＜Ｋ＞血症	計	3	0.5	19	6.3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	8	4.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
F03 詳細不明の認知症	計	4	0.7	194	48.5	—	—	1	1	—	2	—	—	—	—
	男	2	0.7	145	72.5	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
	女	2	0.6	49	24.5	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
F102 依存症候群【アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の障害】	計	1	0.2	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F130 急性中毒【鎮静薬又は催眠薬使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F220 妄想性障害	計	1	0.2	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
F318 その他の双極性感情障害	計	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F329 うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.2	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
F341 気分変調症	計	2	0.3	28	14.0	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
F39 詳細不明の気分[感情]障害	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F410 恐慌性＜パニック＞障害[挿間性発作性不安]	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F411 全般性不安障害	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G20 パーキンソン病	計	1	0.2	283	283.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	283	283.0	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
G408 その他のてんかん	計	2	0.3	16	8.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G459 一過性脳虚血発作、詳細不明	計	2	0.3	17	8.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
G473 睡眠時無呼吸	計	3	0.5	6	2.0	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	4	2.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G522 迷走神経障害	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G934 脳症＜エンセファロパチ＜シ＞ー＞、詳細不明	計	1	0.2	57	57.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	57	57.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・在院期間別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
H110 翼状片	計	2	0.3	19	9.5	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
H259 老人性白内障、詳細不明	計	66	11.0	997	15.1	2	18	44	2	—	—	—	—	—	—
	男	30	10.7	440	14.7	1	8	21	—	—	—	—	—	—	—
	女	36	11.4	557	15.5	1	10	23	2	—	—	—	—	—	—
H402 原発閉塞隅角緑内障	計	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H810 メニエール病	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H811 良性発作性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H814 中枢性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.2	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
I10 本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	計	1	0.2	1	1.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	1	1.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I200 不安定狭心症	計	1	0.2	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I209 狭心症、詳細不明	計	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I269 急性肺性心の記載のない肺塞栓症	計	1	0.2	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I270 原発性肺高血圧（症）	計	1	0.2	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I460 蘇生に成功した心停止	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I469 心停止、詳細不明	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I472 心室（性）頻拍（症）	計	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I48 心房細動及び粗動	計	3	0.5	37	12.3	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	3	1.1	37	12.3	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I495 洞不全症候群	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I500 うっ血性心不全	計	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I509 心不全、詳細不明	計	32	5.4	1,459	45.6	3	8	4	4	4	4	4	1	—	—
	男	14	5.0	528	37.7	2	4	2	2	—	3	1	—	—	—
	女	18	5.7	931	51.7	1	4	2	2	4	1	3	1	—	—
I608 その他のくも膜下出血	計	1	0.2	20	20.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	20	20.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
I609 くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I610 (大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	4	0.7	318	79.5	—	—	—	—	2	1	1	—	—	—
	男	1	0.4	76	76.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	3	0.9	242	80.7	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—
I620 硬膜下出血（急性）（非外傷性）	計	1	0.2	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I635 脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	1	0.2	99	99.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	99	99.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
I638 その他の脳梗塞	計	2	0.3	67	33.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	51	51.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
I639 脳梗塞、詳細不明	計	8	1.3	378	47.3	1	1	1	—	2	3	—	—	—	—
	男	1	0.4	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	7	2.2	367	52.4	1	—	1	—	2	3	—	—	—	—
I691 脳内出血の続発・後遺症	計	1	0.2	627	627.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	627	627.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
I850 出血を伴う食道静脈瘤	計	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I951 起立性低血圧（症）	計	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
I959 低血圧（症）、詳細不明	計	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J069 急性上気道感染症、詳細不明	計	2	0.3	49	24.5	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	49	24.5	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
J101 その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されたもの	計	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J13 肺炎レンサ球菌による肺炎	計	3	0.5	136	45.3	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	124	62.0	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・在院期間別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
J159 細菌性肺炎、詳細不明	計	4	0.7	117	29.3	—	1	—	2	1	—	—	—	—	—
	男	4	1.4	117	29.3	—	1	—	2	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J189 肺炎、詳細不明	計	34	5.7	1,030	30.3	6	9	4	7	4	1	3	—	—	—
	男	21	7.5	567	27.0	5	6	2	4	2	1	1	—	—	—
	女	13	4.1	463	35.6	1	3	2	3	2	—	2	—	—	—
J208 その他の明示された病原体による急性気管支炎	計	1	0.2	31	31.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	31	31.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
J209 急性気管支炎、詳細不明	計	1	0.2	31	31.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	31	31.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
J40 気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.3	44	22.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	36	36.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
J441 急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.5	226	75.3	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—
	男	3	1.1	226	75.3	1	—	—	—	—	1	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J449 慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	4	0.7	112	28.0	1	1	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	3	1.1	74	24.7	1	1	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	38	38.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
J459 喘息、詳細不明	計	2	0.3	28	14.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
J46 喘息発作重積状態	計	1	0.2	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J690 食物及び吐物による肺臓炎	計	19	3.2	1,043	54.9	3	2	4	4	2	1	1	2	—	—
	男	10	3.6	573	57.3	2	1	2	3	—	—	1	1	—	—
	女	9	2.8	470	52.2	1	1	2	1	2	1	—	1	—	—
J841 肺線維症を伴うその他の間質性肺疾患	計	4	0.7	102	25.5	1	—	—	2	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	70	35.0	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	32	16.0	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
J849 間質性肺疾患、詳細不明	計	1	0.2	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	16	16.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J852 肺炎を伴わない肺膿瘍	計	1	0.2	50	50.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	50	50.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J869 瘻（孔）を伴わない膿胸（症）	計	2	0.3	130	65.0	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	45	45.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	85	85.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
J961 慢性呼吸不全	計	1	0.2	373	373.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	373	373.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
J984 肺のその他の障害	計	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K112 唾液腺炎	計	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K254 慢性又は詳細不明、出血を伴うもの【胃潰瘍】	計	2	0.3	86	43.0	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	79	79.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
K259 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	2	0.3	58	29.0	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	58	29.0	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
K279 急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【部位不明の消化性潰瘍】	計	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K318 胃及び十二指腸のその他の明示された疾患	計	1	0.2	40	40.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	40	40.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K351 腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎	計	2	0.3	39	19.5	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	22	22.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	17	17.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K359 急性虫垂炎、詳細不明	計	2	0.3	26	13.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	26	13.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
K409 一側性又は患側不明のそけい＜嵌径＞ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	9	1.5	76	8.4	5	4	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	8	2.8	65	8.1	5	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K439 腹壁ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.2	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	6	6.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K449 横隔膜ヘルニア、閉塞又はえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.2	59	59.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	59	59.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
K550 腸の急性血行障害	計	2	0.3	19	9.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	12	12.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K559 腸の血行障害、詳細不明	計	2	0.3	20	10.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K566 その他及び詳細不明の腸閉塞	計	2	0.3	21	10.5	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	21	10.5	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
K567 イレウス、詳細不明	計	3	0.5	82	27.3	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	23	23.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	59	29.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
K572 穿孔及び膿瘍を伴う大腸の憩室性疾患	計	1	0.2	85	85.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	85	85.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K573 穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・在院期間別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
K589 下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
K590 便秘	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K623 直腸脱	計	1	0.2	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K626 肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.2	39	39.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	39	39.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
K635 大腸＜結腸＞のポリープ	計	13	2.2	30	2.3	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	9	3.2	22	2.4	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.3	8	2.0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K650 急性腹膜炎	計	2	0.3	5	2.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	5	2.5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K659 腹膜炎、詳細不明	計	1	0.2	122	122.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	122	122.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
K746 その他及び詳細不明の肝硬変	計	1	0.2	22	22.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	22	22.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K802 胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆のう＜嚢＞結石	計	4	0.7	142	35.5	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.9	135	45.0	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—
K805 胆管炎又は胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆管結石	計	1	0.2	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	18	18.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
K810 急性胆のう＜嚢＞炎	計	3	0.5	88	29.3	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	78	39.0	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
K819 胆のう＜嚢＞炎、詳細不明	計	2	0.3	43	21.5	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	17	17.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	26	26.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
K830 胆管炎	計	4	0.7	88	22.0	—	1	1	2	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.9	74	24.7	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—
K839 胆道の疾患、詳細不明	計	1	0.2	71	71.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	71	71.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
K921 メレナ	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
K922 胃腸出血、詳細不明	計	1	0.2	86	86.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	86	86.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
K928 消化器系のその他の明示された疾患	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L039 蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、詳細不明	計	2	0.3	28	14.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
L500 アレルギー性じんま＜蕁麻＞疹	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L89 じょく＜褥＞瘡性潰瘍	計	2	0.3	55	27.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	55	27.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
M0690 関節リウマチ、詳細不明（慢性関節リウマチ）	計	2	0.3	62	31.0	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	62	31.0	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M1126 その他の軟骨石灰化症（膝関節偽痛風）	計	3	0.5	37	12.3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	24	12.0	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
M169 股関節症、詳細不明	計	3	0.5	147	49.0	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	36	36.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	111	55.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
M179 膝関節症、詳細不明	計	6	1.0	198	33.0	—	—	—	3	3	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	32	32.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	5	1.6	166	33.2	—	—	—	3	2	—	—	—	—	—
M2459 関節拘縮（下肢拘縮）	計	1	0.2	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	9	9.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M4806 脊柱管狭窄（症）（仙骨狭窄）	計	5	0.8	97	19.4	—	2	1	2	—	—	—	—	—	—
	男	3	1.1	60	20.0	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	37	18.5	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—
M5422 頸部痛（頚性頭痛）	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M5456 下背部痛（下背部ストレイン）	計	1	0.2	66	66.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	66	66.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
M6259 筋の消耗及び萎縮、他に分類されないもの（廃用性筋萎縮）	計	2	0.3	124	62.0	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	124	62.0	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—
M7712 外側上顆炎（テニス肘）	計	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M8199 骨粗しょう＜鬆＞症＜オステオポローシス＞、詳細不明（骨粗鬆症）	計	1	0.2	77	77.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	77	77.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
M8699 骨髄炎、詳細不明（細菌性骨髄炎）	計	1	0.2	34	34.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	34	34.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・在院期間別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
M932 離断性骨軟骨炎	計	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
N10 急性尿細管間質性腎炎	計	8	1.3	533	66.6	1	5	—	—	1	—	—	—	1	—
	男	1	0.4	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	7	2.2	520	74.3	1	4	—	—	1	—	—	—	1	—
N12 尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.2	32	32.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	32	32.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
N133 その他及び詳細不明の水腎症	計	1	0.2	24	24.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	24	24.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
N189 慢性腎不全、詳細不明	計	1	0.2	63	63.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	63	63.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
N19 詳細不明の腎不全	計	1	0.2	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
N309 膀胱炎、詳細不明	計	1	0.2	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
N390 尿路感染症、部位不明	計	11	1.8	241	21.9	3	3	1	2	1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	11	3.5	241	21.9	3	3	1	2	1	1	—	—	—	—
N739 女性骨盤炎症性疾患、詳細不明	計	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
N760 急性膣炎	計	1	0.2	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
R000 頻脈、詳細不明【心拍の異常】	計	1	0.2	610	610.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	610	610.0	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
R090 窒息	計	2	0.3	61	30.5	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	61	30.5	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R098 循環器系及び呼吸器系に関するその他の明示された症状及び徴候	計	1	0.2	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	5	5.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R100 急性腹症	計	2	0.3	12	6.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	12	6.0	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R104 その他及び詳細不明の腹痛	計	1	0.2	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R11 悪心及び嘔吐	計	6	1.0	70	11.7	3	1	1	1	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	19	9.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.3	51	12.8	2	—	1	1	—	—	—	—	—	—
R13 えん＜嚥＞下障害	計	2	0.3	53	26.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	53	26.5	—	—	1	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R195 その他の異常便	計	1	0.2	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	3	3.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R268 歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	2	0.3	140	70.0	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	33	33.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	107	107.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
R298 神経系及び筋骨格系に関するその他及び詳細不明の症状及び徴候	計	1	0.2	46	46.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	46	46.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R400 傾眠	計	1	0.2	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
R402 昏睡、詳細不明	計	2	0.3	12	6.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	12	6.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R42 めまい＜眩暈＞感及びよろめき感	計	3	0.5	13	4.3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.9	13	4.3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R509 発熱、詳細不明	計	2	0.3	32	16.0	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	32	16.0	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
R51 頭痛	計	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R54 老衰	計	3	0.5	14	4.7	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	3	0.9	14	4.7	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
R568 その他及び詳細不明のけいれん＜痙攣＞	計	1	0.2	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	11	11.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R599 リンパ節腫大、詳細不明	計	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R600 限局性浮腫	計	1	0.2	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R688 その他の明示された全身症状及び徴候	計	2	0.3	116	58.0	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	1	1.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	115	115.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
R91 肺の画像診断における異常所見	計	1	0.2	56	56.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	56	56.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
R99 その他の診断名不明確及び原因不明の死亡	計	1	0.2	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	8	8.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ＩＣＤ１０コード別・在院期間別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
S011 眼瞼及び眼球周囲部の開放創	計	3	0.5	344	114.7	1	—	1	—	—	—	—	1	—	—
	男	2	0.7	343	171.5	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—
	女	1	0.3	1	1.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S018 頭部のその他の部位の開放創	計	1	0.2	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S062 びまん性脳損傷	計	1	0.2	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S065 外傷性硬膜下出血	計	3	0.5	143	47.7	1	—	—	—	1	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	141	70.5	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
S141 頸髄のその他及び詳細不明の損傷	計	1	0.2	17	17.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	17	17.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
S2200 胸椎骨折（胸椎椎体骨折）	計	6	1.0	115	19.2	—	2	2	2	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	34	17.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.3	81	20.3	—	1	1	2	—	—	—	—	—	—
S2230 肋骨骨折（肋骨不全骨折）	計	5	0.8	225	45.0	—	1	2	—	1	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	19	19.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	4	1.3	206	51.5	—	1	1	—	1	—	1	—	—	—
S3200 腰椎骨折（腰椎脱臼骨折）	計	10	1.7	535	53.5	—	—	3	—	3	2	2	—	—	—
	男	2	0.7	69	34.5	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	女	8	2.5	466	58.3	—	—	3	—	1	2	2	—	—	—
S3250 恥骨骨折（恥骨骨折）	計	2	0.3	123	61.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	123	61.5	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
S3280 腰椎及び骨盤のその他及び部位不明の骨折（骨盤骨折）	計	2	0.3	104	52.0	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	104	52.0	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
S4220 上腕骨近位端骨折（上腕骨頚部骨折）	計	1	0.2	48	48.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	48	48.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S5240 尺骨及び橈骨の両骨幹部の骨折（橈骨尺骨骨折）	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S5250 橈骨遠位端骨折（バートン骨折）	計	2	0.3	36	18.0	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	22	22.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
S7200 大腿骨頸部骨折（大腿骨頚部骨折）	計	5	0.8	187	37.4	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	5	1.6	187	37.4	—	—	—	2	3	—	—	—	—	—
S7210 転子貫通骨折（大転子骨折）	計	7	1.2	302	43.1	—	—	—	2	4	—	1	—	—	—
	男	2	0.7	79	39.5	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
	女	5	1.6	223	44.6	—	—	—	2	2	—	1	—	—	—
S7240 大腿骨遠位端骨折（大腿骨顆上骨折）	計	1	0.2	95	95.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	95	95.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S800 膝の挫傷	計	1	0.2	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	10	10.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
S8200 膝蓋骨骨折（膝蓋骨脱臼骨折）	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8230 脛骨遠位端骨折（脛骨天蓋骨折）	計	2	0.3	70	35.0	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	47	47.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	23	23.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
S8231 脛骨遠位端骨折（脛骨天蓋開放骨折）	計	1	0.2	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	21	21.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S8260 外果骨折（デュピトラン骨折）	計	1	0.2	53	53.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	53	53.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S8280 下腿のその他の部位の骨折（三果骨折）	計	2	0.3	166	83.0	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	166	83.0	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
S913 足のその他の部位の開放創	計	1	0.2	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	30	30.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S9200 踵骨骨折（踵骨骨折）	計	1	0.2	100	100.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	1	0.4	100	100.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S9230 中足骨骨折（中足骨剥離骨折）	計	2	0.3	66	33.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	66	33.0	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—
S934 足首の捻挫及びストレイン	計	1	0.2	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	14	14.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
T009 多発性表在損傷、詳細不明	計	1	0.2	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	2	2.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T0210 胸部＜郭＞の骨折、下背部及び骨盤部の骨折を伴うもの（胸椎圧迫骨折）	計	2	0.3	155	77.5	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	155	77.5	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—
T179 気道内異物、部位不明	計	1	0.2	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T200 頭部及び頸部の程度不明の熱傷	計	1	0.2	35	35.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	35	35.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T240 股関節部及び下肢の程度不明の熱傷、足首及び足を除く	計	2	0.3	85	42.5	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—
	男	1	0.4	15	15.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	70	70.0	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
T634 その他の節足動物の毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	2	0.3	4	2.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	4	2.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

ＩＣＤ１０コード別・在院期間別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31)

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
T676 熱疲労、一過性【熱及び光線の作用】	計	1	0.2	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	4	4.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T678 熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	3	0.5	18	6.0	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	2	0.7	11	5.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T814 処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.2	168	168.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	0.3	168	168.0	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
T835 尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	2	0.3	17	8.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	17	8.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
T850 脳室頭蓋内(交通性)シャントの機械的合併症	計	1	0.2	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	7	7.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
T911 脊椎骨折の続発・後遺症	計	1	0.2	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	13	13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Z470 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察＜フォローアップ＞ケア	計	2	0.3	21	10.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	21	10.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
Z501 その他の理学療法	計	5	0.8	240	48.0	1	1	—	—	2	—	1	—	—	—
	男	3	1.1	149	49.7	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—
	女	2	0.6	91	45.5	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
Z966 整形外科的関節挿入物の存在	計	1	0.2	28	28.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	28	28.0	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Z988 その他の明示された術後状態	計	3	0.5	103	34.3	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—
	男	1	0.4	58	58.0	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
	女	2	0.6	45	22.5	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—

日野病院組合 日野病院

疾病中分類別・上位疾病別・病名数

(2015/04/01-2016/03/31) 対象期間の全病名数598件

番号	順位	コード	分類名	件数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	平均年齢
1	1	079	水晶体の障害	66	11.0	997	15.1	77.5
2	2	102	インフルエンザ及び肺炎	42	7.0	1,290	30.7	85.9
3	3	096	その他の型の心疾患	40	6.7	1,521	38.0	85.7
4	4	116	腸のその他の疾患	28	4.7	334	11.9	73.1
5	5	023	消化器の悪性新生物	24	4.0	798	33.3	80.1
6	6	097	脳血管疾患	19	3.2	1,534	80.7	85.7
7	6	106	外的因子による肺疾患	19	3.2	1,043	54.9	89.2
8	8	119	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	15	2.5	450	30.0	87.5
9	9	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	14	2.3	762	54.4	82.1
10	10	204	股関節部及び大腿の損傷	13	2.2	584	44.9	85.5
11	11	105	慢性下気道疾患	12	2.0	424	35.3	82.9
12	11	149	尿路系のその他の疾患	12	2.0	260	21.7	87.8
13	11	185	消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	12	2.0	141	11.8	78.0
14	14	114	ヘルニア	11	1.8	141	12.8	76.2
15	14	191	全身症状及び徴候	11	1.8	209	19.0	85.9
16	14	199	胸部＜郭＞損傷	11	1.8	340	30.9	81.4
17	17	053	代謝障害	10	1.7	480	48.0	82.3
18	17	145	腎尿細管間質性疾患	10	1.7	589	58.9	77.2
19	19	131	関節症	9	1.5	345	38.3	76.8
20	20	001	腸管感染症	8	1.3	116	14.5	74.8
21	20	047	糖尿病	8	1.3	1,105	138.1	77.3
22	20	197	頭部損傷	8	1.3	517	64.6	86.3
23	20	205	膝及び下腿の損傷	8	1.3	324	40.5	68.1

部門別統計

日野病院部門別各種統計調べ(No.1)

（単位:件）

手術件数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
外科	81	75	65	64	47	52	5
整形外科	130	155	110	145	102	102	0
眼科	161	151	139	122	122	111	△ 11
泌尿器科	2	0	0	0	0	0	0
計	374	381	314	331	271	265	△ 6

（単位:件）

内視鏡検査	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
胃カメラ	729	655	695	674	606	641	35
胃透視	24	23	16	7	1	0	△ 1
大腸ファイバー	89	77	132	131	106	93	△ 13
嚥下造影	0	0	0	0	0	15	15
気管支鏡	7	12	18	13	9	6	△ 3
胃ろう造設術	19	18	12	14	13	14	1
膀胱鏡	33	36	54	55	29	20	△ 9
ステント交換	12	26	28	25	20	18	△ 2

（単位:件）

超音波診断検査	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
腹部エコー	773	642	589	543	497	634	137
心甲乳エコー	244	237	246	259	281	244	△ 37

（単位:件）

薬局状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
服薬指導（人数）	551	571	378	388	385	325	△ 60
服薬指導（件数）	1,036	1,074	643	660	711	509	△ 202
訪問服薬指導	127	97	94	81	21	0	△ 21
処方箋枚数	10,209	10,010	11,141	11,006	11,340	9,826	△ 1,514
薬剤数	25,471	27,567	30,693	32,249	34,085	30,420	△ 3,665
注射箋枚数	16,159	14,976	14,190	14,387	12,966	13,495	529
製剤数	665	877	862	774	822	697	△ 125
ＩＶＨ本数	3,131	1,902	1,831	1,696	745	2,223	1,478
疑義照会	539	587	632	597	543	558	15

（単位:人）

人工透析状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
実患者数	142	157	178	133	145	148	3
延べ患者数	1,536	1,734	1,938	1,552	1,714	1,804	90

（単位:件）

放射線室状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
一般撮影	5,293	5,563	5,729	5,811	5,821	6,197	376
ポータブル撮影	888	845	803	730	707	831	124
外科用イメージ撮影	57	72	45	71	55	48	△ 7
骨塩定量	332	321	578	465	540	565	25
マンモ撮影	51	36	29	23	15	9	△ 6
訪問撮影	33	52	83	77	74	71	△ 3
ＣＴ検査	1,564	1,657	1,732	1,626	1,554	1,555	1
ＭＲＩ検査	600	640	838	644	640	563	△ 77
計	8,818	9,186	9,837	9,447	9,406	9,839	433
遠隔読影	1,300	1,530	1,698	1,740	1,854	1,992	138

（単位:件）

検診実施状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
人間ドック	136	86	116	119	116	106	△ 10
人間ドック（ＭＲＩ含）	19	22	17	22	20	27	7
共済組合ドック	65	71	76	66	55	66	11
脳ドック	88	88	74	58	64	66	2
生活習慣病検診	124	136	128	133	122	119	△ 3
子宮がん	9	5	36	30	29	33	4
乳がん・マンモ	19	3	5	3	3	0	△ 3
骨塩	22	12	31	42	35	31	△ 4
原爆検診	6	7	8	6	4	4	0
原爆二世検診	1	1	1	0	4	0	△ 4
予防接種	1,628	1,722	1,542	1,609	1,778	1,993	215
特定検診	13	9	9	13	12	13	1
事業所健診	36	34	29	37	26	19	△ 7
計	2,166	2,196	2,072	2,138	2,268	2,477	209

日野病院部門別各種統計調べ（No.2）

（単位：件）

栄養管理室状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
入院時食事療養	63,016	66,148	64,536	64,526	67,097	64,485	△ 2,612
特別食加算	32,181	32,364	34,346	33,564	38,906	35,524	△ 3,382
食堂加算	21,447	22,514	21,917	21,716	22,759	21,925	△ 834
入院時延べ食数	63,016	66,148	64,536	64,526	67,097	64,485	△ 2,612
外来透析食数	955	881	806	884	878	888	10
栄養指導	586	532	548	532	515	519	4
訪問栄養指導	6	3	4	1	1	3	2
特定健診指導	5	11	1	1	0	0	0
その他検診等指導	6	25	120	195	206	236	30

（単位：件）

検査室状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
生化学セット	8,441	7,936	8,715	8,940	8,700	9,122	422
CBC	8,126	7,694	7,844	8,353	7,878	8,233	355
凝固検査	2,326	2,259	2,421	2,789	2,762	2,838	76
尿検査	6,020	5,785	5,346	5,249	5,064	5,236	172
心電図	1,758	1,740	1,727	1,726	1,668	1,685	17
呼吸機能	451	435	562	479	382	422	40
誘発筋電図	74	98	118	132	109	102	△ 7
眼底カメラ	312	277	292	273	257	271	14
脳波	18	15	19	23	25	12	△ 13
血圧脈波	44	62	58	23	120	116	△ 4
計	27,570	26,301	27,102	27,987	26,965	28,037	1,072

（単位：件）

理学療法状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
運動器Ⅰ	9,500	8,689	9,463	9,440	9,572	4,415	△ 5,157
運動器Ⅰ（維持期）	0	0	0	0	756	666	△ 90
呼吸器Ⅰ	1,410	1,529	1,960	952	1,253	1,638	385
脳血管Ⅱ	10,077	11,023	12,877	8,765	6,325	1,720	△ 4,605
脳血管Ⅱ（維持期）	0	0	0	0	203	325	122
徒手的処置	1,520	1,230	853	527	733	560	△ 173
器具的処置	1,617	1,388	744	378	182	98	△ 84
退院時指導	286	284	228	250	255	247	△ 8
退院前指導	69	96	91	92	90	100	10
地域包括ケア病床分	0	0	0	0	6,801	13,181	6,380

（単位：件）

作業療法状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
運動器Ⅰ	1,243	1,275	881	1,081	1,161	1,994	833
運動器Ⅰ（維持期）	0	0	0	0	127	120	△ 7
呼吸器Ⅰ	0	0	0	0	77	200	123
脳血管Ⅱ（脳）	2,250	2,647	2,666	2,145	1,953	820	△ 1,133
地域包括ケア病床分	0	0	0	0	803	1,471	668

（単位：件）

言語聴覚療法状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
脳血管Ⅱ（脳）	1,982	3,657	4,048	1,733	3,099	2,806	△ 293
摂食機能療法	525	737	785	514	667	1,496	829
地域包括ケア病床分	0	0	0	0	442	1,189	747

在宅介護支援事業関係

（単位：人）

訪問看護	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
実利用者数	370	373	455	395	451	513	62
延べ利用者数	1,897	1,822	2,062	1,785	1,815	1,734	△ 81

（単位：人）

訪問リハビリ	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
実利用者数	482	515	586	670	680	647	△ 33
延べ利用者数	2,015	2,360	3,046	3,524	3,530	3,448	△ 82

（単位：件）

居宅支援（介護）	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
件数	770	775	741	776	936	1,117	181

（単位：件）

居宅支援（予防）	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	差引
件数	267	288	344	389	524	499	△ 25

メディカルソーシャルワーカー業務統計（平成27年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助　　件数		363	279	287	351	305	272	369	361	406	322	398	467	4,180
入・外	入　院	251	155	220	275	220	172	253	295	316	253	273	346	3,029
	外　来	112	124	67	76	85	100	116	66	90	69	125	121	1,151
新・継	新　規	59	32	42	37	31	37	59	39	47	58	44	51	536
	継　続	304	247	245	314	274	235	310	322	359	264	354	416	3,644
援助内容	経済的・社会的問題の解決調整	34	22	9	20	13	27	40	56	43	51	86	71	472
	診療関係の援助	224	184	163	212	213	214	293	278	284	237	301	303	2,906
	人間関係の援助	52	35	38	88	45	61	89	91	70	97	90	111	867
	心理情緒的問題の援助	52	60	59	62	43	67	98	107	105	117	105	92	967
	社会復帰・退院援助	183	133	130	191	132	126	183	174	203	187	190	367	2,199
	関係（者）機関との連携・協力	212	164	163	250	151	175	243	253	265	212	273	307	2,668
面接等対象者	医　師	233	195	209	240	228	217	284	263	307	252	349	341	3,118
	看 護 師	158	115	162	156	176	136	169	185	179	172	228	217	2,053
	職　員	107	87	128	108	149	105	142	171	176	161	203	176	1,713
	本　人	184	155	186	237	153	145	219	234	237	218	217	281	2,466
	家　族	170	124	159	233	146	141	199	207	196	199	207	250	2,231
	関係機関	212	164	163	250	151	175	243	253	265	212	273	307	2,668
	そ の 他	1	0	0	3	5	8	2	0	0	0	0	10	29
援助方法	面　接	276	207	218	291	198	206	263	273	295	218	267	312	3,024
	協　議	61	55	64	52	100	65	94	78	90	91	106	114	970
	訪　問	2	2	7	3	3	9	12	6	6	11	8	17	86
	電　話	81	71	135	97	101	96	224	232	218	181	212	229	1,877
	文　書	165	106	92	82	116	88	121	113	150	107	141	133	1,414
新規紹介経路	医　師	46	21	34	26	24	30	39	30	38	43	38	39	408
	看 護 師	28	13	19	11	14	21	19	18	18	21	17	18	217
	職　員	18	8	9	8	10	11	9	14	17	20	10	15	149
	本　人	24	18	32	21	18	18	27	22	24	38	21	23	286
	家　族	16	10	24	16	13	12	27	17	11	32	15	15	208
	関係機関	35	22	31	27	20	29	51	31	37	48	31	38	400
	そ の 他	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	1	5

3、業　績

誌上発表

ご近所のお医者さん　季節と病気

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47635 号（平成 27 年 4 月 7 日発行）p27,2015

ご近所のお医者さん　さらば「五月病」よ

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 47656 号（平成 27 年 4 月 28 日発行）p27,2015

ご近所のお医者さん　ペットにご用心

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47677 号（平成 27 年 5 月 19 日発行）p23,2015

黒坂診療所１０周年

櫃田 豊

日野病院組合だより　せせらぎ　第 53 号（平成 27 年 5 月発行）p3,2015

南国土佐の思い出

玉井 嗣彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 53 号（平成 27 年 5 月発行）p3,2015

ご近所のお医者さん　ものもらいをケア！

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 47698 号（平成 27 年 6 月 9 日発行）p23,2015

ご近所のお医者さん　ハットウジって？

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47712 号（平成 27 年 6 月 23 日発行）p25,2015

米子ロータリークラブ第 3075 回例会 「2014-2015 年度最終夜間例会」乾杯挨拶（ロータリー参加の意義）

玉井 嗣彦

米子ロータリークラブ週報　№2232 号（平成 27 年 6 月 26 日発行）p1-2,2015

ご近所のお医者さん　はやり目にご注意

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 47732・3 号（平成 27 年 7 月 14 日発行）p27, 2015

ご近所のお医者さん　たばこ感受性

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47754 号（平成 27 年 8 月 4 日発行）p25, 2015

ご近所のお医者さん　目に何か入った！

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 47795・6 号（平成 27 年 9 月 15 日発行）p27, 2015

新公立病院改革ガイドラインについて

櫃田 豊

日野病院組合だより　せせらぎ　第 54 号（平成 27 年 9 月発行）p3, 2015

俳句、されど俳句 －趣味の世界－

玉井 嗣彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 54 号（平成 27 年 9 月発行）p3, 2015

ご近所のお医者さん　たばこ感受性と遺伝子多型

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47817 号（平成 27 年 10 月 6 日発行）p25, 2015

ご近所のお医者さん　悩ましい未熟児網膜症

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 47845 号（平成 27 年 11 月 3 日発行）p23, 2015

ご近所のお医者さん　糖質制限の功罪

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47859 号（平成 27 年 11 月 17 日発行）p25, 2015

柏木昭二先生を偲んで

玉井 嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより　第 32 号（平成 27 年 12 月発行）p38-39, 2015

網膜色素変性を巡る話題

玉井 嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより　第 32 号（平成 27 年 12 月発行）p44-45, 2015

ご近所のお医者さん　抗がん剤治療と眼症状

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 47886・7 号（平成 27 年 12 月 15 日発行）p27, 2015

日野病院便り —真の医療を求めて—

玉井 嗣彦

豊瞳（高知大学医学部眼科学教室同門会誌）第 18 号（平成 27 年 12 月発行）p50-51, 2015

－日野病院における地域医療教室－

櫃田 豊

日野病院組合だより　せせらぎ　第 55 号（平成 28 年 1 月発行）p3, 2016

新春所感　－我が民族の宗教心－

玉井 嗣彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 55 号（平成 28 年 1 月発行）p3, 2016

色覚検査に関心を

玉井 嗣彦

日本医事新報　№4784 号（平成 28 年 1 月 2 日発行）p77, 2016

ご近所のお医者さん　一般病院と教育

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47908 号（平成 28 年 1 月 5 日発行）p25, 2016

ご近所のお医者さん　認知症患者の眼治療

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 47935 号（平成 28 年 2 月 2 日発行）p25, 2016

ご近所のお医者さん　「いつまでもちますか？」

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47949 号（平成 28 年 2 月 16 日発行）p27, 2016

ご近所のお医者さん　眼科在宅医療の必要性

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 47970 号（平成 28 年 3 月 8 日発行）p27, 2016

ご近所のお医者さん　難しい余命予測

櫃田 豊

毎日新聞鳥取版　第 47991 号（平成 28 年 3 月 29 日発行）p25, 2016

「医・食・住」によるまちづくりの貢献

生田 哲二

全国自治体病院協議会雑誌　第 55 巻 第 3 号（平成 28 年 3 月発行）p1-5, 2016

学会等発表

１．学会

第 112 回日本内科学会中国地方会例会（平成 27 年 5 月 16 日　米子コンベンションセンター）
山間地域での医療介護福祉従事者の地域連携に対する意識調査
井上 和興、 松澤 和彦、 渡邉 ありさ、 大倉 裕子、浜田 紀宏、 谷口 晋一、武地 幹夫、
櫃田 豊

第 60 回山陰眼科集談会（平成 27 年 5 月 17 日 ニューウエルシティ出雲）
山陰は一つ －山陰眼科集談会の思い出－（山陰眼科集談会 60 回記念講演）
玉井 嗣彦

第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会（平成 27 年 6 月 12 日～14 日 つくば国際会議場）
地域連携に対する意識は医療と介護福祉で違うのか？
井上 和興、松澤 和彦、 渡邉 ありさ、 福井 裕子、 浜田 紀宏、 武地 幹夫、 櫃田 豊、
谷口 晋一

第 20 回日本緩和医療学会学術大会（平成 27 年 6 月 18-20 日 パシフィコ横浜）
気管切開カニューレに自作内筒を装着し長期生存が達成できた気管切迫閉塞症例
松波 馨士、櫃田 豊、 清水 英治

第 17 回　日本褥創学会（平成 27 年 8 月 28 日-29 日 仙台国際センター）
褥瘡治癒困難事例の在宅復帰 ～褥瘡の治療過程で変化する家族の関係と看護介入～
野坂 由貴子、生田　悠

第 54 回　全国自治体病院学会（平成 27 年 10 月 8-9 日 函館アリーナ）
看護補助者の感染対策を目標設定した成果
平石 美紀、池田 清香

第 10 回鳥取県看護研究学会（平成 28 年 2 月 6 日 鳥取県看護研修センター）
訪問看護師の視点から、在宅で療養生活を送る患者・家族に必要な看護支援について
長住 早紀、木村 多亜子

２．研究会　その他

米子ロータリークラブ第 3075 回例会（平成 27 年 6 月 26 日 米子全日空ホテル）

ロータリー参加の意義（「2014-2015 年度最終夜間例会」乾杯挨拶）

玉井 嗣彦

第 5 回　いのちのフォーラムｉｎ鳥取（平成 27 年 5 月 16 日 鳥取市 とりぎん文化会館）

石垣靖子とする難渋事例検討会

妹尾 小百合

ぽかぽか教室　講演（平成 27 年 6 月 26 日 リバーサイドひの）

しもぐろさかハツラツ ～めざせピンコロ～

田中 武志、中村 弓子

Ｔ-ＨＯＣ講義（平成 27 年 7 月 31 日 鳥取大学医学部附属病院）

地域・在宅での死を考える

小村 裕美子

第 23 回日本ホスピス・在宅ケア研究会　全国大会ｉｎ横浜（平成 27 年 8 月 29 日-30 日 パシフィコ横浜）

訪問看護介入事例より在宅緩和ケアの現状を振り返る

～箕岡氏の「在宅でのよい看取りを阻む要因」を用いた検討～

影山 光恵、濱田 辰美、毛利 富士美、森谷 静枝、小村 裕美子、中條 雅美

Ｔ-ＨＯＣひのセミナー（平成 27 年 9 月 10 日－11 日 リバーサイドひの）

山間地の訪問看護の実際

濱田 辰美

介護職員初任者研修に係る講義（平成 27 年 9 月 15 日 日野高校）

老化の理解：高齢者に多い病気と生活上の留意点

小村 裕美子

院内看護研究発表（平成 27 年 9 月 28 日 日野病院）

終末期患者の看護

田中 恵

インシデント事例対策の周知に向けた取り組み ～アンケート結果からみえたもの～

吉川 千明、瀬田 美価子、近藤 智富美

患者の問題が明らかになったことで退院できた一事例
山川 千秋、生田 絹子

KY ラウンドを振り返り医療安全の意識調査を行って見えてきたこと ～継続は力なり～
山川 千秋、生田 絹子

看護補助者の感染対策を目標設定した成果
平石 美紀、池田 清香

外来継続看護への取り組みに関する現状と課題
岡本 直子、長尾 加奈子、森川 実保、亀尾 加奈子、田中 美香、竹永 真由美

個別性の看護が見える記録 ～実態調査でわかったこと～
吉川 玉枝、三好 妙子、山川 千秋

H27 年度日野町健康講座（平成 27 年 9 月 28 日 日野町山村開発センター）
ダイナミックストレッチを利用した健康作り
田中 武志

日野町舟場敬老会（平成 27 年 10 月 18 日 日野町舟場）
百寿者調査で分かった長生きの条件
櫃田 豊

第 8 回鳥取県実践が活きる看護診断研究会（平成 27 年 11 月 28 日 鳥取県民ふれあい会館）
終末期患者の不安に対する看護 ～中範囲理論より看護介入を振り返る～
安達 節子、妹尾 小百合、生田　悠

鳥取県西部自治体病院看護研究発表会（平成 27 年 12 月 12 日 西伯病院）
インシデント事例のフィードバックと対策の取り組み　～アンケート結果からみえたもの～
吉川 千明、瀬田 美価子、近藤 智富美

個別性の看護が見える記録 ～実態調査でわかったこと～
吉川 玉枝、三好 妙子、山川 千秋

がん看護コース　特別講座（平成 28 年 2 月 13 日 米子医療センター）
訪問看護師の視点から、在宅で療養生活を送る患者・家族に必要な看護支援について
妹尾 小百合

ご近所のお医者さん

（毎日新聞鳥取版）

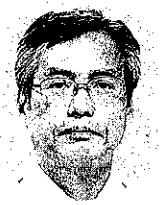
櫃田　豊　病院長

2015年（平成27年）4月7日 毎日新聞 鳥取版

ご近所のお医者さん

298

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん



春の訪れとともに、鳥取県ではインフルエンザ警報が解除されました。まだ注意報レベルとはいえ、ようやくインフルエンザの流行に収束の兆しが見えてきました。その代わりに増えているのが花粉症です。言うまでもなく2月に始まったスギ花粉の飛散が今ピークを迎えているからです。

インフルエンザや花粉症のように、特定の季節に集中して現れる病気を季節病と呼ぶことがあります。12月から2月にかけての冬に増加する脳卒中や心臓病、7月から9月の夏に多発する熱中症や食中毒、9月から11月の秋に悪化しやすい気管支喘息なども身近な季節病と言えるでしょう。季節ごとにかかりやすい病気をあらかじめ知っておくことは、健康を自己管理する上でとても有用です。

季節病の発症には、当然のことながら季節の環境、すなわち気温や湿度、植物の生育や微生物の増殖などが大きな役割を演じますが、発症要因はそれだけではありません。実は私達自身の問題も少なくないのです。元来、私達には季節の環境に適応する能力がありますが、しかし、完全に季節の環境に慣れるのには数週間という期間を必要とします。その間は季節に対する「抵抗力」が弱いため季節病にかかる可能性はより高くなります。

季節と病気

季節の環境に私達が適応した状態を馴化（じゅんか）と言い、暑い季節には暑熱馴化、寒い季節には寒冷馴化が起こります。暑熱馴化が完成すると、同じ体温でも出る汗の量は増え、皮膚の血流も増加します。体から熱が放出されやすくなるので体温の上昇は少なくなります。その結果、暑さに対して楽に過ごせるようになります。一方、暑熱馴化ほど顕著ではありませんが、寒冷馴化すると寒さに対して皮膚血流の低下や体内での熱産生がある程度増強します。

熱中症は体温の異常な上昇により引き起こされるさまざまな臓器障害の総称です。前述したように熱中症は夏の代表的な季節病ですが、その発症にはしばしば不十分な暑熱馴化が関係します。熱中症を避けるためには夏のなるべく早い時期にしっかりと暑熱馴化を図る必要があります。そのために推奨される方法は、大量の汗をかくことです。ジョギングやウォーキング、自転車などの運動、半身浴やサウナが効果的とされています。休憩と水分補給を十分に行い、体力に応じて無理のない範囲で挑戦してみてはいかがでしょう。

2015年（平成27年）5月19日 毎日新聞 鳥取版

ご近所のお医者さん

□303□

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん

ペットにご用心

最近、私の外来に通院している76歳の男性患者さんが咳・痰、微熱、食欲不振を訴えました。患者さんは糖尿病、高血圧症に加え、肺アスペルギルス症で治療中でした。肺アスペルギルス症は、アスペルギルスというカビに対するアレルギー反応により喘息症状や肺炎を繰り返す病気で、気管支拡張を合併するという特徴があります。

患者さんの胸のレントゲン写真を見ると、肺炎の影がありました。肺アスペルギルス症の悪化のためだろうと考えて検査しましたが、その兆候はありません。繰り返して痰の検査をしたところ、パスツレラ菌という細菌が検出されました。

この聞き慣れない菌について調べると、実は多くの哺乳動物の口腔内に常在し、特にネコでは100％、イヌでは75％程度の個体が保有していることが分かりました。この菌の感染により発症する病気はパスツレラ症と呼ばれ、肺炎、気管支炎、蜂窩織炎、敗血症などによる多彩な症状を呈するとのこと。高齢者や糖尿病などの持病のある方は抵抗力が低下しているため重症化し易いこと、気管支拡張症があると肺炎を発症する危険性が高いことが指摘されていました。

患者さんにペットについて尋ねたところ、ネコを飼っていて、しかも溺愛しているとの返事でした。この時点でパスツレラ症を疑い、菌に感受性のある抗生物質を投与しました。すると、症状は軽快し肺炎も消失しました。

一般に、動物からヒトに感染する病気は人獣共通感染症というグループに分類されます。多くの種類があり、一説では150種類以上と言われています。日本でも約50種類が確認されていて、そのうち30種類ほどがパスツレラ症のようなペット由来の感染症です。

公衆衛生対策の向上により、近年、人獣共通感染症は減少してきました。しかし、ペット由来の感染症については今後増加すると予想されています。理由として、ペットの種類や数が増加していること、屋内での飼育が増加傾向にあること、高齢者などの免疫低下者によるペット飼育が増加していることなどが挙げられています。

ペットと一緒に健康で豊かな生活を送るために以下の点に留意しましょう。過剰なスキンシップや口移しで餌を与えるなどの濃厚な接触は避けましょう。手洗いを励行しましょう。ペットと飼育環境を清潔に保ちましょう。糞尿は速やかに適切に処理しましょう。

2015年（平成27年）6月23日 毎日新聞 鳥取版

ご近所のお医者さん

308

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん

10年程前に私が日野病院に勤務し始めた頃でした。「ドライブをしていたら窓から何かが飛び込んできて目の上に当たった。しばらくして、そこが赤くなってヒリヒリするので診てほしい」という患者さんが当直中にやって来ました。確かに、患者さんの片方の額からまぶたにかけて、淡い発赤がありました。

患者さんによると、当たった直後に何とも言えない臭いがしたので、あわてて近くの店に飛び込み水道を借りて顔を洗ったとのことでした。それを聞いていた看護師さんが「ハットウジかな」とつぶやきました。初めて聞く言葉でしたので「それは何？」と尋ねると、「カメムシのことです。この辺りではそう呼んでいるんです」という返事でした。

ハットウジって何？

カメムシが外的な刺激（衝突もその一つでしょう）を受けると、特有の臭いのする体液を放出することはよく知られています。調べてみますと、この液にはアルデヒド類が含まれていて、皮膚に付着すると皮膚炎（カメムシ皮膚炎と呼ばれることがあります）を起こすことが分かりました。

この患者さんの場合、付着した体液を洗い流したためか軽症で済みましたが、ひどい場合には皮膚に潰瘍を作ることもあるようです。看護師さんのアドバイスに感謝しつつ、患者さんにはステロイド軟膏を処方し、帰宅していただきました。

ところで、ハットウジという呼び名ですが、主として中国山地東部で使われているようです。同じ鳥取でも平野部にお住いの方にはあまり馴染みがない言葉だと思います。語源は不明ですが、岡山県備前市にある八搭寺というお寺と関係があるとの説があります。

カメムシは果汁や稲穂の米汁などを吸う害虫ですので、日野のような農業の盛んな地域に大量に発生します。農作物に被害を与える以外に、しばしば人家に侵入し、その臭いで住人を悩ませます。越冬のために集団を作る習性があり、冬場に日当たりの良い窓のサッシを埋め尽くす様には驚かされます。光に向かって飛びますので、上述したような事態も起こり得ます。

さて、あなたは家の中でカメムシを見たらどうしますか？　日野地域で行われている方法をお教えしましょう。ガムテープを適当な長さに切って、接着面にハットウジを引っ付けます。次にハットウジを包むようにガムテープを折りたたみ、隅をしっかり押さえます。あとはごみ箱に捨てるだけです。是非お試しください。

2015年（平成27年）8月4日 毎日新聞 鳥取版

高齢化の進展とともに死亡原因として急速に増加すると予測されている病気に慢性閉塞性肺疾患があります。英語の頭文字をとってしばしばCOPD（シーオーピーディー）と呼ばれます。COPDの本質はたばこの煙などを吸入することで起こる肺の炎症と理解されています。たばこを吸い続けると炎症は持続します。それに伴って肺の組織は少しずつ破壊され、肺の機能が徐々に失われていきます。禁煙しなければ進行は止まらず、最終的に呼吸不全で命を縮めることになるのです。

ご近所のお医者さん

□313□

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん

たばこ感受性

以前より、たばことCOPDの関係について興味深い問題が指摘されています。COPDを発症するのは喫煙者の一部に限られるというものです。このような「たばこ感受性」を有する喫煙者は全喫煙者の10～15％と言われています。最近、「たばこ感受性」により病状が大きく異なった2人の患者さんを経験しました。患者さん達が兄弟であったことで、その違いが一層際立って感じられましたのでご紹介します。

75歳の男性が血糖のコントロールのため日野病院に入院しました。数年前より糖尿病で通院していましたが、飲酒量が増えたため食事が不規則となり、低血糖発作を繰り返すようになったためです。患者さんは時々痰のからんだ咳をしていました。20歳の頃より1日50本のたばこを吸い続けているヘビースモーカーでしたので肺活量検査やCT検査を行いました。結果は予想外で、ほとんど異常が認められませんでした。

この患者さんの入院中、2歳違いのお兄さんが息苦しさのために動けなくなり、緊急入院しました。同じような喫煙歴を持つヘビースモーカーで、10年くらい前にCOPDと診断されていました。しかし、治療はせず、喫煙を続けていました。

入院時には顔や手足にむくみがあり、指趾の先端は紫色でした。動脈血の酸素濃度は低く、炭酸ガス濃度は上昇していました。CT検査では肺の組織が破壊された時に出来る大小の穴が両肺全体に広がっていました。その他の検査所見から、肺炎を併発したためにCOPDが急に悪くなったと状態と診断しました。抗生物質の投与などを行ったところ、現在は小康状態となっています。

さて、「たばこ感受性」は何によって決められているのでしょうか？　その有無を前もって知ることは可能でしょうか？　次回、これらの疑問にお答えしようと思います。

2015年（平成27年）10月6日 毎日新聞 鳥取版

前回、喫煙者の中には10～15％程度ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患）になりやすい人、すなわちたばこ感受性を有する人がいるということをお話ししました。今回は要因としてどのようなものが想定されているかについてお話しします。

喫煙により肺は障害されますが、障害の大部分はたばこそのものではなく、たばこにより引き起こされる炎症に起因します。炎症の場に集まった好中球やマクロファージなどの細胞は、蛋白分解酵素や活性酸素など肺を障害し得る種々の攻撃因子を放出しますが、肺はある程度まで耐えることができます。蛋白分解酵素の働きを阻害する物質や活性酸素を無毒化する抗酸化物質などの防御因子が豊富に存在しているからです。攻撃因子が防御因子を凌駕するようになると、肺の障害が始まります。

たばこ感受性には遺伝的な素因、具体的には攻撃因子や防御因子の遺伝子多型が関与していると考えられています。遺伝子多型とは遺伝子を構成している塩基配列の個体差です。たばこ感受性と遺伝子多型の関係が認識されるようになったきっかけは「アルファー１アンチトリプシン」（以下、ＡＡＴと略します）欠損症の存在でした。ＡＡＴは肝臓で合成され、血流により肺に運ばれます。そして、好中球由来の蛋白分解酵素を阻害する強力な防御因子として働きます。ＡＡＴの量は両親から受け継いだ一対のＡＡＴ遺伝子の組み合わせで決まります。ＡＡＴ遺伝子には90種類以上の多型があり、ある組み合わせでは血液中のＡＡＴ濃度は極めて低値となります。この状態がＡＡＴ欠損症で、肺で攻撃因子が優位となり、喫煙が加わると肺はより強く障害されます。

残念ながら、ＡＡＴの遺伝子多型のみではたばこ感受性の全てを説明できません。ＡＡＴ欠損症の頻度はＣＯＰＤ全体の1～2％（日本ではさらに少ない）に過ぎないからです。現在、ＡＡＴ以外の数多くの攻撃因子、防御因子の遺伝子多型が検討されています。例えば、日本人を対象にした研究で、マクロファージ由来の蛋白分解酵素であるマトリックスメタロプロテアーゼ－9の遺伝子多型とＣＯＰＤの発症率に関連性が認められたとの報告があります。

たばこ感受性を規定する遺伝子の全貌が明らかになれば、ＣＯＰＤの予防に画期的な進歩が期待できます。

ご近所のお医者さん

318

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん

たばこ感受性と遺伝子多型

2015年（平成27年）11月17日 毎日新聞 鳥取版

今回のお話のきっかけは、10年程前から毎年日野病院で人間ドックを受けている40歳代の女性の検査結果です。肥満があることから食べ過ぎに注意して適度な運動を心がけるようしばしばアドバイスされていました。

今年の血液検査の結果を見て驚きました。LDLコレステロール（いわゆる悪玉コレステロール）の濃度が2倍以上に高くなっていたのです。「ダイエットをしてまで頑張ったのに」と嘆く女性の体重は確かに昨年より5キロ近く減っていました。どんな風に頑張ったのかたずねると、糖質制限ダイエットという言葉が聞かれました。

ご近所のお医者さん

□323□

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん

糖質制限の功罪

糖質制限ダイエットとは、ご飯やパン、麺類、ジャガイモのような糖質（炭水化物）が多く含まれる食品を控えるダイエット法です。原則として蛋白質や脂質を多く含む食品の摂取は自由で、その手軽さからダイエットを目指す人の間で人気となっています。また、食後の急激な血糖上昇を起こさないことから、最近では糖尿病の食事療法としても注目を集めています。

糖質制限ダイエットの特徴は効果をすぐに実感できることにあるようです。実際、前述の女性も糖質制限を始めて数日以内に体重が減り始めたと言っています。他のダイエット法に比較して体重減少効果が大きいことも大規模な臨床試験で確かめられています。その試験では糖質制限食、脂質制限食、地中海食（オリーブオイルを多く用いた野菜、魚介類中心の料理）の三つの食事が比較されました。

このような多くの利点が強調される半面、糖質制限ダイエットには問題点も指摘されています。その一つが、減らした糖質を補うために生じる蛋白質、脂質のとり過ぎです。蛋白質を多めにとり続けると腎臓に負担をかける場合があります。多めの脂質をとり続けると動脈硬化が進展し、脳卒中や心筋梗塞のリスクが高まります。

さらに、今回お示したように、一部ですがLDLコレステロールが高度に上昇する方がおられるのも問題です。この状態が続くと動脈硬化の進展が危惧されます。ただし、糖質制限時には動脈硬化の真の原因である小粒子LDLコレステロールは増えていないので、それ程問題ないとの意見もあります。いずれにしても長期の糖質制限ダイエットが体にどのような影響を及ぼすかについては不明な点が少なくなく、さらなる検討が必要です。

2016年（平成28年）1月5日 毎日新聞 鳥取版

ご近所のお医者さん

328

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん

一般病院と教育

この頃、大学病院だけではなく一般病院でも医学生をよく見かけるようになったとお感じになりませんか？実際、日野病院でも2011年より医学科の1、4年生がそれぞれ早期体験・ボランティア、地域医療体験実習のために、14年に鳥取大学地域医療総合教育研修センターが設置されてからは6年生が臨床実習のためにやって来ています。

従来、大学病院が「診療」「教育」「研究」の三つの役割を担っているのに対し、一般病院は主に「診療」のための施設とされてきました。しかし、最近になり医学教育に占める一般病院の役割が増しています。その理由は07年以降の医学教育モデル・コア・カリキュラムの地域医療重視の方向性です。具体的には、入学早期から実施されている地域の保健・医療・福祉・介護などの機関における「早期体験学習」、主として3～4年次に実施される「社会医学実習」、臨床実習時における「地域医療臨床実習」が推奨されています。これらは地域医療の現場でなければ効果的に実施することは困難です。

将来的には、一般病院には医学教育へのさらなる貢献が求められることになりそうです。というのは、日本が国際標準の医学教育認証評価制度の導入を目指しているからです。国際標準をクリアするためには、臨床実習期間が概ね2年間あること、診療参加型臨床実習であること、多職種連携を円滑に行い患者との接触機会を十分確保し、プライマリーケア診療を含めることなどが必要とされています。このような教育内容を大学病院だけで完結することは容易ではないのです。

医師の卒後教育においても一般病院の果たす役割は大きくなっています。従来、卒業後の臨床研修はほとんど出身大学で行われていましたが、04年に新制度が導入されて以降は一定の条件がそろった病院、すなわち研修指定病院であれば、大学病院でも一般病院でも研修先を自由に選択できるようになったからです。現在、鳥取県内には鳥取大学病院など八つの研修指定病院があります。日野病院はそれらのうち七つの病院の協力施設となっています。協力施設では1カ月間の地域医療研修が行われます。日野病院で地域医療研修を行った研修医は06年以降20人を数えます。

一般病院における医学教育や臨床研修を通して、将来地域医療を志す医師が1人でも増えることを願ってやみません。

2016年（平成28年）2月16日 毎日新聞 鳥取版

先日、私が受け持っていた患者さんが亡くなりました。肺癌のため右肺の大部分を切除した患者さんでした。酸素吸入をしながら何とか自宅で療養していましたが、肺炎を併発し1年前に入院。呼吸状態が悪く、人工呼吸器を着けました。肺炎は良くなりましたが、呼吸状態は思ったほど回復しませんでした。そのため、人工呼吸器を外すことが出来ず、着けたままの状態が続くことになりました。

4カ月前に脳梗塞を発症してからは意識レベルが低下し全身の消耗も進んでいました。

ご近所のお医者さん

□333□

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん

ご家族を呼んで患者さんの状態を説明したところ、ご家族から「いつまでもちますか？」と尋ねられました。その時、私は「1カ月くらいでしょうか」と答えました。特に根拠があった訳ではなく、今までの経験から判断した期間でした。ところが、その2日後に患者さんは亡くなりました。

医師にとって終末期の患者さんの余命を予測することは簡単ではありません。少し前になりますが、それを明らかにした研究があります。1995年にアメリカのシカゴで行われ、343人の医師と、彼らがホスピスに紹介した468人の患者さんが参加しました。医師に電話して彼らが予想した余命を尋ね、それらを実際の余命と比較しました。

「いつまでもちますか？」

実際の余命を予測した余命で割り、その値が0・67から1・33の間（33％の誤差範囲内）にあれば正確、0・67より小さければ過度に楽観的（予測した余命が実際の余命より長かった）、1・77より大きければ過度に悲観的（予測した余命が実際の余命より短かった）としました。結果として、わずか20％の患者さんでしか余命が正確に予想されませんでした。興味深いのは、予想された余命の多く（63％）が過度に楽観的であったという点です。

私もそうであったように、何故、医師は患者さんの余命を長めに予想しがちなのでしょうか。それに対して、この論文のコメンテイターの1人は次のような意見を述べています。医師―患者関係が長くなるにつれて、医師は患者さんに死期が迫っているということを認めたくなくなるのではないか。さらに、1日でも長く生きたいという患者さんやご家族の希望がその考えを一層強いものにするのではないか。確かに思い当たる所があります。

さて、終末期の患者さんの余命をより正確に予想するために、現在までいくつかの方法が提案されています。次回、お話しします。

2016年（平成28年）3月29日 毎日新聞 鳥取版

前回、医師にとって終末期の患者さんの余命を予測することは決して容易ではないことをお話ししました。さらに、医師は患者さんの余命を実際より長めに予想しがちで、患者さんに死期が迫っていることを認めたくないという主治医としての感情がそうさせるのかもしれないということもお話ししました。

このような医師の過度に楽観的な余命予測は、特に癌患者さんに大きな弊害をもたらす可能性が指摘されています。すなわち、緩和ケアの導入までの期間が長くなるという問題です。そうなると、除痛のための医療用麻薬の投与が遅れ、抗がん剤投与などの苦痛を伴う延命的な治療が続けられることになります。このような弊害を少なくするため、2006年に成立した「がん対策基本法」では、緩和ケアは終末期だけでなく、治療の初期段階から積極的な治療と並行して行うことを求めています。

医師の余命予測をより正確にするために推奨されているいくつかの方法があります。その一つは余命予測を主治医以外の経験豊富な医師に任せるというものです。その根拠が前回お示しした研究で示されています。すなわち、臨床経験年数の上位四分の一に入る医師たちの余命予測が他のグループに比較して最も正確でした。さらに、患者さんと接した期間が長いほど、また、患者さんと最後に接した日が近いほど予後予想の正確性が低下しました。

難しい余命予測

もう一つの方法は患者さんの活動状態や機能なども考慮した、より客観的な指標を用いる方法です。例えば、週～月単位の余命を予測する指標にpalliative prognosis scale(PaP)があります。これは、主治医の主観的判断による臨床的な余命予測に加え、日常生活活動レベル、食欲不振、呼吸困難感、血液中の白血球数、リンパ球の割合を点数化し、それらの合計を算出します。この点数が9点以上の場合、患者さんの余命は21日以下（週単位）の可能性が高く、5・5点以下では30日以上（月単位）の可能性が高いと判断されます。死亡直前のようなより短い（日～週単位）余命予測にはpalliative prognostic index(PPI)という指標が用いられることがあります。

これらの指標はもともと癌患者さんを対象に開発されたものです。しかし、その後の研究で、癌でない患者さんにも幅広く応用可能であることが明らかにされています。

ご近所のお医者さん 338

日野病院（日野町）
櫃田　豊さん

ご近所のお医者さん

（毎日新聞鳥取版）

玉井　嗣彦　名誉病院長

毎　日　新　聞

2015年（平成27年）4月28日（火）　鳥取　27

月日がたつのは早いもので、まもなくすがすがしい風薫る5月を迎えます。「目には青葉　山ほととぎす　初鰹」の心境ですが、5月は季節の変わり目で不安定な時節です。

世間では4月に新年度を迎えて精神的に緊張を強いられる生活が続き、そこをうまく乗り越えられない場合には、5月になって一気に疲れがでてきます。心身の負担と気候条件が重なって、いわゆる「五月病」の発生をみますが、くれぐれもご用心下さい。

情報化社会の今日、誰しも長時間にわたってワープロ、パソコンを使用した場合、目の疲れを感じるものですが、「五月病」が疑われる場合には、かすむだけでなく、痛む、まぶしい、充血する、しょぼしょぼする、涙がでるなどの目の疲れ以外の症状がいろいろみられます。症状が高じて肩こり頭痛、吐き気などの症状が出てくる場合もあります。

眼科的には老眼の始まりとか、遠視、斜視のある人、弱視はもとより左右の目の屈折度が違う不同視の場合とか、時節がら花粉症やドライアイ（眼乾燥症）にかかっている人や、緑内障や白内障などの病気のある方は疲労しやすいです。内科的には、貧血、低血圧、肝臓や腎臓の疾患、胃腸の病気がありますと、目に疲れが現れます。

働く環境も大切で、紫外線や放射線に曝露された環境などは論外として、非常に照明が暗いとか、逆に明るすぎるとか、ひどい騒音のなかで働いている、あるいは夜勤を含めて就業時間が非常に長い場合などが関係することが多いです。

この種の患者さんにお目にかかった場合、私はよくお話を聞いて眼科的に異常がなければ、まず内科、ついで心身の疑いが濃い場合には、心療内科を紹介しています。あわせて職場環境に問題があると思われる場合には、容易なことではありませんが、できるだけ見直していただくよう関係する人々にアドバイスしています。

リードする立場の方々には、古き良き伝統は温存しつつ、常に危機感を持って職場環境を変革し、継続して改善に努めるよう努力していただくことが、この種の患者さんを一人でも少なくするために大切なことだと思います。思いやりのある社会の実現こそ、悩ましい本症の発生を未然に防ぐ最善の良薬です。

さらば「五月病」よ

さらば「五月病」を目指して、みんなでさわやかな5月を迎えたいものです。

ご近所のお医者さん　301

日野病院（日野町）
玉井　嗣彦　名誉病院長

毎　日　新　聞

2015年（平成27年）6月9日（火）　鳥取　23

ご近所のお医者さん

306

日野病院（日野町）
玉井 嗣彦　名誉病院長

昔から民衆になじみの深い眼瞼の縁（瞼縁部）の病気の一つに、眼瞼が腫れて痛いにもかかわらず、たいてい放置しても自然に治ることが多かった「ものもらい」があります。

病名の由来は、この病気にかかったとき、よその家に行ってなにか貰って食べると治るというまじないからきており、歓迎されざる病気にもかかわらず憎めない疾患であったことを物語っています。

山陰地方では近畿地方と同様に「めばちこ」「めぼ」とも言いますが、かつて在住した高知では「めぼう」とも言っていました。地方によっていろいろな呼び名があり、30を下らないと言われていますが、病名そのものを口にするとわざわいを招くというので、熊本地方では「おひめさん」

という愛くるしいニックネームがつけられています。

正式には「麦粒腫」と言いますが、ドイツ語の「ゲルシュテンコルン（大麦の粒）」の病名を直訳してつけたものです。

瞼縁部の外側、睫毛の生え際を中心に膿がたまって腫れる「外麦粒腫」と、内側にできる「内麦粒腫」があります。専門的には、前者は睫毛皮脂腺（ツアイス腺）、後者は瞼板腺（マイボーム腺）の急性化膿性炎症ですが、その起炎菌には「黄色ブドウ球菌」が多いとされています。

ものもらいをケア！

発赤腫脹部の中央部に白い膿点が現れ、自潰すると自然治癒に至ることが多いのですが、通常、全身的に抗生物質を投与し、局所的には抗生物質の軟膏塗布や一日数回の点眼治療をします。ぶよぶよした感じに触れるか膿点をみたら小切開により排膿をはかります。

右眼から左眼といった具合に、次々と発症する場合には、一度全身検査をして、抵抗力の弱る病気にかかっていないか調べる必要があります。糖尿病の方などは感染症にかかりやすく、よくこういった症状がでることがあります。

鑑別すべき疾患にはマイボーム腺の慢性肉芽腫性炎症である「霰粒腫」があります。ドイツ語の「ハーゲルコルン（霰の粒）」の病名の直訳ですが、急に発症して発赤と圧痛を伴う特殊なタイプもあります。治療は通常、結膜面から切開して内容掻爬、摘出などを行います。高齢者ではマイボーム腺の癌と鑑別を要することがあります。

「ものもらい」は放置しても視力障害など生じませんが、跡形を残さないためにも、愛称が「おひめさん」である限り、早期ケアで対応したいものです。

毎日新聞

2015年(平成27年)7月14日(火)　鳥取　27

「はやり目」の代表である「流行性角結膜炎（通称流角）」は、夏季をピークとする季節変動のみられる疾患でしたが、地球温暖化の影響でしょうか、最近では季節を問わず発生をみていますので、日常細心の注意が必要です。

本症は通常、アデノウイルス8型（ときに4型、7型、19型、37型）の感染により発症します。かって話題にしたアデノウイルス3型が主原因の「咽頭結膜熱（プール熱）」が子供に多くみられるのとは異なり、年齢に関係なく発症し、プール

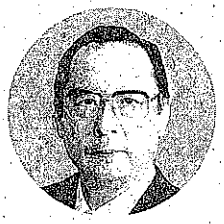
ご近所のお医者さん

□311□

日野病院（日野町）
玉井　嗣彦　名誉病院長

熱が5～6日程度と潜伏期間が短いのに対して、1～2週間と若干長い特徴があります。

その他、本症では耳前リンパ節の腫れが特徴的で、鑑別診断上有用な所見となります。



高度な発熱、感冒症状などは、プール熱の際には80％にみられますが、本症ではほとんどみられません。

発病しますと1週間で充血、流涙、水様性の眼脂、異物感など目が開けられないほどのひどい症状がでます。これらの症状が1週間程度続いた後、自然に1週間ほどで症状が寛解し、治癒にいたります。しかし経過中、上皮性角膜炎のみられるものでは、眼痛、異物感に加えて羞明がいつまでもみられ、角膜にいわゆる〝ほし〟が生じた場合には、消えるまでに1～2年かかることがあります。

はやり目にご注意

現在のところ、アデノウイルス自体を撃退する薬はないので、炎症を抑えるためのステロイド点眼や細菌の混合感染を避けるための抗生物質点眼で対応します。しかしステロイド点眼の際には、眼圧上昇や2次感染を引き起こす危険がありますので、医師の指示に従って、長期にわたる点眼は避けてください。

その他、角膜保護剤の点眼投与で対処しますが、抗アデノウイルス点眼薬のない今日、本症は接触感染によって伝播するので、患者さんに用いた器具や患者自身が触れた場所はその都度、消毒用アルコールで完全に滅菌する必要があります。

診察時には、できるだけ患者さんに直接触れない検査器具を使用して診療します。触れる場合にはゴム手袋の使用が必須となります。診断確定後は1週間程度、感染防止のため患者さん自身をそれぞれの現場から隔離する必要があります。

手洗い励行が感染防止の基本ですが、本症を未然に防ぐためには「さわらぬ神に祟りなし」の防御姿勢だけでは、家中、学校中、職場中、医療施設中の感染は防げません。眼科感染対策にご協力を！

毎日新聞
2015年(平成27年)9月15日(火) 鳥取 27

目に何かが入って眼科を受診される患者さんは日常診療上珍しくありません。この「何か」が「何であるか」によって、また眼のどの部分に入ったかによって、放っておいても自然に治るものから、重篤な視力障害を残すものまで、いろいろあります。特に薬品などの化学外傷は重篤な後遺症を残すことが多いので初期治療が重要です。

薬品が入った場合、原因物質が何であれ、まず洗眼して飛入した薬剤を希釈することが大切です。直接水道水で洗ってもらっても構

ご近所のお医者さん

316

日野病院(日野町)
玉井 嗣彦名誉病院長

いませんし、水を満たした洗面器に顔を漬けて洗眼するのも一つの方法です。その際、持続的に10分以上は洗眼してもらった方がよいでしょう。眼科を受診してもらうのは、その

後のことです。

化学薬品が酸性の場合、角膜上皮細胞の脱落は広範囲に及ぶことが多いですが、角膜深部への影響は比較的少ないです。一方、アルカリ性の場合は組織への浸透性が高いため、角膜の上皮障害だけでなく、角膜内皮障害、併発白内障、ときには続発緑内障を生じることもあります。

受傷早期からのステロイド剤の内服と点眼は、炎症を消炎させるために治療として必須

目に何か入った！

です。感染の危険性がなければ、治療用ソフトコンタクトレンズの連続装用も有効です。

また農薬の場合は、単に酸・アルカリの障害だけでなく、農薬自身あるいは添加物の毒性のために眼障害が生じることがあります。いずれにしても、受傷早期に徹底的に洗眼を行い、薬剤濃度を下げることが最重要なことには変わりません。

天ぷら油が入った場合は、眼瞼、結膜、睫毛、角膜に火傷を起こすことがあります。組織表層のタンパク質が熱によって凝固を起こしますが、表在性であり、一般的に予後は良好です。緊急治療は、洗眼して温度を下げることです。後の治療は化学外傷に準じます。

虫が入った場合は、眼表面の異物と同様に扱います。ただ注意が必要なのは、蜂などに刺された場合です。農業従事者、養蜂家、ハイカーなどが偶発的に刺されて発症します。季節的には、蜂の繁殖する7～10月が多いと言われています。

昆虫の持つ毒素が角膜へ刺入されると、角膜実質炎と浮腫が生じます。通常、ステロイド剤の内服・点眼が奏効しますが、刺入毒素に対する過敏反応であるアナフィラキシーショックにより死亡する例もあり、蜂などの虫刺されには、特に慎重な対応が望まれます。

毎　日　新　聞

2015年(平成27年)11月3日(火)　鳥取　23

皆様ご存じのWHO（国連世界保健機構）は在胎37週未満で出生した新生児を未熟児と定義しています。網膜の血管は胎生14週頃から視神経乳頭より網膜上に伸び始め、40週頃にはほぼ網膜の鋸状縁と呼ばれる周辺部まで達します。この網膜血管の伸びには血管内皮細胞増殖因子（VEGF）の産生・消失が絡んでおり、出生後の高酸素状態がVEGF産生の停止を呼び起こすことから出生後の酸素管理が大切です。今日では新生児の全身に影響を与えない程度の低酸素状態に維持することが、普及著しい新生児集中治療室（NICU）で行われています。

ご近所のお医者さん □321□

日野病院（日野町）
玉井 嗣彦 名誉病院長

我が国では未熟児に発症する本症を未熟児網膜症（ROP）と呼称していますが、本症の実態は「未熟網膜起因性網膜症」で、異常な血管結合織の増殖が硝子体内部まで生じた場合、網膜剥離を起こして失明に至ります。

しかし、ROPが発症しても全例が網膜剥離まで進行するわけではなく、80％以上が自然治癒し、そのうち60％以上はほとんど瘢痕を残さないと言われています。不幸にして劇症のため網膜剥離に至った例では、網膜・硝子体手術を行います。

悩ましい未熟児網膜症

従来、治療として行われてきた周辺部無血管網膜組織への光凝固や冷凍凝固は、今ではVEGFの新たな産生に伴う新生血管の発生と出血を抑制するためのものでしたが、VEGF阻害剤が登場した今日では、硝子体内へ直接投与することにより、網膜・硝子体病変の寛解をめざしています。しかし、副作用として増殖膜の収縮が報告されており、慎重な適応の選択と、注射後の慎重な経過観察が全身を含めて必要です。

薬物治療として、大学当時、ビタミンEとB2の両者内服投与での有用性を検討しましたが、確実な効果についてはなお検討の余地がありました。文献上も残念ながら期待できるものはありません。

冒頭の定義はともかく、在胎期間に関係なく、出生体重2500㌘未満の低出生体重児もROP発症に関係があります。大学での体験を申せば、32週ないし1250㌘を越えて生まれるか否かで、その後の運命に天と地ほどの違いが生じることを銘記すべきです。

300～400㌘の超低出生体重児も救える時代ですが、小さく産んで大きく育てる妊婦の願望にも、ハイリスクが伴うことを忘れてはなりません。「救命から後遺症なき生存へ」と祈りつつ。

毎日新聞
2015年(平成27年)12月15日(火) 鳥取 27

ご近所のお医者さん

326

日野病院(日野町)
玉井 嗣彦名誉病院長

抗がん剤治療と眼症状

最近、「見え方が悪くなった」「涙も少し出る」といった眼症状で、抗がん剤処方医より眼科に紹介された胃がん術後の63歳の男性患者を診察する機会がありました。胃がん手術後の再発予防などに有効視されている既存の抗がん剤ティーエスワン(TS―1、以下S―1)を比較的長期間服用中でしたが、使用説明書や文献上指摘されているような涙道閉塞や狭窄による流涙症状はみられず、その原因は睫毛乱生によるもので、抜去して様子をみることにしました。

S―1が涙目を起こす仕組みは未解明ですが、成分が涙に出て、涙道の粘膜を痛める可能性が指摘されています。軽症なら成分を洗い流すため防腐剤を含まぬ目薬をさします。

涙道が通りにくい場合には、ポリウレタンなどの微細な「涙管チューブ」を涙の排泄口である上下涙点のうち通常上部より挿入し、通過を確保する治療法があります。チューブは抗がん剤治療の終了後に抜去します。

ただし、涙点閉鎖などの症状がでますと、チューブも入れられず回復も難しいケースもありますので、早い対処が必要となります。

涙目になりますと、視界がぼやけて物が見えにくくなり、転倒したり、車の運転に支障が出ることもあり、日常生活上要注意です。

「視力低下」や「眼痛」、「羞明」は角膜炎、角膜潰瘍、角膜びらんなどの角膜の障害により起こりますが、本例では、老眼と思われる視力低下以外、角膜には異常所見はみられませんでした。

本剤は、がん細胞のように細胞分裂が活発な細胞に作用しますので、眼組織では分裂が活発な角膜細胞などが影響を受けやすいと考えられています。角膜障害が生じた場合には角膜保護作用のあるヒアルロン酸点眼薬を用いて様子をみます。

S―1以外の抗がん剤でも、結膜炎や角膜障害、睫毛が抜けるなど、さまざまな眼症状がありますが、頻度などの実態は不明です。

がん細胞特有の増殖因子を分子レベルで阻害する「分子標的薬」と呼ばれる抗がん剤の一部でも最近、物がゆがんで見えたり、かすむなどの副作用が出ることが判明しました。標的細胞が、網膜中央の黄斑部にも存在するためとされていますが、有効な治療法は確立されていません。

副作用のない抗がん剤は皆無といっても過言ではありません。休薬を含めて、主治医との対応が大切です。

毎日新聞

2016年（平成28年）2月2日（火）　鳥取　25

新しい年を迎えましたが、超高齢社会の到来とともに、記憶障害や見当識障害（時や場所がわからなくなる）を中心とする脳の障害である「認知症」が問題となっています。

我が国では65歳以上の約8％に本症患者を認め、2025年には現在の200万～300万人が約700万人に達すると厚生労働省は試算しています。

根本的には本症の発症を完全に阻止することは難しいのですが、現在、発症予防や発症した人への進行防止に世の中でいろんな研究がなされています。ま

ご近所のお医者さん　331

日野病院（日野町）
玉井　嗣彦名誉病院長

だ何がいいとかはっきりとはわかっていませんが、運動や社会参加がとてもよいと言われています。

脳が衰えるのを防ぐためには、脳に対してのいろんな継続的な刺

激が必要ですが、その刺激のうちでもっとも多いのは視覚から、すなわち「目」からの刺激です。視力のいい人とそうでない人とでは脳に入る刺激の量が断然ちがってきます。認知症を防ぐための運動や社会参加も視力が悪ければ制限されます。

そこで眼科医としては白内障手術などを含めて、日常一人でも多くの視覚障碍者を減らすことに努めていますが、軽度の認知症を伴う白内障患者でも術後視力が改善すると、日常生活能力（ADL）や生活の質（QOL）が著しく向上することを経験しています。

認知症患者の眼治療

アルツハイマー病を代表とする神経変性が原因の認知症患者においては、白内障手術によって直接的に認知機能を改善させたとは考えにくいです。したがって手術治療が抑うつ状態を改善させ、最終的に認知機能を向上させたと推測されます。

これらの結果から、加齢に伴って視覚やADLが重度に障害された患者は視覚に関連した抑うつ状態になっており、神経変性によるものではない〝偽認知症〟を発症している可能性も考えられます。

白内障、緑内障、加齢黄斑変性などの治療によって高齢者のADL・QOLが改善すると、患者のみならずその介護者のQOLも向上します。したがって高齢社会における認知症患者の眼治療は、社会的、経済的に重要な役割を担っています。

64歳以上の眼科受診患者の約20％に抑うつ傾向があり、65歳以上では16・2％が認知症を有するとも言われています。本症の発症予防・改善のためには、該当高齢者に対する眼科定期検診が必須ですが、その対策は未整備で悩ましいことです。

毎　日　新　聞

2016年(平成28年)3月8日(火)　鳥取　27

公的なサービスに大きく頼ることなく、社会の自助・互助を引き出さないと超高齢化を迎えるこれからの社会はうまく回らないという考え方は、2010年に英国のキャメロン首相(当時)が提唱した「Big Society(大きな社会)」とその概念は同じです。

すなわち「大きな社会」とは、より多くの権限をボランティア団体、コミュニティ・グループ、地方政府などに与えて、貧困や失業など先進国が抱える社会的課題に対応していく社会を指しますが、高齢者が年々増加し、成長が鈍化し、社会保障財政が逼迫しつつある我が国においても、求められるその対応に変わりはありません。

ご近所のお医者さん

□336□

日野病院(日野町)
玉井　嗣彦名誉病院長

我が国では、団塊の世代が75歳以上になる2025年を目標に、従来の通院・入院患者を対象とした医療提供システムの大転換である「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。これは住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みです。そのために「地域包括支援センター」が各市町村に設置され、サービスの提供体制に日夜努力しています。

眼科在宅医療の必要性

介護予防において転倒の防止対策は大切です。転倒・骨折は介護の5大原因の一つであるからです。転倒の危険因子として視力障害は当然重大で、その存在により転倒リスクは2・5倍となります。

この転倒に対する具体的な予防策として、白内障手術が挙げられます。白内障手術は術後1年間における転倒率を34%、股関節骨折を23%減少させるとの報告もあり、明確で具体的な介護予防策といえます。

白内障手術の効用としては転倒防止以外にも、認知症やうつ状態も先に本紙上で若干ふれましたが、視覚の質(QOV)の改善に伴う生活の質(QOL)の向上と平行して寛解することが、最近内外で報告されています。

眼科の在宅医療への関わり方については、日本眼科医会の診療・介護報酬検討委員会で検討中ですが、在宅医療で精密な診療はできないので、必要に応じて対応するが、専門家の眼で「診る」という行為が必要ではないかと議論されています。

「眼科在宅医療」への参画は、現在、保険制度上奉仕活動の域を出ませんが、「大きな社会」の一員としての使命は眼科医全てが持っていると思います。

全国自治体病院協議会雑誌
（関連記事）

全国自治体病院協議会雑誌

Journal of Japan Municipal Hospital Association

2016 3

窓 MEDICINE

「医療事故調査制度」：滋賀県での支援体制から

常務理事　野田 秀樹

病院紹介

鹿児島市立病院

当院の取り組み

マレーシアへの贈りもの
～カントレル症候群少女の受入れ、手術成功～

静岡県立こども病院

平成27年度救急・産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞して

第54回全国自治体病院学会（函館）分科会推薦優秀演題

事務長より一言

「医・職・住」による まちづくりへの貢献

日野病院組合日野病院
副院長兼事務局長　生田　哲二

日野病院の概要

鳥取県西部に位置する、日野町・江府町・伯耆町の３町による一部事務組合の病院です。

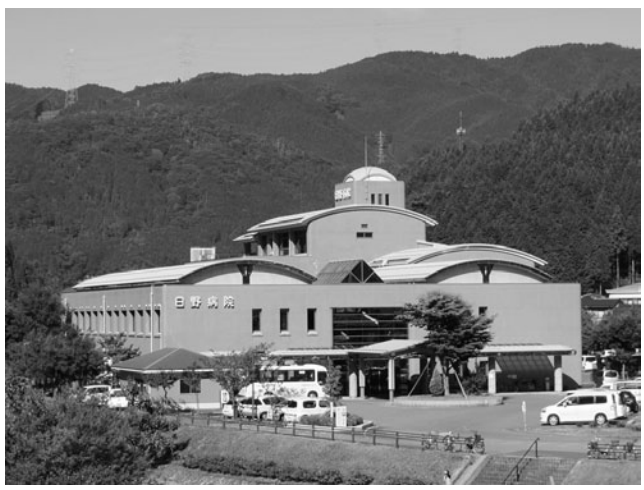
平成８年３月に厚生連から移管され、鳥取県西部地区から岡山県北部（新庄村や新見市千屋方面）を診療圏（人口14,000～15,000人）とし、日野郡内の一次医療・二次医療を担っている自治体病院で、現在常勤医師８名と鳥取大学からの非常勤医師により、外来診療科20科の診療と、地域包括ケア病床25床を含む一般病床99床（10：１入院基本料）で運営しています。

高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT（平成22年度更新）・MRI（平成25年度更新）などの診療機器や人工透析室（８床）を設置しているほか、無菌手術の可能な手術室も備え、外科・整形外科・眼科を中心に、年間約300件の手術を行っています。

「出かける医療・近づいていく医療」を目指して

構成３町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっています。

高齢患者の利便性を高めるため



日野病院の外観

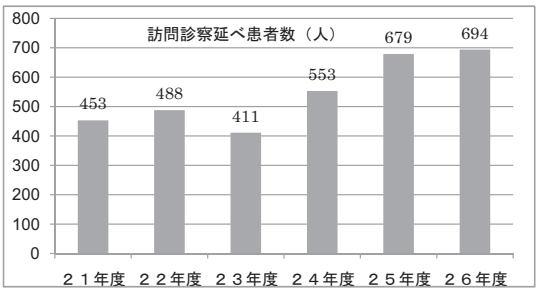
日野病院位置図

日野病院の診療圏

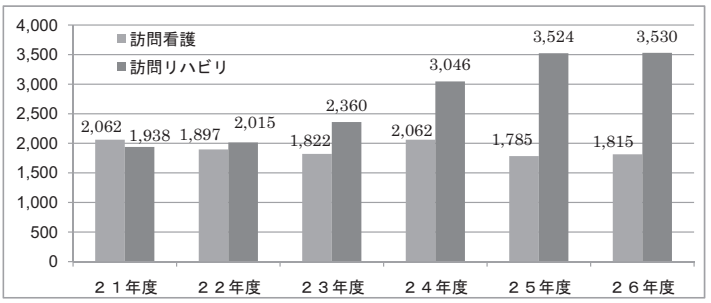
日野町の鳥（おしどり）

人口は平成27年10月1日の推計

市町村名	米子市	南部町	伯耆町	江府町	日野町	日南町	新見市（岡山県）	新庄村（岡山県）	日野病院診療圏
人口（人）	147,677	10,988	11,125	3,000	3,338	4,796	14,679	410	14,000～15,000
面積（k㎡）	132.2	114.0	139.5	124.7	134.0	340.9	793.3	67.1	約450



訪問診察



訪問看護、訪問リハビリ

に、公共交通機関のない地域に患者送迎車（ワゴン車）を走らせ、日野病院や診療所の間で運行させています。（日野町と江府町はタクシー助成を行い、通院の支援を行っていただいています。また、日野町の町営バスは、全路線とも日野病院玄関前をバス停としています。）

病院からは、訪問診察（週３日）と２つの診療所に加え、在宅支援事業（訪問看護と訪問リハビリ）にも出かけています。訪問診療と在宅支援事業は、構成３町だけでなく県境を越えて岡山県にも出かけ、ガン患者の在宅での終末期医療にも取り組み、可能な限り在宅での生活（療養）を支援しています。

また、入院後の患者さんの自宅での生活を支援するため、退院前訪問指導の積極的な実施や「看護の宅配便事業」（＊）も行っています。

（ア）訪問診察

訪問診察の延べ患者数は、平成26年度で694人（平成25年度は679人）となり、在宅での生活（療養）を推進しています。

平成16年度に購入した携帯型のレントゲン撮影装置や超音波断層装置及び心電計の導入により、質の高い在宅医療が行えるようになり訪問診察の充実を図っています。

（平成26年８月までは訪問服薬指導も行っていましたが、薬剤師の退職により中止しています。現在薬剤師を募集していますので、日野病院で仕事をしてみたいと思われる全国の薬剤師のみなさん、連絡をお待ちしています。）

（イ）在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリ（理学療法士２名・作業療法士１名）を行っています。平成26年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護1,815名（30名増）、訪問リハビリ3,530名（６名増）となっています。

（ウ）診療所事業

無医地区の黒坂（日野町）と二部（伯耆町）に診療所を開所し診療を行っています。

黒坂診療所（平成17年２月開所）

二部診療所（平成19年６月開所）

（＊）全国自治体病院協議会雑誌２０１３．２号で紹介されました

（エ）看護の宅配便便事業

退院後の患者さんの生活状況の把握や、季節ごとの注意喚起（熱中症予防やノロウィルス対策等）のリーフレットを配布し、訪問販売車と一緒に町内（日野町と江府町）を回っています。

10年を振り返って

平成16年９月、突然町長に呼ばれ町長室へ…。

「10月１日から日野病院へいってくれないか？」と町長･･･。当時日野町役場総務課で財政を担当していた私は、「少し考えさせてください」と答え町長室を出ました。（日野病院は日野町を構成町とする一部事務組合の病院で、人事異動ではなく派遣という形であったため、断ることも考えた返事でした。）

しかし、その日の午後には、私は日野病院に行くことで、日野町役場にも日野病院にも話が広がり、もう断ることのできない状況になっていました。

平成12年10月に発生した鳥取県西部地震の震源地であった町の復興事業で忙しかった事もあり「２年間少し楽をさせてもらおうかな。」という軽い思いで病院へ行くことを決心しました。当時45歳。

ところが、いざ病院へいってみると、そんな甘い考えは１日にして無くなりました。そして、それまで以上に忙しい２年間が始まることになりました。

今は誰にも負けないくらい数々の持病があり病院とは縁の切れない私ですが、その当時は病院とは無縁だったため、内科と外科の区別もできず、この先の２年がとても長く感じた事を覚えています。

その私が、まず取り組んだのは黒坂診療所（日野町公民館内に設置）の開設でした。

それまでは巡回診療を行っていた地区ですが、震災以降中止となり黒坂地区は無医地区となっていました。（住民からも強い要望がありました。）

その後、病床数の見直し（18床削減）や、10：１入院基本料の取得、現金による独自の退職給与引当金の実施（平成26年度末引当金残高約２億6,300万円）などに取り組みました。

仕事にもなんとか慣れ２年が経った頃、また町長室に呼ばれ「あと６ヶ月延長を」。そして６ヶ月後「あと２年延長を」･･･

結局４年半の派遣期間を経たところで、現在の管理者（日野町長）の勧めと院長のお誘いがあり、平成21年３月末で日野町役場を退職。日野病院組合の職員となることになりました。

派遣期間を含め平成26年度末で10年。この度「平成27年度全国自治体病院協議会事務長表彰」をいただきました。（そのことに感謝申し上げこのコーナーを受けることにした次第です。）

その間、管理者の理解と、思うように仕事をさせていただいた院長先生をはじめとする病院スタッフに助けられ、電子カルテの導入、CT と MRI の更新、病院機能評価の取得と更新などにも取り組むことができました。

また、平成26年度には「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」が日野病院内に設置され、現在は鳥取大学の医学生や看護学生の研修の場にもなっています。

その中で、日野病院が独自に設置した「インフォメーションシステム」の紹介をします。

このインフォメーションシステムは、外来待合をはじめ食堂等院内８カ所に表示され、どこにいても進行状況が分かる様、待ち時間対策のために設置したものです。

現在は、日野病院のホームページ（トップページ右下の「外来進行状況」）から、スマホやパソコンでも見ることができるようになっていますので、受付と検査を済ませ診察を自宅で待つ患者さんもおられます。

また、番号表示だけでなく、画面の下部に病院からのお知らせを表示できるようにしています。この表示は、事務室から簡単に何件でも入力（エクセル形式）できるため、救急患者対応による外来診察の一時停止や車のライトの消し忘れ等、緊急時の患者さんへのインフォメーションに便利なシステムです。（通常は、外来診察の変更予定等あらかじめ登録したインフォメーションを数秒ごとに繰り返し表示しています。）一度パソコンからご覧ください。

自治体病院の役割とは･･･「医・職・住」によるまちづくりへの貢献

日野病院は、平成12年の移転新築以降毎年赤字決算を計上し、平成18年度には赤字負担金約85,000千円を構成町に求めることになり、地元新聞の一面を飾る事態となりました。

そんな中、新築時に購入した高額医療機器の償還も山を越え、経営状況が好転する見込みを持っていた私は、黒字決算の計上と、その先に累積剰余金への転換を目標としました。

実際、翌年度（平成19年度）から平成26年度まで８年連続黒字決算を計上し、平成18年度に約６億円あった累積欠損金は、平成24年度決算後に累積剰余金に転換、平成26年度決算時点で約２億の累積剰余金となり、当分の間、資金不足による町からの追加負担金は発生することのない状況となっています。

自治体病院の一番の役割は、地域住民のいのちと健康を守るため、不採算部門で民間が行わない分野の医療（へき地医療を含め）を提供することにあります。

そのために国は地方交付税により財政措置をしています。自治体病院は、その交付税を収入としたところで黒字となることを目標としなければなりません。もちろん今後の地方交付税の動向を考えると、医業収支が黒字になることが必要となりますが、収益的収支や資金収支が赤字となり町からの追加の負担金を必要とする経営は、できる限り避ける必要があります。

その上で、良質な医療サービスを提供し、町へ還元することが自治体病院の役割だと思っています。

今、国が唱えている「まち・ひと・しごと創生事業」。

生活していく基礎が「衣食住」

町の行事にも積極的に参加しています

院長以下職員で参加（根雨まつり）

医師住宅（３戸）

職員住宅（６戸）

であるなら、町づくりの基礎は「医・職・住」ではないでしょうか。

人が安心して住み続けるのに必要な条件に「医療（病院）」があること、それは病院と病院に関連する「職場（雇用）」の拡大に繋がること、そしてそこで働く職員（若者）の「定住」が町の活性化に繋がります。

まとめ

周辺人口の減少による患者数の減少対策、それに伴う診療科の削減や病床数と病床内容の見直し、医師及び看護師に加え薬剤師等の人材（財）確保、経営の効率化と経営形態の見直し（特に一部事務組合は重要）等･･･山積する課題が中山間地の自治体病院にはあります。

10年前、役場職員として目標にしていた「まちの活性化」。

医師住宅（３戸）と職員住宅（６戸）の新築や地域の行事への積極的な参加等、「少しは役に立っているのかな」と思いながら、病院職員となった今も町の存続と活性化（元気なまちづくり）のため頑張っています。

４、広報誌 せせらぎ

日野病院組合だより

出かける医療、近づいていく医療と福祉をめざして

せせらぎ

No.53

平成27年５月発行

題字　櫃田　豊　病院長

発行／日野病院組合 編集／日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ http://www.hinohp.com/ FAX0859-72-0089

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

日野病院の基本理念

一　地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す

二　自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1．高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担います
2．住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3．安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4．小児科医療を通じ子育て支援に協力します
5．多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6．出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます
7．検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します
8．職員の人材育成に努め、地域に貢献します

黒坂診療所10周年

日野病院病院長
櫃田　豊

つい先日まで寒い、寒いと言っていたのに、ふと気が付くと春の陽気を感じるようになりました。季節の移り変わりの速さにはいつも驚かされます。４月になり日野病院組合でも多くの人事異動がありました。なかでも大きな出来事はあやめ施設長の交代でした。武田千濤施設長が３月31日をもって退職され、４月１日付で竹茂幸人新施設長をお迎えすることになりました。武田先生は平成19年６月１日のご就任以来、７年９か月の長きに渡りあやめを支えてこられました。さぞやご苦労も多かったと拝察いたします。まずはゆっくりお休みになり、その後、またご指導いただく機会を頂戴できましたら幸いです。

竹茂先生は、皆様よくご存知のように、平成25年９月に日南病院をお辞めになるまで小児科医として日南町のみならず広く中山間地の医療を支えてこられました。施設長にご就任後間もないとはいえ、その気さくなお人柄でさっそくスタッフの信頼を集めておられます。今後は診療の対象が小児から高齢者に変わるなど多少勝手が違うところもあると思いますが、豊かな知識と経験で施設長としての重責を果たされるものと確信しております。

さて、黒坂診療所は日野病院組合が運営する２つの診療所のうちの１つですが、今年で開設10周年を迎えることが出来ました。これもひとえに日野町を始めとする関係各位、ご利用いただいている住民の皆様のおかげと感謝申し上げます。３月25日には黒坂公民館で記念イベントを催しました。いい機会ですので、黒坂診療所について少しお話しいたします。

黒坂診療所は平成17年２月25日に黒坂公民館の一部を改造し開設されました。開設のきっかけとなったのは鳥取県西部地震により中断していた巡回診療の復活を希望する黒坂地区の皆様の声でした。半径５km以内に他の医療機関が存在しないことから、へき地診療所の指定を受けました。ちなみに鳥取県内には黒坂診療所の他に10か所のへき地診療所があります。

黒坂診療所の診療ですが、開設当初は内科と外科の診察日をそれぞれ週１回午後に設けました。診察日には当院の医師、看護師、事務職員をそれぞれ１名ずつ派遣しました。平成20年６月には故松田泰彦先生のご協力が得られることになりました。それに伴い、10月からは当院からの内科医師の派遣を中止し、内科は週２回の松田先生の診察となりました。この時から、週３回の診察が黒坂診療所の基本的な診療形態となりました。

平成21年３月に外科医師が辞職したため、４月以降は再び週１回当院より内科医師を派遣し、週３回の内科診察を行いました。しかし、新型インフルエンザ対策のために日野病院に発熱外来を設置する必要性が生じたため、６月以降は派遣を中止せざるを得なくなりました。診察日は内科の週２回のみとなっていましたが、８月に新しく外科医師が着任したため、週１回の外科診察を再開しました。

平成23年３月で松田先生がご勇退されたため、以後、当院より週２回内科医師を派遣しました。平成24年３月の常勤医師の辞職後、非常勤医師で何とか継続してきた外科診察ですが、非常勤医師も辞職したため平成25年９月で中断となりました。現在は週２回の内科診察（うち１回は鳥取大学地域医療学教室の医師による）を行っています。

日野病院組合診療所の診療体制はいわゆる「非常駐型」であり、一定地点において特定多数の患者に対して診療を行う巡回診療に近い形と言えます。「常駐型」の診療体制がとれなかった最大の理由は、日野病院の医師が８～10人と少数であったためです。しかし、上述したように、「非常駐型」といえども医師の確保は必ずしも容易ではありません。日野病院組合の診療所活動は、日野病院医師の献身的な努力と地域医療に対する深い理解の上に成り立っていると いっても過言ではありません。

平成20年度には1800人に達した年間の延患者数ですが、平成25年度には650人まで減少しました。人口減少など様々な要因が考えられますが、私どもは今後とも皆様に黒坂診療所を利用していただけるよう努力を重ねる所存です。

南国土佐の思い出

日野病院名誉病院長　玉　井　嗣　彦

私は1981年３月、初代の高知医科大学（現高知大学）教授として高知に移り住み、1989年７月に母校鳥取大学医学部の存在する米子へ配置換の辞令を受けて、舞い戻ってきました。８年有余の土佐での生活は楽しい思い出ばかりで、去る２月には日野病院関係者の方々より祝宴の栄を賜わりましたが、傘寿を迎えた今でも、折にふれて懐かしがっています。

山陰と違って、高知は１年中雪が降らないので、車が出せないのタイヤがどうのと悩むことはなく、その点では快適でした。最低気温は結構低いのですが、冬でも太陽サンサンなので日中は暖かかったです。特徴は桜の咲く３月下旬を過ぎるといきなり夏になることで、同伴した家内はいつも「春がない」とこぼしていました。

４月になると男性は半袖、女性はノースリーブになります。そして６月の荒梅雨、まさにバケツをひっくりかえしたように、夕方決まった時間に毎日雨が降りました。なにごとも豪快でした。

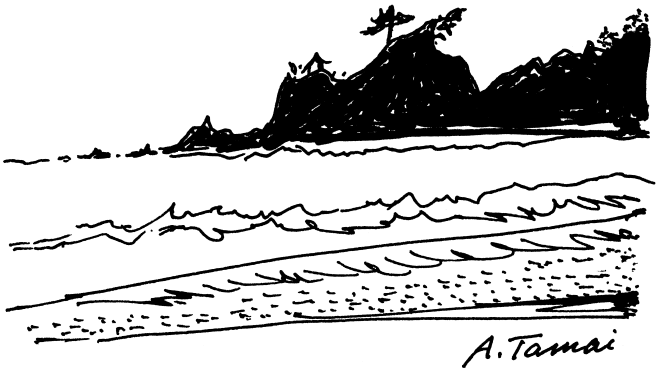
地形はご存じ室戸、足摺と太平洋に突き出た岬があり、先端に立てばぐるり360度ぐらいが海。「さても地球は丸きかな！」の実感はあります。そして、桂浜の龍馬像のごとく「この先はアメリカか！」と感慨に耽ることになりますが、この視界の広さと開けっ広げな土佐人気質とは大いに関係があると思われます。

土佐人は酒好き。とにかく宴会が多かったです。女性もよく働き経済力もあるので、夜遅くまで飲み歩いていました。家内も最初は驚いていましたが、やがて夜の帳が降りるのを楽しみに待つようになりました。

結婚式、開院祝などもとても派手で、300人から400人の客は普通。いったん飲み始めると献杯、返杯でとめどがなく、人の話など聞きませんから、結婚式なども乾杯の前に両家や新郎新婦の御礼の挨拶まで済ませてしまうのには驚きました。仲人も終始落ちつかない状態です。

今は仲人をさせていただく機会もありませんが、米子へ帰ってからも、鳥取大学教授在任中の仲人役を仰せつかった時などに、お色直しの間などで、つい壇上から降りてビールを持ってうろうろしてしまい、失笑を買った記憶があります。

高知は実に楽しいところでした。今では年２回程度の大学関係行事への訪問のみになりましたが、また、ご縁があれば親交を一層深めてみたいと思います。



（カットは玉井嗣彦名誉病院長）

すまいる互版

【日野病院組合＊在宅介護支援事業所】

＜連絡先＞
☆訪問看護ステーション　0859－72－2706
☆居宅介護支援事業所　0859－72－2723
お気軽にご相談下さい！

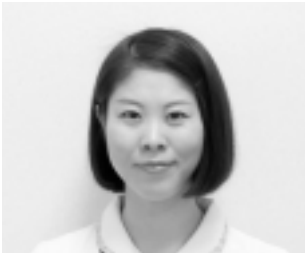
新施設長＊紹介

平成27年4月1日より在宅介護支援事業所の所長を務めさせていただいている岡田健作と申します。現在、日野病院の在宅医療は非常に充実しており、このような大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。大変微力ではございますが、利用者の皆様、先輩各位ならびにスタッフの方々の御指導、御鞭撻を賜りながら「出かける医療、近づいていく医療と福祉をめざして」を実践すべく更なる在宅医療の充実に役立てるよう努力する所存です。どうか宜しくお願い申し上げます。

医師＊岡田 健作

新メンバーも加わり、心機一転！
フレッシュな風をお届けします!!

すまいる＊メンバーです！

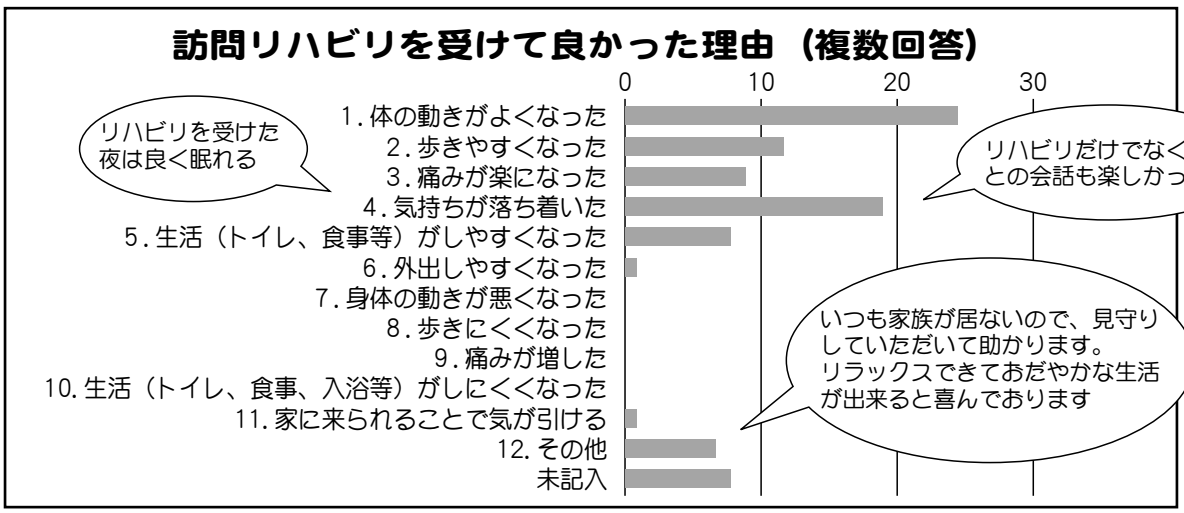


訪問看護師＊福田由果理

利用者さんがその人らしく生活の質を維持できるように、他職種と連携をとり、在宅での生活支援を行っていきたいと考えています。分からないことが多々ありますが、その都度一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

～平成26年度訪問リハビリ満足度調査結果について～

平成27年2～3月に利用者様の満足度と訪問リハビリの質の向上を目的に調査を行いました。アンケートの結果から、すべての利用者様から訪問リハビリを受けて良かったとのご意見をいただきました。



今後に向けて・・・♪

この度はお忙しい中、貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。希望されるリハビリ内容や介護負担の内容について訪問リハビリ事業の見直しを行い、他職種と連携を図りながら今後のサービスの質の向上に努めていきます。

栄養ニュース☆

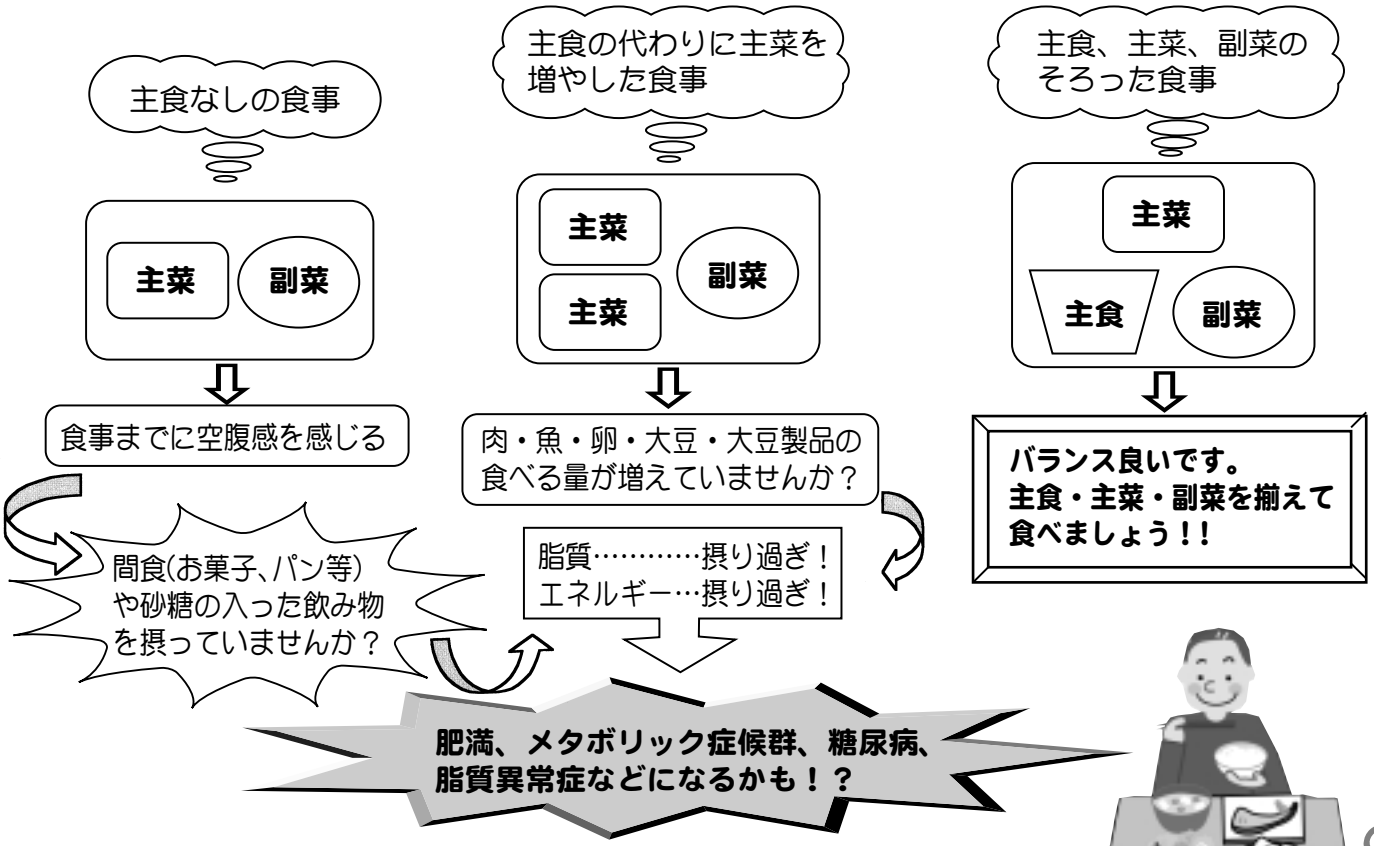
NO.8

【主食なしの食事が良いと考えていませんか？】

・主食に含まれる炭水化物には、脳・神経組織など、ブドウ糖しかエネルギーとして利用できない組織にブドウ糖を供給するという大切な役目があります。

・主食を食べないとたんぱく質と脂肪の摂取割合が高くなり、生活習慣病や循環器疾患のリスクが高まります。

・炭水化物の摂り方の少ない欧米諸国では、脂質摂取過剰による疾病が問題になっています。



主食、主菜、副菜のはたらき

主食・・・**米、小麦などの穀類、主に炭水化物、エネルギーの供給源**
カレーやチャーハンなどは油脂類、塩分の摂り過ぎに注意。

主菜・・・**肉、魚、卵、大豆・大豆製品など、主にたんぱく質、鉄分などの供給源**
肉ばかり、魚ばかりなど偏らず、いろんな食材をバランス良く食べましょう。
揚げ物、炒め物などの摂り過ぎは脂肪の摂り過ぎに繋がります。

副菜・・・**野菜、海藻類、きのこ類など、主にビタミンやミネラル、食物繊維などの供給源**
しっかり、たっぷり食べましょう。
ドレッシング・マヨネーズのかけ過ぎに注意。薄味を心がけましょう。

★日野病院　栄養管理室★

介護老人保健施設あやめ

あやめでは、平成２７年４月１日から前任の武田千濤施設長に代わり、竹茂幸人施設長が着任されました。次に、竹茂施設長の挨拶を掲載します。

《施設長　竹茂幸人　新任のご挨拶》

聴診器を捨てて生家で余生を過ごしていましたが、御縁あってこのたび「あやめ」にお世話になることになりました。

小児科から老人医療の世界への転身とは言え、その根ざすところは同じです。

受診（利用）していただく方から信頼され、困ったらまたあそこに行って世話になりたい、あそこに行けばなんとかしてくれるので安心だと思っていただければ小児科も老人医療も違いはありません。そして地域の皆様から支持されて、あれだけ地域のために尽くしているのだから「あやめ」を応援してやろうといわれるように頑張りたいと思います。悔し涙を流すことも多いでしょう。それでも時にはスタッフと手を取り合ってうれし涙も流したいと思います。

皆様よろしくお願いいたします。

《森のようちえん『みちくさ』訪問》

森のようちえん「みちくさ」の園児の皆さんが遊びに来られました。２歳～年長さんまで１１名の園児がずらりと並びかわいい歌声で３曲を披露してくださいました。お弁当持参で来られたので利用者の皆さんの間に入っていただき一緒に食事することができ、園児の皆さんも利用者さんも楽しい昼食になりました。午後のレクリエーションにも参加され、一緒に風船バレーをしました。無邪気な園児の笑い声に利用者の皆さんも「かわいいなぁ～」と大喜びでした。

《桜餅作り》

２班に分かれ、一人一人がホットプレートに生地を流して焼き、桜色の皮を作ります。それであんこを包んだら出来上がり！「熱いうちがおいしいだけん」と、みんなの出来上がりが待ちきれず早々に食べてしまわれる方や、綺麗な桜色の皮だけ先に味わい、後であんこを食べる方などそれぞれに楽しまれました。

～介護職員募集～

あやめでは介護職員を募集しています。未経験の方でも介護の仕事に興味のある方でも大歓迎です。まずは施設見学を。連絡お待ちしています。

★ご相談　　江府町大字武庫４７５番地　　介護老人保健施設あやめ
ＴＥＬ0859－７５－３２３０・ＦＡＸ0859－７５－３２８０

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて

ここでは、昨年６月、日野病院内に開所した鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて、鳥取大学医学部地域医療学講座の谷口晋一教授と井上和興医師に紹介していただきます。

鳥取大学地域医療総合教育研修センターを開設して９ヶ月

日野病院に鳥取大学地域医療総合教育研修センターが開設して９ヶ月がたちました！
昨年６月に日野病院に開設された地域医療総合教育研修センターについて紹介します。センターでは、日野病院での診療をとおした医学生への地域医療教育、日野郡エリアの地域医療課題の研究などをおこなっています。地域医療学講座からはスタッフ２名が従事し、日野病院の総合診療外来と、在宅診療、黒坂診療所、さらに日野町行政といっしょに地域包括ケアの推進などに取り組んでいます。現在、スタッフとして井上和興講師と、今月からは渡邉ありさ先生に代わり朴（パク）先生が勤務しています。昨年は医学生として１年生（早期体験）、３年生（研究室配属）、４年生（地域医療体験）が、センターでの実習を受けましたが、院内のスタッフの協力もあり、学生たちは地域医療の前線の雰囲気を十分に感じてくれたように思います。５月からは６年生（臨床実習２）がやってきます。この研修センターで学んだ医学生たちが、「地域医療はおもしろい」「家庭医や総合診療医に興味がわいた」と言ってくれるように、教育内容を整えていきたいと思っています。住民のみなさんも、この研修センターが日野町と鳥取大学の双方にとって実りあるものになるように、あたたかく見守ってください。

研修センターでの指導の様子

鳥取大学医学部地域医療学講座
教授　**谷　口　晋　一**

研修センター発　「見える事例検討会」でいろんな職種が手をつなぐ!!!

医療現場は、国家資格を持った10個以上の専門職が協働することで成り立っています。それぞれの強みは異なり、それを上手に活かすことで、患者さんにものすごい力を発揮することができます。ただ現場では、お互いの強みを理解せずに自分の世界だけで仕事を完結してしまう場面も多いようです。お互いの強みを、患者さんに届けるために、日野地区では「多職種による見える事例検討会」をスタートしました。この検討会は，①課題解決、②支援者の援助能力の向上、③地域ネットワークづくりを目的に開発された手法で、全国的に広がっているスタイルの検討会です。認知症の方の対応で困ったことを共有し、いろいろな職種が意見を出し合い、次の一手（具体的な行動）をみんなで考えます。日野地区では、介護支援専門員・訪問看護師などがこの検討会をおこなう資格を取りました。今後、地域での医療介護の質を向上させるため、どんどん工夫していきますので、よろしくお願いします(^^)/。

鳥取大学医学部地域医療学講座
講師　**井　上　和　興**

見える事例検討会において

新規採用医師紹介

内　科
岡田　健作

四月一日から内科で勤務しております岡田健作と申します。出身は兵庫県但馬地方ですが、中学校、高校、大学のいずれも鳥取に御世話になって参りました。これまでは主に鳥取大学医学部附属病院に勤務し、呼吸器内科を中心とした診療を行わせていただいておりましたが、この四月からは入院・外来患者さんの診療に加え、訪問診療・消化器検査も担当します。日野病院は鳥取県南西部の中核病院であり、その常勤内科医として皆様の期待に応えられるよう努力する所存です。何卒宜しく御願いいたします。

診察日
月・金曜日
（午前中）

新規採用職員紹介

看護師
野村沙也佳

はじめまして。四月から日野病院でお世話になります。野村沙也佳です。家は米子で日野から少し遠いですが、頑張って通います。笑顔を忘れず、親身になって患者さんと接していきますのでよろしくお願いします。

看護師
藤田　美幸

今年度から二階病棟勤務になりました。日野病院の中だけでなく、地域でも皆さんとの出会いやふれあいを大切にし、笑顔をたやさず明るく元気に頑張っていきます。ご指導して下さいますようよろしくお願いします。

看護師
平石　愛里

四月から日野病院で勤めさせていただくことになりました、平石愛里です。この一年間、たくさんのことを学ばせていただいて成長していけるように笑顔で頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

看護師
妹尾　尚子

社会人経験後に看護職を目指し、この度新人看護師として日野病院に入職させて頂きました。新たに日野町での生活も始まり自然の中で暮らす楽しさを感じています。日々頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

看護師
福田由果理

四月から訪問看護ステーションで勤務することになりました福田由果理と申します。微力ながら、少しでも地域医療に貢献できればと考えております。
どうぞよろしくお願い致します。

臨床検査技師
亀髙さつき

三月から臨床検査技師として入職いたしました。今はまだ必死で実務を覚える毎日ですが、上司や先輩技師からの丁寧な指導と温かいサポートのように、信頼される仕事と安心できる雰囲気作りに勤しむ所存です。よろしくお願い致します。

黒坂診療所 10周年記念イベント

平成17年2月25日に開所した黒坂診療所はこの度、地域の皆様に支えられ10周年を迎えました。これを記念して去る3月25日、黒坂公民館に於いて10周年記念イベントを行いました。当日午前はおしどり学園の閉校式があり、その中で櫃田病院長と鳥取大学地域医療学谷口教授の講演、日野病院在宅介護支援事業所の研究発表を行いました。午後からは日野病院看護局、医療技術局による健康相談と血圧測定、栄養診断やリハビリ体操などがあり、大勢の皆様とふれあうことができました。ご参加いただきありがとうございました。この10年で延べ11,031名の利用がありました。途中週3回開所した時期もありましたが、昨今の医師確保が困難な中、現在でも火曜と木曜の週2回の診療を続けております。

これからも地域の皆様の健康に役立つ医療機関として、地域に根差した診療ができるようスタッフ一同努力して参りたいと思います。よろしくお願いします。

改善 患者様の声（改善点）

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからもお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎受診番号で待っていて次に自分が呼ばれると思っていると、次々に別の人が入っていく。

看護師に尋ねたところ「他の診療科を受診で不在の場合や、検査を受けた人等が再度診察する」とのことだった。

検査を受診した人は後にまわして、待っている人の順番にしてください。

また、ディスプレイの受診番号を正確に表示してください。

現在、一度呼び込みをした際、他の科を受診や検査等で不在の場合や、検査結果が出るまでに時間のかかる場合は次の順番の人を呼び込み、その番号を表示することにしています。

番号を戻すことはしていませんので、番号の表示については最初の呼び込みが何番まで終了しているかの目安にご利用ください。（トイレ等で不在の時に呼び込みがあり番号が進んでいた場合は、看護師に問い合わせください。）

また、検査のある人を後にまわすことについては、検査のある人の待ち時間が更に長くなることになるため、現在の診察順番としています。

ご理解とご協力をお願いします。

◎毎朝の牛乳おいしく飲んでいますが、ストローの袋がなかなか開けにくいので大変です。「こういう意見があります」と、言ってくだされば、今後解決策を考えて頂けるんじゃないかと思います。

ご意見をいただきありがとうございます。メーカーに伝えたところ、「そのようなご意見を頂くことがよくあるのですが、ストローを開け易くすると、輸送の段階でストローが飛び出る可能性が高くなることが考えられるため、現状では改良の予定はありませんが、この度のご意見は開発の担当者へ今後の課題として報告します。」との回答でした。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

〈編集後記〉

風薫る五月。

新人職員が運んでくれた風に、自分の新人時代（二十？年前…）を思い出して自然と背筋が伸び、時代と共に変化する医療に対応しつつ、地域の病院としての歴史を伝えていかなければ…と思います。これからの成長が楽しみです。

気候も良くなって、忙しくなりますが、くれぐれもお体をご自愛ください。（野）

連絡先

日野病院
鳥取県日野郡日野町野田332番地
ＴＥＬ　0859-72-0351
ＦＡＸ　0859-72-0089

黒坂診療所
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
ＴＥＬ　0859-74-0351
ＦＡＸ　0859-74-0351

二部診療所
西伯郡伯耆町二部1554番地4
ＴＥＬ　0859-62-0351
ＦＡＸ　0859-62-0351

切り取り線

せせらぎ　平成27年5月　発行/日野病院組合　編集/日野病院広報委員会　住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332　TEL/0859-72-0351　FAX/72-0089　印刷/冨士印刷有限会社

日野病院 外来診療案内

最新版 H.27.4～

午前　午後　休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	櫃田　豊	櫃田　豊	細田　譲（第1・3週）	櫃田　豊	岡田健作
					松本和久※3（第2・4週）		
		午後			松本和久※3（第2・4週）		
	二診	午前			田本明弘	中下聡子※3	中本成紀
		午後			田本明弘		中本成紀
	三診	午前	岡田健作	椋田権吾	熊野健太郎	熊野健太郎	椋田権吾
		午後					
	総合診療内科	午前	朴　大昊	朴　大昊	井上和興	大学医師	
		午後	朴　大昊	朴　大昊		大学医師	
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大谷眞二	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	藤田章啓	藤田章啓	岸本勇二	藤田章啓	藤田章啓
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	春木智子
小児科 アレルギー科		午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
		午後※2	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
専門診療科（大学医師）		午前	**禁煙外来** 櫃田　豊※4	**女性診療科** 秦　幸吉	**消化器内科** 田本明弘	**耳鼻科** 竹内裕美	**呼吸器内科** 中本成紀
			泌尿器科 引田克弥	**皮膚科** 大学医師	**血液内科** 細田　譲（第1・3週）	**脳神経内科** 中下聡子※3	
					糖尿病外来 松本和久※3（第2・4週）		
		午後		**心臓外科** 西村元延（第1・3週）	**消化器内科** 田本明弘		**呼吸器内科** 中本成紀
				ペースメーカー 西村元延（偶数月第3週）	**糖尿病外来** 松本和久※3（第2・4週）		**心療内科** 山内崇平
				血管外科 佐伯宗弘（第2週）	**女性診療科** 大学医師（第1週）		

（注）医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間　●午前＝7時30分～11時30分（一部8時30分～10時30分 ※5）　●午後＝正午～16時

診療開始時間　●午前＝9時～　●午後＝14時～

電話による受付（内科・整形外科）　●10時～10時30分（当日の午前受付のみ）電話番号　0859－72－2733（専用）

電話による予約日の変更受付　●14時～16時の間（予約日の前日までの平日のみ）
電話番号(内科) 72－2721（整形外科）72－2720（外科・泌尿器科）72－2719

休診日　●土曜日・日曜日・祝日　●8月14日・15日　●12月29日～1月3日

※1　火曜日の眼科受付時間は10時30分までです。

※2　午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。

※3　完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。

※4　禁煙外来（月曜日）の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。

※5　初診の方・常勤医師（内科・外科・整形外科）の診察予約日以外に受診の方

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町（日野町・江府町・伯耆町）の全戸に配布しています。

切り取り線

外来診療案内ポケット版

午前　（受付時間は、7時30分から11時30分まで）　(H.27.4月～)

診察科目		月	火	水	木	金
内科	一診	櫃田	櫃田	血液(第1･3週)･糖尿病(第2･4週)	櫃田	岡田
	二診			田本	(脳内)	(呼吸器)
	三診	岡田	椋田	熊野	熊野	椋田
	総合診療内科	朴	朴	井上	(大学)	
外科		(大学)	佐藤	大谷眞	(大学)	佐藤
整形外科		藤田	藤田	岸本	藤田	藤田
眼科		玉井	玉井	上田	玉井	春木
小児科		頭本	頭本	頭本	頭本	頭本
その他（大学）		禁煙外来・泌尿器科	女性診療科・皮膚科	消化器内科・血液内科(第1･3週)・糖尿病外来(第2･4週)	耳鼻科・脳神経内科	呼吸器

午後　（受付時間は、12時から16時まで）

診察科目	月	火	水	木	金
内科	総合診療内科	総合診療内科	消化器内科	総合診療内科	(大学)
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本
その他(大学)		心臓外科(第1･3週)・血管外科(第2週)・ペースメーカー(偶数月第3週)	消化器内科・糖尿病外来(第2･4週)・女性診療科(第1週)		心療内科・呼吸器

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

（切り取って財布等に入れご利用ください）

日野病院組合だより

出かける医療、近づいていく医療と福祉をめざして

せせらぎ

No.54

平成27年９月発行

題字　櫃田　豊　病院長

発行／日野病院組合 編集／日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ　http://www.hinohp.com/ FAX0859-72-0089

日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

日野病院の基本理念

一　地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す

二　自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1．高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担います
2．住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3．安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4．小児科医療を通じ子育て支援に協力します
5．多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6．出かける医療、近づいていく医療と福祉に努めます
7．検診ドック事業・各種指導事業を積極的に展開します
8．職員の人材育成に努め、地域に貢献します

新公立病院改革ガイドラインについて

日野病院病院長
櫃田　豊

記録的な猛暑であった今年の8月ですが、お盆を過ぎたあたりから急に秋らしくなりました。朝、夕は肌寒く感じることがしばしばあり、皆様には体調管理に十分留意されるようお願い申し上げます。

さて、最近、私共が最も注目しているものの1つに、本年3月31日に総務省から発表された新公立病院改革ガイドラインがあります。”新“があるからには”旧“があるわけで、旧ガイドラインの提示は約7年前の平成19年12月にさかのぼります。この時期は、深刻な医師不足や経営悪化に悩む公立病院が急増していた時期でした。地方公共団体は、旧ガイドラインに示された経営効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直しの3つの視点に立った公立病院の改革プラン（5か年計画）の策定を求められました。

日野病院組合では平成21年2月に「日野病院安定経営プラン」を作成し、経常収支比率、職員給与費対医業収益比率、病床利用率などの諸指標の数値目標を定めました。以後、経営効率化に努めた結果として、経常収支は現在まで黒字を続けています。全国的に見ますと、経営効率化はもちろんのこと再編・ネットワーク化、経営形態の見直しも進みました。再編・ネットワーク化については65ケース、162病院が取り組んでおり、また、227病院が何らかの経営形態の見直しを行っているとのことです。

平成26年度は旧ガイドラインに基づく改革プランの最終年度でした。更なる病院改革が必要との判断から、総務省は上述したようにこの年度の最終日に新ガイドラインを提示しました。今後、日野病院組合は平成27年度または平成28年度中に新ガイドラインに沿った日野病院改革プランを策定しなければなりません。

新ガイドラインの特徴の1つは、旧ガイドラインの改革の3つの視点に「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」という新たな視点が加えられたことです。今後の公立病院改革は地域医療構想と整合的に行われる必要があるのです。地域医療構想とは各病院から提出された病床機能報告に基づき、高度急性期、一般急性期、回復期、慢性期といった機能ごとに必要病床数を算定することで、地域医療構想区域ごとの病床機能の適正化を目指す仕組みです。本年6月15日には2025年の都道府県別の必要病床数が明らかにされ、鳥取県の場合5900床でした。現在の病床数は7400床ですので、1500床（20％）もの大幅な病床削減が必要ということになります。

新ガイドラインのもう1つの特徴は、交付税措置の対象が許可病床数から稼働病床数へと変更されることが明らかにされた点です。稼働病床数とは許可病床数から休床の届出をしている病床数の他、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床数を除いた病床数と定義されています。多数の休床を抱える病院や病床稼働率が70％に満たない程低い病院では交付金が激減するため、病院経営は大きな影響を受けることになります。

日野病院は米子市より50～60分の中山間地にあります。また、日野病院を中心として10㎞以内に入院可能な医療機関はなく、半径5㎞以内には医療機関すらありません。さらに、日野病院の診療圏の高齢化は現在ピークを迎えていると思われます。このような地域での医療は本来的に不採算性が高く、日野病院に都市部の病院と同様の病床機能の適正化や過度な経営効率化を求められても対応は難しいと言わざるを得ません。しかし、そうは言っても既にサイは投げられました。日野病院も地域医療構想の実現に協力し、改革プランを策定しなければなりません。日野病院を存続させるための方策を皆様とともに考えていかなければなりません。

俳句、されど俳句

—趣味の世界—

日野病院名誉病院長　玉　井　嗣　彦

女性の何ごとにも持つ好奇心はたいしたものです。男性は足元にも及びません。テレビの公開番組などに客として出ているのはほとんど女性です。暇もあるのでしょうが、やはり好奇心の塊であると思います。

御多分にももれず、私の家内もそうです。医師としてフルタイムの仕事をしながら、趣味にもいろいろと忙しい。現在最も熱心なのは俳句です。所属している結社の雑誌のほかに、定期購読している『サンデー毎日』の「サンデー俳句王」欄にせっせと投句しており、毎週火曜日の発行日には待ちかねて新聞受けに取りに行き、その場で開き、「ああ、今週もダメか」などとがっかりしたりしています。

佳作でも載れば大したもので、その都度、亭主馬鹿を発揮して病院で掲載頁をコピーして、職員有志におくばりしていますが、ご迷惑な行為かもしれません。しかし、世の中の森羅万象をたった17文字の中に一瞬にして凝縮するのは、診療の現場で職種を問わず物事を瞬間的に頭の中でまとめるのに役立つと家内は真剣に申していますので、その言葉を信じておくばりしているところです。

家内は発句のチャンスととらえているようですが、日頃のコミュニケーション不足を補うために、休日であっても、土、日曜日のいずれかには事情の許すかぎり、私は家内を愛車に乗せて、日野病院眼科入院患者さんの回診に出かけています。

時には江府から大山に入り蒜山まで足をのばすことがあります。下界はなお炎暑のさなかでも高原は秋の気配。早くも冬仕度か、夏草を焼く煙がまっすぐに空に舞い上るのを眺めていると、高原の秋を肌で感じることができます。かつて、本欄で紹介した家内の「高原に　煙一本　秋立ちぬ」の心境です。

俳句、されど俳句ですが、趣味の世界に句作をしなくても、参加するだけでも楽しいものです。今年も又、すばらしい日野路の秋を楽しみたいものです。

次の数句は、秋を迎えて、自宅での風景を家内が詠んだものです。私はもっぱら”評論家君“の立場にいますが、ここではコメントを控えさせていただきたいと思います。

老二人　猫一匹の　夜の秋

和紙になじむ　インクの香り　夜の秋

のど飴を　分かちて二人　秋の雨

良妻も　ときに悪妻　濁酒

秋天や　老いても消えぬ　力瘤

わが夫と　影をひとつに　良夜かな

（カットは玉井嗣彦名誉病院長）

病院事業等は８年連続で黒字決算となりました！

平成26年度決算のご報告

去る８月２８日に開催された日野病院組合議会において平成２６年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

病院収益ですが、外来患者数は微増も入院患者数が減少しました。診療単価は共に微減でした。医業収益が減少となりましたが、医業外収益が制度改正の影響により増加し、収益全体では増収でした。また、在宅は、訪問看護が増収、訪問リハビリが減収、居宅支援が増収でした。診療所は、患者数が減少し減収でした。一方費用ですが、材料費、経費は減少しましたが、制度改正による特別損失等の影響により増加しました。決算額ですが、７，３９２千円の黒字決算となりました。

○ 介護老人保健施設事業（あやめ）

平成２６年度で施設運営を開始してから９年目を終えました。前年度と比べ入所利用者、短期入所が大幅に減少しました。通所リハビリは増加しましたが、収益は減収となりました。費用は、主に材料費・委託費は減少しましたが、制度改正による特別損失等の影響により増加しました。決算額ですが、６８，５０５千円の赤字決算となりました。

日野病院組合事業決算概要

○病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

（単位：千円）

区分		２５年度	２６年度	増減	備考
収益	医業収益	1,170,308	1,155,700	△14,608	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	57,758	61,762	4,004	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	370,584	402,990	32,406	負担金交付金、補助金、長期前受金戻入等
	収益合計	1,598,650	1,620,452	21,802	
費用	医業・介護費用	1,520,019	1,533,387	13,368	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	36,325	34,256	△2,069	企業債利息、消費税等
	特別損失		45,417	45,417	6月賞与の内平成25年度12.1.2.3月分を計上（制度改正）
	費用合計	1,556,344	1,613,060	56,716	
決算額		42,306	7,392	△34,914	

資金不足比率　※	該当なし	該当なし		((流動負債等－控除引当金)－流動資産)/営業収益×100
資金不足負担金発生までの額	497,528	492,066	△5,462	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生
年度末退職給与引当金残高	236,560	263,736	27,176	引当額47,754千円 退職金支払額20,578千円（3名）

○介護老人保健施設事業（あやめ）

（単位：千円）

区分		２５年度	２６年度	増減	備考
収益	介護サービス収益	379,018	346,324	△32,694	介護報酬収益、利用者負担収益等
	介護サービス外収益	405	278	△127	主治医意見書、認定調査等
	収益合計	379,423	346,602	△32,821	
費用	介護サービス費用	344,365	357,039	12,674	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	介護サービス外費用	45,344	45,344		江府町への負担金
	特別損失		12,724	12,724	6月賞与の内平成25年度12.1.2.3月分を計上（制度改正）
	費用合計	389,709	415,107	25,398	
決算額		△10,286	△68,505	△58,219	

資金不足比率　※	該当なし	0.060		((流動負債等－控除引当金)－流動資産)/営業収益×100
年度末退職給与引当金残高	8,127	17,361	9,234	引当額11,473千円 退職金支払額2,239千円（2名）

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

1.病院事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）			病床利用率（%）		
	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減
(1) 入院診療	25,689	25,373	△ 316	29,646	29,619	△ 27	71.1	70.2	△ 0.9
(2) 外来診療	37,829	37,851	22	8,669	8,507	△ 162			

2.在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			1人1日当たり単価（円）		
	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減
(1) 訪問看護等	5,309	5,345	36	10,879	11,555	676

3.診療所事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）		
	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減
(1) 黒坂診療所	649	550	△ 99	4,128	4,284	156
(2) 二部診療所	80	69	△ 11	4,325	4,576	251

4.介護老人保健施設事業（あやめ）

項目	患者数（人）			稼働率（%）		
	25年度	26年度	増減	25年度	26年度	増減
(1) 入所	24,698	21,945	△ 2,753	96.7	85.9	△ 10.8
(2) 短期	1,016	876	△ 140	27.8	24.0	△ 3.8
(3) 通所	6,297	6,591	294	67.7	71.1	3.4

○　部門別各種統計（抜粋）

（単位：件または人）

手術件数	25年度	26年度	差引
外科	64	47	△ 17
整形外科	145	102	△ 43
眼科	122	122	0
泌尿器科	0	0	0

内視鏡検査	25年度	26年度	差引
胃カメラ	674	606	△ 68
胃透視	7	1	△ 6
大腸ファイバー	131	106	△ 25
大腸透視	0	0	0
気管支鏡	13	12	△ 1
胃ろう造設術	14	13	△ 1

超音波診断検査	25年度	26年度	差引
腹部エコー	543	497	△ 46
心甲乳エコー	259	281	22

薬局状況	25年度	26年度	差引
服薬指導(人数)	388	373	△ 15
服薬指導(件数)	660	556	△ 104
訪問服薬指導	81	23	△ 58
処方箋枚数	11,006	11,340	334
薬剤数	32,249	34,405	2,156
注射箋枚数	14,387	12,966	△1,421

栄養管理室状況	25年度	26年度	差引
入院時延べ食数	64,526	67,609	3,083
外来透析食数	884	887	3
栄養指導	532	516	△ 17

検査室状況	25年度	26年度	差引
血液検査	20,082	19,340	△ 742
尿検査	5,249	5,064	△ 185
心電図	1,726	1,668	△ 58
呼吸機能	479	382	△ 97
眼底カメラ	273	257	△ 16
脳波	23	24	1
血圧脈波	23	120	97

訪問看護状況	25年度	26年度	差引
実人員	395	451	56
延べ人員	1,785	1,815	30

居宅支援	25年度	26年度	差引
件数	1,165	1,460	295

訪問リハビリ	25年度	26年度	差引
実人員	670	680	10
延べ人員	3,524	3,530	6

放射線室状況	25年度	26年度	差引
単純撮影	5,811	5,821	10
骨塩定量	465	540	75
乳房撮影	23	15	△ 8
CT検査	1,626	1,554	△ 72
MRI検査	644	640	△ 4

人工透析状況	25年度	26年度	差引
実人員	133	145	12
延べ人員	1,552	1,714	162

理学療法状況	25年度	26年度	差引
運動器リハ(Ⅰ)	9,440	10,328	888
運動器リハ(Ⅱ)	3,572		△3,572
呼吸器リハ(Ⅰ)	952	1,253	301
脳血管リハ(Ⅱ)	8,765	6,528	△2,237
脳血管リハ(Ⅱ)廃用	1,775		△1,775
退院時(前)指導	342	345	3
徒手(器具)的処置	905	915	10
地域包括ケア病床分		6,801	6,801

作業療法状況	25年度	26年度	差引
運動器リハ(Ⅰ)	1,081	1,288	207
運動器リハ(Ⅱ)	376		△ 376
呼吸器リハ(Ⅰ)	0	77	77
脳血管リハ(Ⅱ)	2,145	1,953	△ 192
脳血管リハ(Ⅱ)廃用	273		△ 273
地域包括ケア病床分		803	803

言語聴覚療法状況	25年度	26年度	差引
脳血管リハ(Ⅱ)	1,733	3,099	1,366
脳血管リハ(Ⅱ)廃用	149		△ 149
摂食機能療法	514	667	153
地域包括ケア病床分		442	442

検診実施状況	25年度	26年度	差引
人間ドック	207	189	△ 18
脳ドック	58	64	6
生活習慣病検診	133	122	△ 11
婦人がん検診	75	67	△ 8
予防接種	1,609	1,778	169

すまいる互版

☺ 日野病院組合＊在宅介護支援事業所
お気軽にご相談下さい！

＜連絡先＞
☆ 訪問看護ステーション
０８５９－７２－２７０６
☆ 居宅介護支援事業所
０８５９－７２－２７２３

「しもぐろさかハツラツ～めざせピンコロ～」

H27年度日野町ぽかぽか教室＊講演会参加報告

訪問理学療法士＊田中武志・中村弓子

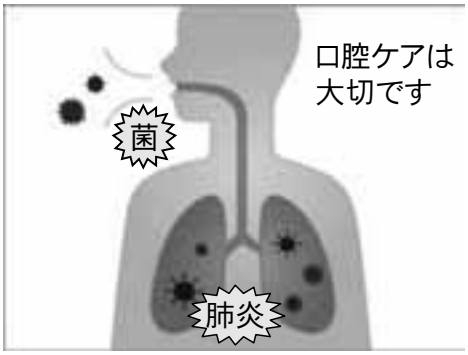
今回は、日野町下黒坂にある温水プールの利用促進を目的に鳥取大学医学部・地域医療学講座の井上和興医師と、医学部6年生の学生さん2名による地域医療のお話の後、訪問理学療法士による筋力増強と水中運動方法についてお伝えしました。

今回のぽかぽか教室の参加者は下黒坂沼南（しょうなん）クラブの22名の方々でした。皆様メモを取りながら熱心に受講されておられました。終了後のアンケートでは「自分に合った運動を続けていきたい」「プールを利用しようと思った」など、積極的に運動に取り組もうとされる熱意を感じるご回答をいただきました。地域での取り組みや住民同士のつながりの大切さを改めて感じております。今後も皆様との交流を図りながら、ハツラツと暮らせる地域づくりのお手伝いをさせていただきたいと思います。

H27年度　高齢者の口腔機能向上スキルアップ研修会～参加報告～

訪問看護師＊毛利富士美

「高齢者に関わる施設職員に対して口腔機能向上のための口腔ケア」について知識を深め、スキルアップを図ることを目的に開催されました。口腔機能の低下が生活の質及び全身状態に大きく影響することを改めて学ばせて頂きました。高齢者の死因第1位は肺炎です。口腔内を清潔に保つことで防げる肺炎もあります。口腔ケアにより、口腔機能の向上を図り、様々な疾患の予防に努めることが重要であると感じました。



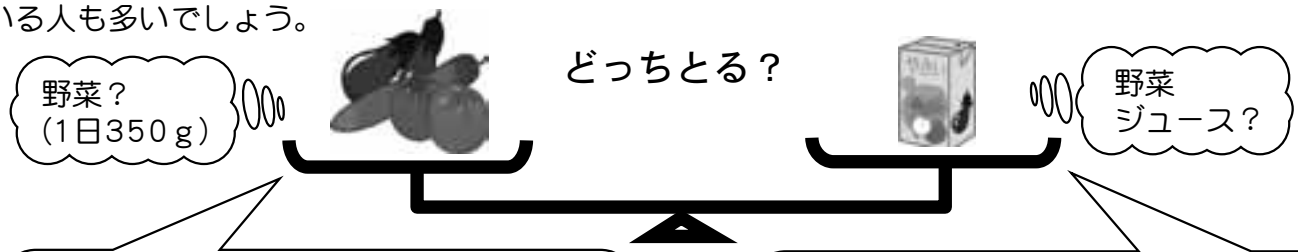
≪ 勉強会の＊ご案内 ≫

10月には鳥取県歯科衛生士会より講師をお招きして地域の関連施設と連携して『口腔ケアを学ぼう』をテーマに施設内研修を予定しています。多数のご参加お待ちしています。

栄養ニュース☆ NO.9

【野菜ジュースは野菜の代わりになる？】

厚生労働省が21世紀における国民の健康づくり運動として掲げている『健康日本21』によると、１日あたりの**野菜摂取量の目標量は３５０ｇ**となっています。忙しく働く人や1人暮らしで自炊をしていない人は、野菜不足の傾向が強いため、手軽に購入できる野菜ジュースを野菜の代わりにしている人も多いでしょう。



・食物繊維が豊富
　→便通改善、腸内環境を整える
　　血糖の上昇をゆるやかにする
・ビタミンCや葉酸などが豊富
・旬の野菜は栄養価が高い
・よく噛んでゆっくり食べて食欲を調節できる

・手軽
・不溶性の食物繊維が少ない
・ビタミンCが少ない
　→製造工程で栄養素が壊れやすい
・糖分が多いものがある
・噛む必要がない

Q.野菜がとれない場合、代わりに野菜ジュースでも良いですか？

A.たまには良いでしょう。
ただし、果物や食塩の入っていないものを選びましょう。

Q.のどが渇いたとき、野菜ジュースを飲んで良いですか？

A.炭酸飲料やジュースよりは良いでしょう。
ただし、飲みすぎには気をつけて。
（種類によってβカロテンや糖分のとりすぎに要注意）

～野菜ジュースを効果的に飲む４つのポイント～

（1）炭酸飲料やジュースの代わりにする

食事の際にお茶や水以外の飲料を飲む機会もあるでしょう。そういったときには、野菜ジュースを選ぶようにしましょう。栄養サポート食品として健康の維持に役立ちます。

毎日野菜ジュースを飲むと、糖分や塩分の摂取が多くなってしまい、高血圧や糖尿病といった生活習慣病のリスクが上がる場合もあるので、たまに飲むのがおすすめです。

（2）食物繊維やビタミンC含有量の多いものを選ぶ

野菜ジュースを製造する過程で少なくなってしまう食物繊維やビタミンCなどを補うために、これらの栄養素を後から添加している製品もあります。成分表示を見比べて、栄養素の含有量が多いものを選びましょう。

（3）自分で野菜ジュースを作って飲む

自分で旬の野菜を買ってきてミキサーで野菜ジュースを作るのもおすすめです。加熱処理をしないため、ビタミンCなどの栄養素も壊れませんし、野菜ジュースよりも栄養価の高いジュースを飲むことができます。

（4）飲みタイミングは食前

食事の際に、ごはんやパンなどの炭水化物（糖質）から食べると、血糖値が上昇してしまいます。野菜ジュースから飲むようにすれば、食物繊維から摂取でき、血糖値の上昇を抑えることができるため、糖尿病や肥満予備軍の人におすすめの飲み方です。

★日野病院　栄養管理室★

介護老人保健施設あやめ

《通所リハビリテーション》

◎花回廊に行ってきました

今回はトロッコ列車に乗って、歩いてはなかなか行けない花の丘などの花々を見てきました。また写真撮影にも興じ、一番の楽しみソフトクリームを「美味いなー」とうれしそうに食べていただきました。

帰りの車中で利用者様から「花がきれいだったよ」、「中々出かけられんから、よかったです」とお言葉を頂戴することができ、職員一同うれしく思いました。

◎運動会

今年も職員が考えた競技で赤組と青組に分かれて一進一退の点取り合戦が繰り広げられました。どちらの組も一生懸命競技に挑み、楽しまれた様子が伺えました。秋の運動会も楽しんでいただけたらと思っています。

《入所サービス》

◎夏祭り

恒例の夏祭りを８月７日に開催しました。今年は職員による傘踊り、裏大山踊りや唄で楽しんでいただきました。仕事を終えてからの短期間の練習でしたが、利用者の皆様からは「おかげさまで、元気をもらいました。」と沢山の拍手喝采で夏の夜の一時を過ごしていただきました。

～介護職員募集～

あやめでは介護職員を募集しています。未経験の方でも介護の仕事に興味のある方は施設の見学を。お待ちしています。

★ご相談　　江府町大字武庫４７５番地　　介護老人保健施設あやめ
ＴＥＬ0859－７５－３２３０・ＦＡＸ0859－７５－３２８０

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて

私たちの専門は、住民の「生活」であり日野という「地域」そのものです

私たちは鳥取大学地域医療総合教育研修センター（日野病院内）を拠点に日野町内で活動していますが、時々、「先生方の専門って、何ですか？」と尋ねられます。

私たちは日野病院総合診療内科医師として病気を診ていますが、「Aさんの○○病」、「Bさんの△△症候群」ではなく、Aさん、Bさん自身と、暮らす地域そのものをどう診るかが私たちの課題であり、目指すべき専門性でもあると考えています。さらに、ご家族、行政とも協力しながら、地域の健康増進、予防など幅広い役割を担っていきたいと考えております。

そのために、白衣を脱ぎ地域に出かけて、生活に直に接する必要があると考えました。１年前から『ぽかぽか教室』、『おしどり学園』などの健康講座、料理教室などに参加して、健康上の問題、疑問点などに耳を傾けています。話しの中で、「この田畑を守るのは自分しかいない。だから、認知症などにならないよう、末永く元気でいる方法が知りたい。」などの切実な疑問が聞かれます。このような質問にきちんと応えることが、地域を診る私たちには求められていると感じています。

町内の公民館にて

現在、黒坂地区の住民さんにモデル地区として協力いただいています。暮らしに直に接しながら、健康問題の解決、地域づくりにもかかわるよう、計画しています。８月下旬から１０月にかけて、医師・看護師を目指す学生たちを連れて、黒坂の公民館やご自宅に訪問したいと考えています。よろしくお願いいたします。

鳥取大学医学部地域医療学講座
准教授　浜　田　紀　宏

医学科6年生の臨床実習を行いました

５月18日から８月７日まで、日野病院に鳥取大学医学部６年生がやってきて、総合診療内科外来を中心に研修を行いました。医師として働き出す前年に、病院実習の総仕上げとして外来診察を行ってもらいました。

これまで外来診療をしたことのない学生たちでしたが、四苦八苦しながら、教科書通りにはいかない、実際の患者さんを診察する難しさを実感してくれたように思います。

これまで学生が受け身で研修することの多かった医学教育ですが、学生が責任感を持って診察するという意味で一歩進んだ教育の場として研修センターが役に立ったのではないかと思います。

学生が丁寧に問診し診察するなかで、患者さんには時間がかかり過ぎてしまったりすることもあったかと思いますが、ご協力ありがとうございました。実習後アンケートを見てみると、学生たちはみな地域医療の醍醐味を感じてくれたようです。

実習のまとめ会（日野町、病院の皆さんと）

鳥取大学医学部地域医療学講座
助教　朴　　大　昊

合ニュース

再就業支援研修「日野病院 再チャレンジ教室」のご案内

育児から少し手が離れたので働きたいと思っている方、医療現場を離れ再就業に不安を感じているあなたへ!!

「日野病院　再チャレンジ教室」に、お気軽に声をかけて下さい

研修目的：看護の仕事から一時離れている看護師の再就職の支援を行う
研 修 日：随時、相談に応じます
服　　装：軽装
参 加 費：無料
研修内容：日野病院における看護の概要説明
看護記録について
感染防止対策
医療安全対策
看護技術（医療機器操作・気管内吸引手技・スキンケアなど）
施設見学

連 絡 先：日野病院　看護局　小村裕美子（☎0859－72－0351）

車椅子を寄贈していただきました

日野町の埒田安雄様より車椅子を寄贈していただきました。

車椅子は正面玄関など患者様が利用しやすい場所に配置して利用しています。寄贈ありがとうございました。

職員募集中

日野病院では、現在次の職員を募集しています。

○医師　　○看護師
○薬剤師

日程や試験内容など、詳しくは日野病院までお問い合わせ下さい。

改善 患者様の声（改善点）

このコーナーでは、患者さまからいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。）

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。

これからもお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）

また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎待ち時間の間、何か読むものと思っていますが、2～3冊の週刊誌（女性用）とか、その時々の季節に合わせての読むものをお願いします。

これまで料理のレシピ等参考にして大変助かりますが、服装関係の本もその時季に合わせて置いて頂けたらと思います。

現在外来待合に置いている本や雑誌の多くは、日野町図書館から寄付いただいたものを置いています。病院関連のものを除き、病院が購入した雑誌等は置いていません。

以前から「雑誌や新聞を置いてほしい」との声をいただき、その都度検討していますが、患者さんごとに好みも異なるため、病院が置くことをしていません。

誠に申し訳ございませんが、雑誌や新聞につきましては、売店等をご利用いただき、個人での購入をお願いしたいと思います。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

日野病院組

地域と触れ合いながら

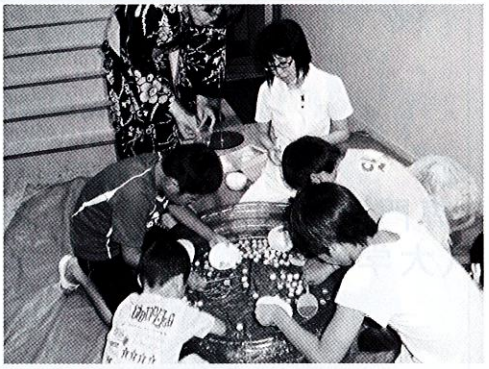
7月18日に開催された「ねうまつり」に今年も日野病院組合職員互助会として参加しました。台風による影響が懸念されましたが、当日は絶好の祭り日和となり、全員楽しみながら根雨の町中を踊り歩くことができました。

たくさんのご声援と拍手、またご祝儀を頂きましたことに厚くお礼を申し上げます。

大賑わいの納涼祭

7月24日に納涼祭を開催しました。入院患者様と近隣住民の方、総勢80名以上の参加がありました。日野高校野坂先生による巧みな話術に彩られたマジックショーとバルーンアートでは常に感嘆の声に包まれました。また、ビューテーズさんの華麗な舞踊りでは、みなさん合いの手を打ち鳴らされ、会場の一体感も最高潮となりました。屋台コーナーでは、新たに当てくじを取り入れ、スーパーボールすくいや輪投げなどと並び、どの屋台も子どもたちが途切れることない列を成していました。

次のイベントは、12月のクリスマス会ですが、すでに実行委員は趣向を凝らした会にすべく活動を始めております。皆様の参加を心よりお待ちしています。



〈編集後記〉

梅雨が明け、猛暑が続きました。そんな中、根雨祭・納涼祭と様々なイベントで賑わいました。

住民の方、入院患者様、病院職員が一緒になり、とても素敵な時間を過ごすことが出来たと思います。

これからは季節の変わり目…気温の変化がみられます。体調を崩さないよう、気をつけていきましょう。（長）

連絡先

日野病院
鳥取県日野郡日野町野田332番地
ＴＥＬ　0859-72-0351
ＦＡＸ　0859-72-0089

黒坂診療所
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
ＴＥＬ　0859-74-0351
ＦＡＸ　0859-74-0351

二部診療所
西伯郡伯耆町二部1554番地4
ＴＥＬ　0859-62-0351
ＦＡＸ　0859-62-0351

切り取り線

せせらぎ　平成27年9月　発行/日野病院組合　編集/日野病院広報委員会　住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332　TEL/0859-72-0351　FAX/72-0089　印刷/冨士印刷有限会社

日野病院　外来診療案内

最新版　H.27.10～

午前　午後　休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	櫃田　豊	櫃田　豊	細田　譲（第1・3週）	櫃田　豊	岡田健作
					松本和久※3（第2・4週）		
		午後			松本和久※3（第2・4週）		
	二診	午前			田本明弘	中下聡子※3	中本成紀
		午後			田本明弘		中本成紀
	三診	午前	岡田健作	椋田権吾	熊野健太郎	熊野健太郎	椋田権吾
		午後					
	総合診療内科	午前	朴　大昊	朴　大昊	井上和興	大学医師	
		午後	朴　大昊	朴　大昊		大学医師	
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大学医師	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	藤田章啓	藤田章啓	岸本勇二	藤田章啓	藤田章啓
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	大谷史江
小児科		午前	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
アレルギー科		午後※2	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
専門診療科（大学医師）		午前	**禁煙外来** 櫃田　豊※4	**女性診療科** 秦　幸吉	**消化器内科** 田本明弘	**耳鼻科** 竹内裕美	**呼吸器内科** 中本成紀
			泌尿器科 引田克弥	**皮膚科** 大学医師	**血液内科** 細田　譲（第1・3週）	**脳神経内科** 中下聡子※3	
					糖尿病外来 松本和久※3（第2・4週）		
		午後		**心臓外科** 西村元延（第1・3週）	**消化器内科** 田本明弘		**呼吸器内科** 中本成紀
				ペースメーカー 西村元延（偶数月第3週）	**糖尿病外来** 松本和久※3（第2・4週）		**心療内科** 板倉征史
				血管外科 佐伯宗弘（第2週）	**女性診療科** 大学医師（第1週）		

（注）医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間　●午前＝7時30分～11時30分（一部8時30分～10時30分※5）　●午後＝正午～16時

診療開始時間　●午前＝9時～　●午後＝14時～

電話による受付（内科・整形外科）　●10時～10時30分（当日の午前受付のみ）電話番号　0859－72－2733（専用）

電話による予約日の変更受付　●14時～16時の間（予約日の前日までの平日のみ）
電話番号(内科) 72－2721（整形外科）72－2720（外科・泌尿器科）72－2719

休診日　●土曜日・日曜日・祝日　●8月14日・15日　●12月29日～1月3日

※1　火曜日の眼科受付時間は10時30分までです。

※2　午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。

※3　完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。

※4　禁煙外来（月曜日）の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。

※5　初診の方・常勤医師（内科・外科・整形外科）の診察予約日以外に受診の方

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町（日野町・江府町・伯耆町）の全戸に配布しています。

切り取り線

外来診療案内ポケット版

午前　（受付時間は、7時30分から11時30分まで）　(H.27.10月～)

診察科目		月	火	水	木	金
内科	一診	櫃田	櫃田	血液(第1･3週)･糖尿病(第2･4週)	櫃田	岡田
	二診			田本	(脳内)	(呼吸器)
	三診	岡田	椋田	熊野	熊野	椋田
	総合診療内科	朴	朴	井上	(大学)	
外科		(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤
整形外科		藤田	藤田	岸本	藤田	藤田
眼科		玉井	玉井	上田	玉井	大谷
小児科		頭本	頭本	頭本	頭本	頭本
その他（大学）		禁煙外来・泌尿器科	女性診療科・皮膚科	消化器内科・血液内科(第1･3週)・糖尿病外来(第2･4週)	耳鼻科・脳神経内科	呼吸器

午後　（受付時間は、12時から16時まで）

診察科目	月	火	水	木	金
内科	総合診療内科	総合診療内科	消化器内科	総合診療内科	(大学)
小児科	頭本	頭本	頭本	頭本	頭本
その他(大学)		心臓外科（第1・3週）血管外科（第2週）ペースメーカー（偶数月第3週）	消化器内科 糖尿病外来（第2・4週）女性診療科（第1週）		心療内科 呼吸器

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

（切り取って財布等に入れご利用ください）

日野病院組合だより

出かける医療、近づいていく医療と福祉をめざして

せせらぎ

No.55

平成28年１月発行

題字　櫃田　豊　病院長

発行／日野病院組合 編集／日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ http://www.hinohp.com/ FAX0859-72-0089

日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

日野病院組合管理者
景山享弘

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆さまのお陰をもちまして、新しい年を迎えることができました。

昨年一年を振り返ってみると、今のまま人口が減少してゆくと西暦2040年には現在1700余りある地方自治体のうち30％にあたる520もの市町村が無くなってしまうという「地方消滅論」に始まり、それを解消とまではいかないにしても、いくらかでも緩衝できるよう、せめて自らの自治体だけでも人口減少を和らげられるよう、「出生率をあげよう。よそから人を引っ張ってこよう。」と日本中がざわめきたった「地方創生戦略」に明け暮れた一年であったように思えます。

もちろん地域を健全に維持していく上で人口の維持、少子高齢化の解消は重大な命題で、そのために地方自治体は、知恵をしぼり、官民スクラムを組み、「住民総活躍」で取り組まなければなりません。ただ、この課題は、全国の少子高齢化状態の先端を行く鳥取県にとって降って湧いたものでもなく、長く苦悩してきた問題です。そう簡単に解決するはずはありません。間断なく工夫を繰り返し、長く戦わざるを得ない問題です。

この様な敏感に、そしてスピーディに変革を求められる時代にあって、日野病院組合もまた変化・進化を続けています。

一昨年に日野病院内に開設された鳥取大学地域医療総合教育研修センターでは、日野病院を地域医療の教育の場として医師をはじめとするスタッフの指導・協力を得ながら多くの医学生や研修医が育っています。同センターの設置により総合診療内科という新しい外来診療科を設置できたことも日野病院にとって、また地域住民にとって大きなメリットでした。

研修機関としての位置づけは医師に対するものだけではありません。全国で急増する高齢者に対して病院という受け皿では支えきれないということで、今大きくクローズアップされているのが「訪問看護」です。まだまだ全国的に「訪問看護師」は不足しており、その育成は急務です。その教育施設としても日野病院訪問看護ステーションは貢献しています。県内でも先駆け的ステーションとして、鳥取大学医学部附属病院看護師キャリアアップセンターの訪問看護師育成事業の協力施設に指定されているのです。

これらは変化・進化の一端であり、櫃田院長の口癖である「環境に適応できた者のみが生き残る。」との言葉どおり、日野病院は変化し続けることでしょう。そして皆様に信頼される地域病院としてあり続けたいと強く願います。どうぞ皆様の応援をよろしくお願いいたします。

年頭のご挨拶

～日野病院における地域医療教育～

日野病院病院長
櫃田　豊

明けましておめでとうございます。本年も旧年と変わりませず日野病院組合をよろしくお願いいたします。

さて、以前より大学病院が「診療」「教育」「研究」の３つの役割を担っているのに対し、日野病院のような一般病院は主に「診療」のための施設とされてきました。しかし、最近になり、医学教育の役割に占める一般病院の比重が増しています。

その理由の１つに日本が国際標準の医学教育認証評価制度の導入を目指していることが挙げられます。国際標準をクリアするためには、臨床実習期間が概ね２年間あること、診療参加型臨床実習であること、多職種連携を円滑に行い患者との接触機会を十分確保し、プライマリケア診療を含めることなどが必要とされています。このような教育内容を大学病院だけで完結することは不可能なのです。

もう１つの理由は、平成19年以降の医学教育モデル・コア・カリキュラムの地域医療重視の方向性です。具体的には、入学早期から実施されている地域の保健・医療・福祉・介護などの機関における「早期体験学習」、主として３～４年次に実施される「社会医学実習」、臨床実習時における「地域医療臨床実習」が示されています。これらも地域医療の現場でなければ効果的に実施することは困難なのです。

このような背景もあり、日野病院も医学教育、特に地域医療教育に力を注いでいます。平成26年に鳥取大学地域医療総合教育研修センターが開設されたことをご存知の方もおられると思います。現在、日野病院は同センターの指導の下、鳥取大学医学部医学科の１年生（早期体験・ボランティア）、４年生（地域医療体験実習）、６年（臨床実習２）に実習や研修の場を提供するとともに、その実施に協力しています。

ところで、日野病院にやってくる学生は鳥取大学の医学生だけではありません。鳥取県が主催する医学生サマーセミナー（地域医療体験研修）に参加する他大学の医学生、米子北高校看護科４、５年の看護学生（臨床実習）、鳥取県が主催する看護サマーセミナー（看護体験研修）に参加している看護学生、理学療法士科の学生であるＹＭＣＡ米子医療専門学校４年生、畿央大学冬木学園４年生なども日野病院で実習や研修を行っています。

さらに、学生以外に卒業後の臨床研修を行っている医師、すなわち研修医も来ています。研修医は２年間、主として自分が所属する研修指定病院で研修しますが、１か月以上の地域医療研修が義務付けされています。地域医療研修は通常研修指定病院の協力施設で行われます。鳥取県内には鳥取大学医学部附属病院を始め８つの研修指定病院がありますが、日野病院はそれらの内、７つの病院の協力施設となっています。日野病院で地域医療研修を行った研修医は平成18年以降20人に上ります。

地域医療教育の大きな目的の１つは、将来地域医療を志す医療従事者を１人でも多く増やすことにあります。そのために私共職員は多忙な日常業務の中、地域医療の持つ特性や魅力を積極的に学生や研修医に伝えています。

新春所感

—我が民族の宗教心—

日野病院名誉病院長　玉　井　嗣　彦

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、晴れ晴れと希望に満ちた新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

私は鳥取大学を定年退官後、日野路の日野病院に名誉病院長として赴任してから、早くも15度目の新春を迎えました。今年も日野病院の更なる発展と地域医療の活性化に貢献できたら幸いと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

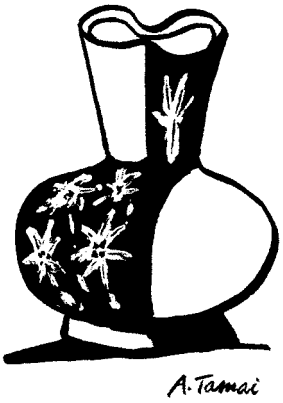
新年早々講釈でもありませんが、我々日本人は不思議な民族であると言われています。大和民族の大和という言葉は、天理市付近の地名山処（やまと）が起源で、元明天皇の時代に国名に二字を用いることが定められ、「倭」に通じる「和」の字に「大」の字を冠してできたとされています。しかし、日本の古代、大和民族の成立にユダヤ教、キリスト教が深く係わっていたのではないかと主張する人の話では、大和はヘブル語では「神の民」という意味なので、後から漢字が入ってきて、その発音に当てはめたものではないかと推測しています。

よく似た事例では、昔はヘブル語でエルサレム宮殿のことをシオンといいましたが、京都の祇園はこのシオンからきたと言われています。また、イエスの時代はヘブル語から少し変形したアラム語が使われていましたが、アラム語ではイエス・キリストのことをウッシュ・マサと言いました。古くはウツマサと言われていた京都の太秦（うずまさ）は漢字は当て字ですが、この言葉に通じるようで、古代の日本にはユダヤ人が深く係わっていたと考えるのが自然のようです。

今日聖徳太子は、日本に仏教を伝えた人であったと言われていますが、梅原元京大教授は自書の中で、法隆寺建立の本当の目的は、仏教を擁護し広めていった蘇我氏に惨殺された聖徳太子と、その一族の怨霊を静めるために建立したと主張しておられます。太子は仏教の擁護者でなく、その対象にあったとの主張ですが、聖徳太子時代の建立である太秦の広隆寺は何を物語っているのでしょうか。

ともあれ、不思議な民族としての日本人は、ふだんは神仏を意識しませんが、現代にあっては、少なくとも盆とクリスマスと正月だけはうまく神様、仏様を使いわけ年中行事をこなしています。

今年家内と出かけた出雲大社の初詣では、神様も処理に困られるほどの種々のお願いをさせていただきました。その際、“吉”のおみくじを引きました。まだまだ努力すれば、栄えてゆく運勢とのことで安堵はいたしましたが、色情は慎めの一項目が妙に気にかかっています。私には縁のない話ですが、出雲の神様には大いに関心がおありのようです。



（カットは玉井嗣彦名誉病院長）

すまいる互版

【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

＜連絡先＞
☆訪問看護ステーション　　☆居宅介護支援事業所
0859－72－2706　　0859－72－2723

本年もたくさんの**すまいる**お届けします♪
どうぞよろしくお願いします
スタッフ一同

明けましておめでとうございます。新年のご挨拶をさせていただきます。平成27年4月より在宅介護支援事業所の所長を務めさせていただくようになり、早くも９ヶ月が経過致しました。まだまだ微力ではございますが、地域の皆様にご満足いただける在宅医療・介護の拠点となりますよう、職員一同さらに励んで参りますので、今年も何卒宜しくお願い申し上げます。

在宅介護支援事業所　施設長 岡田健作

あけましておめでとうございます。
寒い季節となりました。皆様におかれましては「我が家の温もり」に包まれて、健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。
在宅介護支援事業所職員一同も、新たな気持ちで地域の皆様に頼りにされるよう、益々精進致しますので本年もよろしくお願いいたします。

在宅介護支援事業所　次長 小村裕美子

～口腔ケア講習会☆ご報告～

H27年10月22日鳥取県西部歯科衛生士会、歯科医師会より歯科衛生士さんをお２人お迎えし、標記の研修会を開催しました。地域の介護福祉施設６事業所より30名の参加があり、有意義な研修会となりました。
たくさんのご参加ありがとうございました！

～居宅介護支援事業所☆アンケートご報告～

H27年10月ケアマネージャーをご利用いただいている要介護１～５の方を対象に、満足度調査を実施いたしました。

アンケート集計結果
・回収率７７％（７９件配布中）
たくさんのご回答
ありがとうございます！！

昨年と同じ質問内容で、介護保険の手続きやケアプランの説明、ケアマネの態度、ケアプランへ希望が反映されているかどうか、緊急時対応に関する問いには、わかりやすい、反映されているなどといった好ましい評価を昨年同様約９割以上の方にいただくことができました。ご利用者様の要望を十分に反映したケアプランが提供できますよう努めます。
なお、アンケート結果の詳細につきましては、各ご利用者様へ文書にてご報告させていただきます。

自由回答より～抜粋～

【ご意見】プランの作成が毎月なので毎月家に来られて1か月はすぐ経ちますし、そんなに本人も変わりないのでもうちょっと２～３か月に１回家庭に来てもらえませんでしょうか。仕事を持っていますと休みもとらないといけないし、今後の検討をお願いします。
【回　答】⇒日頃よりサービス調整にあたってご協力ありがとうございます。ご自宅への月1回以上の訪問は介護保険上義務付けられた業務であり、適宜複数回訪問する場合もあります。介護と仕事の両立などお忙しい時間を調整していただくことがご負担になる場合には、ご本人様の状態確認をご自宅で行い、ご迷惑にならない範囲でご家族に状況を確認させていただくなど、対応方法を検討させていただくこともできますので、ご相談をお願いいたします。

【ご意見】まだ私（娘）が手さぐり状態なのでどんなことをお願いすればいいのか・・・。
【回　答】⇒ご自宅での介護が不安なく続けていかれることができますよう、介護サービスだけでなく地域の資源など、ご本人の生活全体を理解したうえで、ご本人・ご家族の望まれる生活が実現できるような支援に努めます。
ご本人・ご家族と共にサービス内容を検討できればと思いますので、心配なことがありましたらお気軽にご相談ください。

栄養ニュース☆ NO.10 【アルコールと上手に付き合おう】

12月・１月は、いろいろな行事がありアルコールを飲む機会が多くなります。そこで、今回はアルコールの話をしたいと思います。

飲酒をする際、「食べるとアルコールがまずくなる」、あるいは「エネルギーの摂り過ぎが気になるが、アルコールを減らしたくない」という理由でつまみを摂らない、あるいはごく少量しか摂らない人がいますが、肝臓でアルコールを処理するためにはさまざまな栄養素が必要です。

アルコールは空腹時に摂取した場合、アルコールの60～90％は30分以内に、95％は60分以内に吸収されます。そのため、**飲酒時のつまみの状況により、消化管への負担やアルコールの吸収速度に影響を与えます。つまみの内容や摂り方を考慮すれば、酔いを軽減することもできます。**つまみをしっかり摂りながら飲む人には、肥満が多く、摂らずに飲む人にはアルコール性肝障害や低栄養傾向の人が多いと考えられます。

＋

たんぱく質の多い料理
例）刺身、焼き魚、焼き鳥、玉子焼き、枝豆、冷奴　など

ビタミン・ミネラルの多い料理
例）サラダ各種、野菜ソテー、おひたし　など

控えたい料理(つまみ)

- 揚げ物(フライドポテト、から揚げ、コロッケ等)
- 油を多く含む料理(ウインナー、豚の角煮など)
- 塩からすぎるもの
- 辛すぎるもの

①料理（つまみ）選択のポイント

- 肉類・魚介類・大豆製品・卵類・乳類を多く含む料理を選ぶ
- 野菜の多い料理を選ぶ

②胃への負担と酔いの軽減のポイント

- 飲酒前に胃内へ食べ物を入れておきましょう。（乳製品などがオススメ）
- 飲酒前に水分を多く摂ると胃粘膜が洗い流され、胃への負担が増強し、アルコール吸収速度が早くなるので気を付けましょう。

③糖尿病・脂質異常症の方は…

アルコールと脂肪を多く摂取すると高トリグリセリド血症を助長しますので、エネルギー過剰にもつながりやすい揚げ物、マヨネーズなど油を多く含む食品・料理は、控えめにするとよいでしょう。

＜アルコールの１日の適量＞

ビール 中ビン１本　ワイン グラス２杯弱　日本酒 １合弱　焼酎 半合弱　ウイスキー・ブランデー ダブル１杯

※ただし、女性はこれらの半分量が適量の目安です！

★日野病院　栄養管理室★

介護老人保健施設あやめ

12月に入り雪が降り寒くなったと思えば晴天が続くなど、体調の管理が非常に難しい昨年末の天候でした。昨年は非常に感染力の強い風邪の流行により、皆様にご心配をおかけしましたが、今年は今まで以上に感染予防に努め、施設の目標であります安全・安心な環境を提供し満足していただけるサービスの提供に努めるよう職員一丸となって取り組んでいます。

《入　所》

◎敬老会

今年度の敬老会は、江府町の白石副町長をお招きし盛大に開催しました。アトラクションでは「淀江さんこ節保存会」の皆様にさんこ節・民謡などを披露していただきました。

式典では、百歳以上6名（最高は106歳です）、白寿2名、卒寿7名、米寿6名、喜寿1名の方に長寿記念状、記念品を贈呈し、皆様の長寿をお祝いしました。

淀江さんこ節保存会様

◎ユニット活動

あやめでは、８ユニットでのレクリエーションや行事を中心に行っています。余暇活動や音楽療法、調理体験など各ユニットの職員が工夫し皆様に喜んでいただけるよう様々な内容に取り組んでいます。

特に調理体験では手作りの食事やおやつ作りなど、豊富な経験を発揮して頂き、尚且つ楽しく笑顔いっぱいの時間となっています。

駐車場横の小さな、小さな畑で
サツマイモを収穫しました

《通　所》

◎ちんどん屋さんの訪問

島根県川本町より「花咲かチンドンズ」の皆様に訪問していただき、ちんどん屋さんの演奏を披露していただきました。拍手、喝采で昔を懐かしんでおられました。

今日は寄せ鍋です
美味しくいただきました

～職員募集～　介護職員を募集しています。お待ちしています。

★ご相談　　江府町大字武庫４７５番地　　介護老人保健施設あやめ
ＴＥＬ0859－７５－３２３０・ＦＡＸ0859－７５－３２８０

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて

日野オータムセミナーについて

10月13－15日の３日間、日野病院の地域医療総合教育研修センターを拠点に、医学生と看護学生が一緒に学ぶ日野オータムセミナーが開催されました。医学科３年（６名）と看護科学生（８名）がグループに分かれて、総合診療外来、黒坂診療所、看護宅配便、訪問看護、家庭訪問、保育所見学などに参加しました。米子にある医学部では同じキャンパス内といえど、医学生と看護学生が講義や実習で同席する機会はほとんどありません。今回はセンターを拠点に、日野病院や日野町のさまざまな取り組みをいっしょに見学し感想を話し合うことで、医者目線と看護目線の違いに気づくことができたようです。医学生は病気の診断検査治療に目が行きがちですが、看護学生はむしろ患者さんの生活やケアに焦点をあてます。学生の感想では「互いのものの見方の違いがわかった」「いろいろな人が地域を支えている」など、地域医療の現場を共有することで、双方に多くの学びがあったように感じています。今後もこのような合同教育の場を作りたいと思いますので、住民の皆さんのご協力をお願いしたいと存じます。

鳥取大学医学部地域医療学講座
教授　谷　口　晋　一

渡辺病院訪問

平成27年12月8日、岡山県新見市の渡辺病院を訪問させて頂きました。新見市はインターネットを介した介護福祉医療情報共有システムを先進的に取り入れているので、そのことについての情報交換を目的とした訪問でした。日野病院と鳥取大学医学部地域医療学講座は協働して介護福祉医療情報共有システムを開発しています。すでに、薬の残薬をできるだけ減らすためのシステムは日野郡を中心に動きはじめていますが、バージョンアップのため、患者さんの動画を共有することを検討しています。文字だけではなく、動画で日常生活動作の情報を共有することで、どんな人にでも一目で理解できるようになることが狙いです。渡辺病院の理学療法士小林まり子先生は動画による転倒予想の研究をしており、その運用方法に対してもご意見をいただくことが出来ました。また、システムも重要ですが、運用に関わる人たちの関係性も重要だなあと改めて感じることが出来ました。地域連携室の方々ともお話しする機会も持てて、今後岡山県北部の関係者のみなさんとも連携していきたいです。

鳥取大学医学部地域医療学講座
講師　井　上　和　興

組合ニュース

平成28年度 日野病院組合看護師育成奨学金 奨学生募集！！

日野病院組合では、平成２８年度の看護師育成奨学金の貸付けを希望される看護学生又は看護学生を目指している方を募集します。

将来、日野病院組合に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。

関心のある方は、まずはお気軽にお問い合わせください。

〇募集期間：平成２８年２月１日（月）から２月２９日（月）まで

〇応募・問合せ先：〒689-4504　鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合　事務局総務課　頭本（かしらもと）

TEL　0859－72－0351　FAX　0859－72－0089

日野病院組合職員の給与等の状況（平成27年4月1日現在）

●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（27年度当初予算より）

区　　分	一般行政職	現　業　職	医　療　職	医療技術職	看　護　職	福　祉　職
平均給料月額	289,237円	268,375円	466,157円	253,996円	308,177円	214,318円
平均給与月額	324,787円	285,917円	1,059,018円	295,388円	356,201円	266,609円
平 均 年 齢	47.8歳	53.5歳	45.9歳	38.0歳	48.7歳	33.2歳
職　員　数	18人	4人	7人	29人	62人	12人

平均給料月額：職員の基本給の平均

平均給与月額：給料月額と毎月支払われる諸手当の額を合計したものの平均（期末勤勉手当は除く）

改善 患者様の声（改善点）

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。

これからもお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・２階病棟・３階病棟に設置しています。）

また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎検査予約をあらかじめして来院しましたが、ＣＴ・ＭＲ等の検査を先に済ませて内科診察をしてくれれば、待ち時間も少なくなるのではないかと思う。何のための予約をしたのか？

一般的な場合、診察と共に検査・ＣＴ・ＭＲ等が予約してある場合は、ご意見のとおり、事前に検査等を行ってから診察を行っています。

ただ、初診の場合や、診察のみの予約の場合は、一度診察を行い、必要がある場合のみに検査等を実施することになります。

特に、他院からの紹介患者については、診察後の検査となることをご承知ください。

◎現在ひざ関節手術をした後のリハビリ中、脚の自立ができないため不便に感じていることがあります。

①頭元にある照明灯のスイッチが高くて手が届きません。電球のカバー若しくは周辺につけてあれば楽に操作できます。

②脚が痛く自立できないため、室内灯のところまで行って点灯する作業が苦痛です。

ご迷惑をおかけし申し訳ございません。

頭元にある照明灯のスイッチについては、手元で操作できるよう「手元スイッチコード」を詰所に準備します。必要な方は遠慮なく看護師に申し出てください。

室内灯については看護師が行います。ナースコール等で看護師に申し付けください。

お手数をおかけしますがよろしくお願いします。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

癒され、笑ったクリスマス会

12月11日、病院外来待合ホールでクリスマス会を開催しました。

日野病院はんどべる部によるトーンチャイムの演奏からはじまり、きれいな音色で来てくださった多くの方々をお迎えしました。

その後、サンタに変装した櫃田病院長と小村看護局長から皆様へクリスマスプレゼントのサプライズがありました。

えんどうまめさんによるパネルシアターでは、元気いっぱいの歌や手拍子で子どもたちを中心にとても盛り上がりました。リハーサルなしで飛び入り参加した櫃田病院長のユーモアある演技が会場の笑いを誘い、ほのぼのとしたクリスマス会となりました。

よらいや図書館のご案内

日野町図書館の事業の一環で、外来待合に「よらいや図書館」が設置されました。こちらの本は、借りて帰ることはできませんが、診察の待ち時間等にどなたでも読んでいただけます。２～３か月ごとに本の入替えもされますので、気軽にご利用ください。

憩いの空間

外来待合正面に、日野町さつき盆栽研究会（大西新一会長）のご厚意により患者様の憩いの空間となる日本庭園を作庭していただきました。この庭園は、1年を通じてご覧いただけますので、来院された際はぜひ足を止めてみてください。（表紙写真）

12月４日、作庭していただいた1級造園土木管理士の中田將さん（日野町金持）と同研究会の皆様に感謝の意を表し、櫃田病院長から感謝状を贈呈いたしました。

―日野病院では各種ボランティアを募集しています―

〈編集後記〉

あけましておめでとうございます。昨年の話題は？

ノーベル賞受賞、五郎丸ポーズでにぎわったラグビー熱、テニスの錦織圭選手、世界を震撼させたテロ災害、深刻な中国の大気汚染・・・

高度経済成長の日本の昔も、複合汚染などの環境問題がありました。

世界中でも今、地球温暖化など、重大な問題を抱えています。

きれいな空気の下、安心して暮らせるために、私たちにできること考えなくては!!

（影）

連絡先

日野病院
鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所
西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351

切り取り線

日野病院 外来診療案内

最新版 H.28.1～

午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	櫃田　豊	櫃田　豊	細田　譲（第1・3週）	櫃田　豊	岡田健作
					松本和久※3（第2・4週）		
		午後			松本和久※3（第2・4週）		
	二診	午前			田本明弘	中下聡子※3	中本成紀
		午後			田本明弘		中本成紀
	三診	午前	岡田健作	椋田権吾	熊野健太郎	熊野健太郎	椋田権吾
		午後					
	総合診療内科	午前	朴　大昊	朴　大昊	井上和興	大学医師	
		午後	朴　大昊	朴　大昊		大学医師	
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大学医師	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	藤田章啓	藤田章啓	岸本勇二※1	藤田章啓	藤田章啓
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	上田麻奈美	玉井嗣彦	大谷史江
小児科アレルギー科		午前	頭本一朗	大学医師（小児科のみ）	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
		午後※2	頭本一朗	大学医師（小児科のみ）	頭本一朗	頭本一朗	頭本一朗
専門診療科（大学医師）		午前	**禁煙外来** 櫃田　豊※4	**女性診療科** 秦　幸吉	**消化器内科** 田本明弘	**耳鼻科** 竹内裕美	**呼吸器内科** 中本成紀
			泌尿器科 引田克弥※6	**皮膚科** 大学医師	**血液内科** 細田　譲（第1・3週）	**脳神経内科** 中下聡子※3	
					糖尿病外来 松本和久※3（第2・4週）		
		午後		**心臓外科** 西村元延（第1・3週）	**消化器内科** 田本明弘		**呼吸器内科** 中本成紀
				ペースメーカー 西村元延（偶数月第3週）	**糖尿病外来** 松本和久※3（第2・4週）		**心療内科** 板倉征史
				血管外科 佐伯宗弘（第2週）	**女性診療科** 大学医師（第1週）		

（注）医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間　●午前＝7時30分～11時30分（一部8時30分～10時30分※5）　●午後＝正午～16時

診療開始時間　●午前＝9時～　●午後＝14時～

電話による受付（内科・整形外科）　●10時～10時30分（当日の午前受付のみ）電話番号　0859－72－2733（専用）

電話による予約日の変更受付　●14時～16時の間（予約日の前日までの平日のみ）
電話番号(内科) 72－2721（整形外科）72－2720（外科・泌尿器科）72－2719

休診日　●土曜日・日曜日・祝日　●8月14日・15日　●12月29日～1月3日

※1　火曜日の眼科と水曜日の整形外科の受付時間は10時30分までです。

※2　午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。

※3　完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。

※4　禁煙外来（月曜日）の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。

※5　初診の方・常勤医師（内科・外科・整形外科）の診察予約日以外に受診の方

※6　初診の方、予約以外の方の受付時間は10時30分までです。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町（日野町・江府町・伯耆町）の全戸に配布しています。

切り取り線

外来診療案内ポケット版

午前　（受付時間は、7時30分から11時30分まで）　(H.28.1月～)

診察科目		月	火	水	木	金
内科	一診	櫃田	櫃田	血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	櫃田	岡田
	二診			田本	(脳内)	(呼吸器)
	三診	岡田	椋田	熊野	熊野	椋田
	総合診療内科	朴	朴	井上	(大学)	
外科		(大学)	佐藤	(大学)	(大学)	佐藤
整形外科		藤田	藤田	岸本	藤田	藤田
眼科		玉井	玉井	上田	玉井	大谷
小児科		頭本	(大学)	頭本	頭本	頭本
その他（大学）		禁煙外来 泌尿器科	女性診療科 皮膚科	消化器内科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)	耳鼻科 脳神経内科	呼吸器

午後　（受付時間は、12時から16時まで）

診察科目	月	火	水	木	金
内科	総合診療内科	総合診療内科	消化器内科	総合診療内科	(大学)
小児科	頭本	(大学)	頭本	頭本	頭本
その他(大学)		心臓外科（第1・3週） 血管外科（第2週） ペースメーカー（偶数月第3週）	消化器内科 糖尿病外来（第2・4週） 女性診療科（第1週）		心療内科 呼吸器

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。

（切り取って財布等に入れご利用ください）

せせらぎ 平成28年1月 発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332 TEL/0859-72-0351 FAX/72-0089 印刷/冨士印刷有限会社

日野病院組合だより　出かける医療、近づいていく医療と福祉をめざして

せせらぎ 臨時号

発行／日野病院組合 編集／日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ http://www.hinohp.com/ FAX0859-72-0089

日本医療機能評価機構

平成28年3月31日付けで2名の医師が異動となりました。
また、4月1日以降の外来診察について、変更がございますので、ご注意ください。（裏面）
なお、新任医師の紹介につきましては、「せせらぎ56号」5月発行予定で掲載させていただきます。

医師退任のご挨拶

頭本　一朗 医師

鳥取大学小児科学教室の人事異動により、松江市立病院小児科部長を平成13年3月で辞し、同年4月に日野病院組合日野病院小児科医長として、着任いたしました。当時の病院長の堀江先生から、地域医療の起爆剤とか、鳥取県西部地震被災からの復興の起爆剤とか、極めて政治的なキャッチフレーズをいただき着任しました。このたび満65歳の医師定年を迎え、日野病院を去ることになりました。

私なりには、小児医療はもちろんのこと、小児保健（母子保健・学校保健）・児童福祉領域の実務と調整役を期待されているものと理解し、15年間働いてまいりましたが、振り返ってみますと、自分の力量不足を痛感しております。

私の出身大学・小児科学教室より、後任小児科医を常勤で派遣していただけないことが確定いたしました。誠に残念で、日野病院組合構成3町の子育て中の保護者の皆様に申し訳なく思っております。

最後になりますが、15年間お世話になり、ありがとうございました。

頭本一朗医師は、平成13年から15年間に渡り、小児科医長として外来診察のほか、日野町内の保育所嘱託医、小・中学校の学校医、日野町・江府町の乳幼児健診などにもご尽力いただきました。長い間、お世話になりました。

椋田　権吾 医師

平成28年4月から日南病院へ異動することとなりました。2年間お世話になりました。

出身県の地域中核医療機関において患者さんに医療を提供することが、私たち自治医科大学出身医師の第一使命です。当初挨拶で申し上げた「幅の広い内科診療」を実情に合った形で提供できたのか、悩み模索しながら診療をしてきました。その答えを出すのは私自身ではないと考えていますが、多少なりとも患者さん方の健康増進に貢献できた部分があれば幸いです。

職員の方々におかれましては、医師として・人として未熟な私でしたので、ご協力をいただいたりご迷惑をおかけしたりした点も多々ありました。日野病院組合の方々、そして日野エリアの方々には明るい方が多い、というのが赴任当初の印象でした。未熟さ故に余裕を無くすことも多かったですが、そのような面に助けられたこともまたありました。この場でお礼の言葉とさせてください。

春からも、こちらで培った経験を活かし診療して参ります。少子高齢化の更なる進行、地域医療構想の実践など状況は今後も大きく動いていくようです。その中で、当エリアの健康増進に寄与する存在として日野病院組合が益々ご発展して行かれますことを、心よりお祈り申し上げます。

～平成28年４月から外来診察が一部変更となります～

●医師の変更

【内　　科】 椋田　権吾医師 → 加藤（かとう）　雅之（まさゆき）医師

【小　児　科】 頭本　一朗医師 → 大学医師（火曜日のみ）
※予防接種も毎週火曜日のみとなります（あらかじめ予約が必要です）
※アレルギー科は休止となります

【整形外科】 岸本　勇二医師 → 柳樂（なぎら）　慶太（けいた）医師（毎週水曜日）

【泌尿器科】 毎週月曜日 → 毎週月曜日・木曜日（追加）

【女性診療科】 第１水曜日午後（休止） → 毎週火曜日のみ
※毎週火曜日（秦医師）の診察のみとなります

詳しくは裏面をご覧下さい。

日野病院 外来診療案内

最新版 H.28.4～

午前 午後 休診

		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	櫃田　豊	櫃田　豊	細田　譲（第1・3週）	櫃田　豊	岡田健作
					松本和久※3（第2・4週）		
		午後			松本和久※3（第2・4週）		
	二診	午前			田本明弘	岸　真文※3	中本成紀
		午後			田本明弘		中本成紀
	三診	午前	岡田健作	加藤雅之	熊野健太郎	熊野健太郎	加藤雅之
		午後					
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	大学医師	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	藤田章啓	藤田章啓	柳樂慶太※1	藤田章啓	藤田章啓
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦※1	稲田耕大	玉井嗣彦	大谷史江
総合診療科		午前	朴　大昊	朴　大昊	井上和興	大学医師	
		午後	朴　大昊	朴　大昊		大学医師	
専門診療科（大学医師）		午前	**禁煙外来** 櫃田　豊※4	**小児科** 大学医師	**消化器内科** 田本明弘	**耳鼻科** 竹内裕美	**呼吸器内科** 中本成紀
			泌尿器科 引田克弥※6	**女性診療科** 秦　幸吉	**血液内科** 細田　譲（第1・3週）	**脳神経内科** 岸　真文※3	
				皮膚科 大学医師	**糖尿病外来** 松本和久※3（第2・4週）	**泌尿器科** 岩本秀人※6	
		午後		**小児科** 大学医師※2	**消化器内科** 田本明弘		**呼吸器内科** 中本成紀
				心臓外科 西村元延（第1・3週）	**糖尿病外来** 松本和久※3（第2・4週）		**心療内科** 板倉征史
				ペースメーカー 西村元延（偶数月第3週）			
				血管外科 藤原義和（第2週）			

（注）医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。詳しくはホームページ・正面玄関の掲示板等でご確認ください。

自動再来受付機による受付時間　●午前＝7時30分～11時30分（一部8時30分～10時30分※5）　●午後＝正午～16時

診療開始時間　●午前＝9時～　●午後＝14時～

電話による受付（内科・整形外科）　●10時～10時30分（当日の午前受付のみ）電話番号　0859－72－2733（専用）

電話による予約日の変更受付　●14時～16時の間（予約日の前日までの平日のみ）
電話番号(内科) 72－2721（整形外科）72－2720（外科・泌尿器科）72－2719

休診日　●土曜日・日曜日・祝日　●8月14日・15日　●12月29日～1月3日

※1　火曜日の眼科と水曜日の整形外科の受付時間は10時30分までです。

※2　午後から医師が健診のため不在になることがあります。詳しくはお電話でお問い合わせください。

※3　完全予約制です。受診希望の方は、まず内科を受診して医師にご相談ください。

※4　禁煙外来（月曜日）の初診は予約が必要です。2回目からは内科受診となります。

※5　初診の方・常勤医師（内科・外科・整形外科）の診察予約日以外に受診の方

※6　初診の方、予約以外の方の受付時間は8時30分から10時30分までです。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町（日野町・江府町・伯耆町）の全戸に配布しています。

黒坂・二部診療所のご案内

黒坂診療所……毎週火・木曜日（祝日を除く）

診察時間：午後2時から午後4時まで

診 察 医：火曜日・・・熊野健太郎医師（内科）
：木曜日・・・井上　和興医師（総合診療科）

二部診療所……毎週水曜日（祝日を除く）

診察時間：午後2時から午後4時まで

診 察 医：熊野健太郎医師（内科）

編 集 後 記

平成２７年４月、日野病院は新規採用看護師を５名度迎えることができました。
そのうち、１名は既卒採用者で、残りの４名は正真正銘の新人看護師です。なんと初々しい辞令交付式となりました。
これで、日野病院の平均年齢もぐっと低くなったはずです。（特に看護局は･･･）
その内１名は、都合により退職となってしまいましたが、４名は現在も毎日元気ハツラツと日野病院で働いてくれています。
遠い将来、この看護師たちが小村看護局長や各師長の様な看護師になっていくかと思うと想像もつきません。
この新人看護師の採用は、平成２１年度から運用を始めた奨学資金貸付制度の成果もありますが、何と言っても毎年看護局が真剣に取り組んでいる看護学生の実習受け入れによるものと思っています。本当に喜ばしい限りです。（看護局の努力に感謝感謝です。）
この状況が続けば、近い将来訪れる大量の定年退職にも耐えられるはずです。
ただ、この看護師たちを一人前の看護師として考えるのには、まだまだ時間が必要です。無理をせずじっくりと育ててやらなくてはなりません。言わば今は、将来へ向けての投資の時と言えるでしょう。（焦ることは禁物です。）

さて、平成２７年度の決算については、平成１９年度から平成２６年度まで８年連続の黒字決算を続けていましたが、赤字決算となってしまいました。
原因は人件費の増。（そうです投資によるものです。）それと、退職給付引当金の実施によるものです。
日野病院は、独自で退職給付引当を行っており、平成２７年度も総額８３，８９６千円（その内現金による引当は６４，８０２千円）を実施しました。あやめ退職者を含む８名の退職者に対し退職給与の支払いをしましたが、引当残高は増加しました。
こちらは、会計間の現金の移動と考えることもできます。
ただ、そうは言ってもこの赤字決算を毎年続けることはできません。平成２８年度は院長以下職員一丸となって黒字決算を目標に頑張りたいと思います。来年はよい報告ができるよう心から願っています。

日頃から日野病院を支えていただいている皆さんに心から感謝し、最後にこの年報の編集にあたり資料の提供等協力いただいた関係者の皆さんにお礼申しあげます。

日野病院事務局長　生田 哲二

――― 発　　行 ―――

日野病院組合　日野病院広報委員会

〒689-4504　鳥取県日野郡日野町野田 332 番地
Tel：0859-72-0351　Fax：0859-72-0089
URL：http://www.hinohp.com/